



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

第76回

優良公民館表彰

令和5年度 表彰館事例集



文部科学省総合教育政策局

地域学習推進課

令和5年度 第76回優良公民館表彰 表彰館一覧

最優秀館（1館）

北海道	網走市オホーツク・文化交流センター	…	1
-----	-------------------	---	---

優秀館（6館）

神奈川県	綾瀬市立中央公民館	…	41	静岡県	浜松市富塚協働センター※	…	71
神奈川県	平塚市立なでしこ公民館	…	43	広島県	廿日市市浅原市民センター※	…	105
福井県	永平寺町上志比公民館	…	59	熊本県	菊池市中央公民館	…	127

表彰館一覧（上記7館含む）

1 北海道	網走市オホーツク・文化交流センター	…	1	36 静岡県	浜松市富塚協働センター※	…	71
2 北海道	比布町公民館	…	3	37 静岡県	静岡市高部生涯学習交流館※	…	73
3 青森県	青森市東部市民センター	…	5	38 静岡県	静岡市大里生涯学習センター※	…	75
4 青森県	六ヶ所村立中央公民館	…	7	39 愛知県	大府市立神田公民館	…	77
5 岩手県	岩手町中央公民館	…	9	40 愛知県	豊川市小坂井生涯学習センター	…	79
6 岩手県	一関市千厩市民センター	…	11	41 滋賀県	彦根市稲枝地区公民館	…	81
7 秋田県	大館市立二井田公民館	…	13	42 京都府	宇治市生涯学習センター※	…	83
8 秋田県	由利本荘市石沢公民館	…	15	43 大阪府	貝塚市立中央公民館	…	85
9 山形県	米沢市万世コミュニティセンター※	…	17	44 兵庫県	養父市立やぶ市民交流広場	…	87
10 福島県	会津若松市大戸公民館	…	19	45 兵庫県	上郡町生涯学習支援センター※	…	89
11 福島県	国見町公民館	…	21	46 奈良県	天理市立福住公民館	…	91
12 茨城県	稲敷市桜川公民館	…	23	47 鳥取県	鳥取市立明治地区公民館	…	93
13 栃木県	宇都宮市清原生涯学習センター※	…	25	48 島根県	邑南町中野公民館	…	95
14 群馬県	館林市渡瀬公民館	…	27	49 島根県	安城まちづくりセンター	…	97
15 群馬県	高崎市滝川公民館	…	29	50 岡山県	奈義町公民館	…	99
16 埼玉県	さいたま市立大久保東公民館	…	31	51 岡山県	瀬戸内市長船町公民館	…	101
17 埼玉県	川口市立新郷南公民館	…	33	52 広島県	広島市阿戸公民館	…	103
18 埼玉県	深谷市大寄公民館	…	35	53 広島県	廿日市市浅原市民センター※	…	105
19 埼玉県	戸田市立美笹公民館	…	37	54 広島県	福山市藤江交流館※	…	107
20 千葉県	千葉市若松公民館	…	39	55 山口県	長門市依山公民館	…	109
21 神奈川県	綾瀬市立中央公民館	…	41	56 山口県	阿武町中央公民館	…	111
22 神奈川県	平塚市立なでしこ公民館	…	43	57 山口県	山口市陶地域交流センター※	…	113
23 神奈川県	相模原市立星が丘公民館	…	45	58 徳島県	吉野川市山瀬公民館	…	115
24 新潟県	三条市三条東公民館	…	47	59 愛媛県	西条市玉津公民館	…	117
25 新潟県	佐渡市公民館	…	49	60 愛媛県	新居浜市立神郷公民館	…	119
26 富山県	富山市立速星公民館	…	51	61 愛媛県	明間地域づくり活動センター	…	121
27 富山県	射水市金山コミュニティセンター※	…	53	62 佐賀県	唐津市肥前公民館	…	123
28 石川県	羽咋市立邑知公民館	…	55	63 長崎県	長崎市三和公民館	…	125
29 石川県	白山市立出城公民館	…	57	64 熊本県	菊池市中央公民館	…	127
30 福井県	永平寺町上志比公民館	…	59	65 大分県	九重町東飯田公民館	…	129
31 福井県	坂井市兵庫コミュニティセンター	…	61	66 鹿児島県	枕崎市桜山地区公民館	…	131
32 長野県	佐久市中央公民館	…	63	67 鹿児島県	鹿児島市東桜島公民館	…	133
33 長野県	小布施町公民館	…	65	68 鹿児島県	鹿屋市コミュニティセンター吾平振興会館※	…	135
34 岐阜県	郡上市和良地域公民館	…	67	69 沖縄県	北谷町美浜区公民館	…	137
35 岐阜県	恵那市武並コミュニティセンター※	…	69				

※…公民館と同等の施設

情報技術を活用した地域学の取り組み

網走市オホーツク・文化交流センター(北海道)



オホーツク・文化交流センター



「VRを使って網走を楽しもう！」に参加した小・中学生

公民館の沿革・年表

- 平成12年 オホーツク・文化交流センター条例制定
オホーツク・文化交流センター開設
- 平成18年 第50回北海道公民館大会開催
- 平成23年 Wi-Fi機器整備
- 平成26年 北海道科学大学と連携協定を締結
- 平成27年 北海道科学大学と連携講座を開催
- 令和4年 Free Wi-Fi、オンライン予約システム整備

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- オホーツク・文化交流センター (愛称：ICセンター2000)
網走市の公民館機能を有し、市立図書館も併設した市民に愛される公共施設である。新型コロナウイルス感染症拡大前は、年間利用者数約17~18万人程度。令和4年度FreeWi-Fi整備。
- 「VRを使って網走を楽しもう！」に参加した小・中学生
北海道科学大学と連携し、小・中学生を対象に仮想現実(VR)体験・360度カメラを活用して、地元イベント「流氷まつり」の動画撮影・動画編集・Youtube掲載までを学習。

公民館情報		1. 公民館対象人口	32,805人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成12年11月23日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	500台程度
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 11,446人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 44,366人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 45,589人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				合計 101,401人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 16人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 17人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (市内保育園、幼稚園、小中学校 (小学校9校、中学校6校)、北海道網走南ヶ丘高等学校、北海道網走桂陽高等学校、網走養護学校、日本体育大学付属高等支援学校、東京農業大学、北海道科学大学、日本赤十字北海道看護大学、網走市立図書館、網走市立郷土博物館、網走市立美術館、北海道立青少年体験活動支援施設ネイバル北見ほか)				

網走市オホーツク・文化交流センター

OPEN 9:00~22:00

TEL 0152-43-3704

H P

SNS

<https://www.city.abashiri.hokkaido.jp/040s-hisetsu/040bunka/180echocenter/>



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、各種講座や講演などが中止となり、生涯学習の機会が減少していた。
- デジタル技術の活用は、ウイズ・コロナ時代の新たな学習手段や多様な人との交流を生む手段として注目を集めており、社会教育、生涯学習の推進においても、デジタル技術を取り入れた講座や学習機会の創出が求められている。
- 少子化、人口減少により、様々な活動の担い手や参加者が減少傾向にある中、小・中・高校生を公民館事業に取り込み、地域課題の解決や地域社会の担い手として育成していくことが課題となっている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

●情報技術を活用した網走の魅力発掘・発信講座の開催

地元の魅力や価値を再発見し、改めて郷土の自然や文化、歴史、産業について学ぶ地域学としての「あばしり学講座」において、地元の産業や文化を自ら取材し、情報発信の専門家の協力を得て、インターネットでその魅力をPRする講座を開設し、市民の情報発信力の向上に向けた学習機会を創出した。

事業名称：あばしり学講座「網走市ローカル魅力発掘発信ワークショップ」（全3回）

事業対象：一般市民

協力団体：合同会社イースタイズ（東京都）

共催団体：株式会社 JTB（東京都）

●最新の情報技術に触れる学習を通じた地域の魅力再発見講座の開催

網走市と連携協定を締結している北海道科学大学（木村尚仁教授・電気電子工学）の協力を得て、仮想現実（VR）体験や360度カメラを活用して撮影した地元のイベントの動画を編集する体験講座を「あばしり学講座」において開設し、小・中学生が最新の情報技術に触れ、情報技術を通じて地元の魅力を再確認するための講座を開設した。

事業名称：あばしり学講座「VRを使って網走を楽しもう！」（全2回）

事業対象：小・中学生

協力団体：北海道科学大学

共催団体：株式会社三技協（神奈川県）、株式会社ダブルエムエンタテインメント（札幌市）



ローカル魅力発掘発信ワークショップの様子



北海道科学大学生から指導を受ける小学生

3. 取組による成果や効果

●科学系大学や民間企業と連携して、情報通信技術の活用と最新の情報技術を学ぶ機会を創出したことは、デジタルリテラシーの推進に寄与した。

●「ローカル魅力発掘発信ワークショップ」では、参加者自らが主体性をもって地元で学びたいテーマや事柄を抽出し、自ら取材に出かけ、記事の題目や内容編集を行い、Web掲載までを体系的に学び、網走の魅力の再発見と情報技術を活用した情報発信技術についての学習につながった。

●「VRを使って網走を楽しもう！」では、NINTENDO LABを活用したVR体験を通じて、デジタルコンテンツの楽しさを学び、360度カメラを活用して冬の網走のイベントである「流氷まつり」の様子を撮影した。撮影した動画を編集し、YouTubeへの掲載までを体験し、地域の魅力の再発見を通じて、最新の情報技術も学習することができた。



真剣に動画編集に取り組む小学生

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 網走市社会教育施設審議会で利用状況や取組状況を報告し、改善するとともに、参加者アンケート結果などより事業検証を行っている。
- 地域学の中で情報技術の学習に取り組んだことで、地元の魅力や文化を地域だけではなく、広く国内や世界に発信できる仕組みとなることを確認できたが、今後も様々な講座において情報技術の活用を検討し、取り組みを進めて行く。
- 最新の情報技術の活用には、行政のノウハウでは対応が難しいため、大学や民間企業などの専門機関と連携した取り組みを検討する。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

市民誰もが安全・安心に生涯にわたって学び続け、豊かな地域社会を構築するための学習環境づくりに取り組み、市民一人ひとりが自己実現や主体的に課題解決に取り組めるような事業企画や支援を行うことを心掛けている。



オンラインを活用したハイブリッド講座

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

これまでの社会教育事業では、対面形式での講座や講演を基本に事業企画を実施してきたが、オンラインを組み込んだハイブリッド形式での講座なども徐々に増やしている状況にあり、情報技術を積極的に活用して様々な地域や人との交流、専門機関や多様な団体との連携を通じて、未来志向で可能性が広がる学習機会を提供していきたい。



友好都市厚木市とのオンライン交流（寿大学）

公民館を活用したまちづくり

比布町公民館(北海道)



比布アドベンチャーズ



夏の実験教室

公民館の沿革・年表

- 昭和22年 比布町公民館開設
- 昭和46年 旧公民館を改築
- 昭和59年 珠算教室・書道教室開設
- 昭和61年 白寿大学開設
- 平成22年 寺子屋事業開設
- 平成24年 将棋教室開設
- 令和2年 ほくれい塾開設

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

- 公民館事業「比布町アドベンチャーズ」
小学1～6年生を対象とした自然体験事業。
子ども20名が参加し、森の中でデイキャンプを実施。
初めて体験する火起こしなどの作業に熱中する姿が多くみられた。
- PIP相互応援大使活動事業「夏の実験教室」
相互応援大使であるピップ株式会社と連携した実験教室を実施。
オンライン開催だったが、磁石の魅力が子供たちにしっかりと伝わり、対面実施と同様の盛り上がりを見せていた。

公民館情報	1. 公民館対象人口	3505人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
	2. 建物設置年月日	昭和46年10月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	30台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()			
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 600人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 1500人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 400人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()			合計 2,500人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 7人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 10人			
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()			
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()			
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()			
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> 自由記述 ()			
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (比布中央学校、旭川大学江口ゼミ、旭川教育大学サークルありんこくらぶ、ピップ株式会社、里山部、地域おこし協力隊、ピピポラバンク、比布町教育委員会、比布町図書館、郷土資料館、鈴木邸、児童クラブ)			

比布町公民館

OPEN 8:30～21:00 H P
TEL 0166-85-2262 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 人口減少や少子高齢化が進む本町においては、町民一人ひとりの潤いある生活と活力ある地域づくりの推進が必要であり、そのためには、生涯を通じて学び、その成果を生かせる環境づくりが必要である。
- 生涯学習分野においても、「誰にでも開かれ、家庭、学校、地域、行政が繋がる社会教育の推進」という方針に基づき、町民の多様なニーズに応じた学びの機会や文化・芸術に親しむ機会の提供を公民館活動を通して行うことが必要である。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

本町においては、豊かな教育環境の街づくりを進めるため、「比布町地学協働活動」に力を入れている。公民館では、地域住民や保護者、高齢者が有する経験を生かすことで、子どもの学びと育ちを支えられるように、「①子どもたちの育成を図る事業」「②高齢者の学びの場を設ける事業」「子ども・地域・保護者・高齢者を繋ぐ事業」という3つのテーマで、公民館における取組を充実させている。

①子どもたちの育成を図る「ほくれい塾」「比布町アドベンチャーズ」「夏の実験教室」

「ほくれい塾」

- ・令和2年度に開始、子どもたちが体験したことのない活動を経験させる取組
- ・具体的な取組：音楽（楽器）の楽しさを伝える授業、LEDを使った光の三原色工作、ハロウィンにかぼちゃを使ったランタンづくり、プーランドローン体験、火を使わないカップケーキづくり、など

「比布町アドベンチャーズ」

- ・小学生を対象としたアウトドア体験事業で、魚釣り、火起こし、森の中でのデイキャンプなどを実施

「夏の実験教室」

- ・ピップ株式会社と連携した事業で、社員が先生役となり、磁石を使った2種類の実験を実施

②高齢者の学びの場を充実させる「白寿大学」

- ・高齢者の教育ニーズや地域課題に基づいた学習
- ・具体的な取組：終活講座、認知症講演会における学習や、ポッチャ体験、ボウリング体験による交流、施設

見学（サーカス鑑賞）など

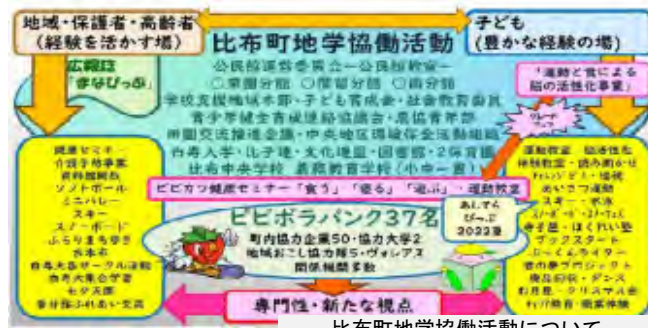
③子ども・地域・保護者・高齢者をつなげる「寺子屋事業」

- ・長期休業中に、町内の小学生を対象に行う学力向上や学習習慣定着のための取組



3. 取組による成果や効果

- 多様な団体からの協力を得ることで、地域住民の学習ニーズに基づいた活動を展開することができている。
- 子どもたちが、高齢者や地域ボランティアと関わることで、まちの良さを知り、愛着を深めることができている。
- 学習サポートの取組や、地元企業から協力を得た体験学習によって、子どものキャリア教育の充実が実現している。
- 地学協働活動に対するイメージを各団体が共有し、積極的に活動に参加するようになった。
- 高齢者が新しいことにチャレンジする機会が増えた。



4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

公民館で実施した事業の成果や課題について、町の公民館運営審議会や教育委員会、事業外部評価委員会、コミュニティスクールの場合において検証した上で、その内容を生かした事業を実施している。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

本町は「住んで良かったと思えるまちづくり」をテーマとして、「育」「職」「住」「安」の4つに分けて様々な政策・支援を行っている。公民館事業も一つの支柱として町をより良い方向へ導けるように、協議・協働・連携を欠かさず行っている。また、絆づくりと活力のあるコミュニティの形成に向け、地域の活性化のための「学びの場」の拠点となるよう努めている。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 町民の大切な学び・交流の場として、自主的な文化活動や趣味活動に積極的に取り組む。
- 町民の多様なニーズに応じた学びの機会や文化・芸術に親しむ機会の提供に努めるとともに、学んだ成果を生活や活動に活かすことができる公民館運営をしていく。
- 公民館における取組を通して、学校、家庭、地域、行政との連携を一層強める。



地域の住民が集う市民センターへ

青森市東部市民センター(青森県)



東部夏まつり 青森工業生徒



原別音頭でコミュニティづくり

公民館の沿革・年表

- 昭和59年 東部公民館開館
- 平成 5年 名称を東部市民センターへ改称。
- 平成13年 市民センターを市民文化部に移管
- 平成20年 東部市民センターに指定管理者制度を導入
- 平成22年 市民センターを教育委員会に移管
- 令和 3年 東部市民センターだよりを発刊
- 令和 4年7月 東部夏まつりを開催

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- 東部夏まつり 令和4年7月30日
- ・講座やロビー展示で連携した団体、東部市民センターを活動拠点としている団体のステージイベント
- ・館内ではミニコンサートや体験コーナー
- ・町会や地域の商店、会社、高校、保育園等の協賛
- ・土曜日の午後2時から7時まで、780人が参加
- 「地元の盆踊り原別音頭でコミュニティづくり」
- 踊りの継承が危ぶまれている「原別音頭」を踊れる人を増やして、地域の催しで盆踊りを復活させるのが講座のねらい。

公民館情報		1. 公民館対象人口	22,671人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)	
		2. 建物設置年月日	昭和59年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	80台	
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (東部市民センター管理運営協議会) <input type="checkbox"/> その他 ()					
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	830人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	22,927人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	1,081人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	2,866人	(図書室利用)		合計	27,704人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	7人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	<input type="checkbox"/> 非常勤	0人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)		職員のうち社会教育士の数 0人		合計 7人	
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (管理運営協議会3役会、東部市民センター利用者友の会)					
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂		
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援		
		<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
		<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
		<input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (体育館)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (ロビーに、年間の講座予定や行事の報告、団体紹介などを掲示するとともに、企画展示を行っている。)					
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学		
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関		
		<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他	
(原別保育園、青森山田高校、青森工業高校、青森明の星短期大学、青森大学、NTTドコモ、青森市交流推進課、青森市指導課、青森市健康づくり推進課、青森市民図書館歴史資料室、青森市読書団体連絡会、青森鉄道模型クラブ、青森みなとクラブ、明治安田生命)						

青森市東部市民センター

OPEN 9:00~22:00

H P <https://www.city.aomori.aomori.jp/chuo-center/kodomo-kyouiku/shimin-center/kouminkan/09.html>

T E L 017-736-6255

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

○青森市東部市民センターでは、館の利用者が少ないことが課題となっていた。また、秋に開催されてきた「東部市民センターまつり」においても、実行委員会メンバーの固定化により運営に支障をきたすようになるとともに、講座の内容においても分野に偏りが見られ、各年代の地域住民が参加を望むような多様な講座を実施できていなかった。そういった状況を踏まえ、災害が起これば避難所として地域の核となるべき市民センターにおいては、地域での**認知度を高める必要**があり、地域住民に気軽に立ち寄ってもらえるような体制を構築することを目指している。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【地域人材・東部市民センターで活動している団体・高校部活動等指導者の講師登用】
 ・青森東U C ・東部極真空手サークル ・東部ピラティスサークル ・津軽笑っせ手踊り教室
 ・大正琴若草の会 ・絵手紙サークル ・倡舞会 ・東部3 B体操サークル ・青森山田卓球部
 ・青森山田体操クラブ ・青森工業高校ねぶた部

【シニア向けスマートフォン教室】

・デジタルリテラシー向上のために年8回開催。

【ロビーを会場とした企画展示の開催】

・小牧野遺跡パネル展 ・七夕飾り ・東部ねぶた展 ・防災パネル展 ・青森市観光大使紹介パネル展
 ・原別保育園Xmas作品展 ・青函連絡船パネル、写真展

【東部夏まつりの開催（令和4年7月30日（土））】

・正面玄関前特設ステージでの発表（ねぶた囃子、合唱、キッズジャズダンス、盆踊りほか）
 ・館内でのミニコンサート ・ドローンでのお魚釣り体験 ・町会青年部のキッチンテント

【東部市民センターだよりによる情報発信（定期・臨時を含めて**毎月発行**）】

・18町会6,100世帯への回覧、地域の学校他公共施設・地元企業38カ所に配付。

【職員の研修】

・月1回の内部研修において、市民センターと地域活性化、センター事業と情報発信、東部地区の魅力再発見などをテーマとして**職員の意識改革**に取り組んでいる。



ロビー展示 世界遺産小牧野遺跡



備えあれば憂いなし 防災パネル展

3. 取組による成果や効果

○講座回数が増大と多様な講座の開催…指定管理協定書での講座最低実施回数を大幅に上回る85回の講座を実施した。これにより、従前の講座内容の偏りが解消され、各年代の地域住民や各種学習ニーズに対応した講座を開催できた。

○講座及び催事での来館者数の増加…市内の中央市民センターを除く市民センター10館において、講座参加者数・催事来館者数が上位3傑に入るようになった。

○地域づくり、きずなづくりへの貢献…市内の市民センターで唯一開催している「夏まつり」では、登録団体等の活動発表の場の創出や地域住民の参加が得られ、地域住民主体の地域づくり、きずなづくりが図られた。（地域の集いの場を望む声に応じて開催）



東部地区の歴史探訪ワークショップ

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

○東部市民センター管理運営協議会での審議を通して、年間の事業の改善を図っている。

○講座参加者に対しての「アンケート」や館内に設置されている「ご意見・講座リクエスト箱」により、学習ニーズの把握に努めるとともに運営の見直しを図っている。

○「東部市民センター利用者友の会」において、講座・催事等に関する意見を幅広く求めている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

東部市民センターが、地域住民にとっての「集いの場」、「学びの場」、「交流の場」となることによって、住民のふれあいと連帯感あふれる地域社会づくりを推進する。そのためには、東部市民センターが地域に親しまれる施設になることを目指している。



東部夏まつり原別音頭

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

来年度、東部市民センターが開館40周年を迎えるにあたって、地域住民に親しまれ、かつ有益な施設となるように運営を進めていきたい。そのため、東部市民センターを活動拠点としている団体を支援するとともに、地域人材の発掘、地域にこだわった講座、地域の学校や団体との連携を更に進めていく。



「サンタ金魚ねぶた」講師の高校生

興味から趣味へ、趣味から生きがいとなるきっかけの場、公民館

六ヶ所村立中央公民館(青森県)



中央公民館成人講座(糸掛け曼茶羅講座)



わくわく親子体験講座

公民館の沿革・年表

- 昭和30年8月 中央公民館設置
- 昭和42年 家庭教育学級(村内各小中学校区12校)開設
- 昭和51年4月 六ヶ所村立中央公民館完成
- ” 第1回 村民文化祭開催
- 中央青年学級(後の公民館講座)開始
- 昭和52年 六ヶ所音頭選定
- 平成24年 中央公民館改修工事

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- 公民館講座の様子
 - ・コロナ流行中も対策を講じた上で講座を実施。参加人数に制限をかけ少人数での開催となった分、個々の関わり(講師⇔受講生・受講生同士)が増え、講座内容とともに交流という点でも満足感を得られたと好評である。
- わくわく親子体験講座の様子
 - ・親子で同じ体験をし、そこで感じた気持ちの共有や互いに認め合うことを目的に、創作体験やニュースポーツ等、幅広く実施。親子間で新たな一面を知る機会になるなど、次回の開催要望が多い講座である。

公民館情報		1. 公民館対象人口	9852人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	昭和51年4月25日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 502人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 17198人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 17,700人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 5人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 5人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他				

六ヶ所村中央公民館

OPEN 8:30~21:00 H P <http://www.rokkasho.jp/>
 TEL 0175-72-8173 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- ・村では、第4次生涯学習中期推進計画（令和4年度から5カ年計画）を策定し推進しているが、策定にあたり村民へのアンケートを実施したところ、生涯学習への意識が低い結果となった。これを受け、そもそも「学び」ことへの意欲、興味関心を高めるため、多種多様な講座の開設をめざしている。また、新型コロナウイルスの流行を経たことで、人との繋がりの重要性、顔を合わせて話すことで得られる安心感の重要性を感じ、交流や共有のできる場として講座等の事業を実施している。
- ・中央公民館の中に、社会教育課もあるため同職員が社会教育事業及び公民館事業を実施している。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【中央公民館成人講座】

- ・新しい「学び」に触れる機会を増やすため、令和3年度には14種類の講座中5種類は新規内容、令和4年度には10種類中3種類は新規内容を取り入れ実施。毎年必ず新しい内容の講座を取り入れるように心がけている。（今年度は夏季間講座だけでも、13種類中4種類の新規内容の予定）
- ・コロナ禍を経たことで、量（人数）より質（満足感）をテーマに、参加者の満足度を問うこととしている。特にやりがいや達成感を感じる部分として、同じ講座でも難易度を変えて講座を実施している。また、同じ講座を昼と夜に設定して開設することで、参加しやすいよう工夫している。
- ・受講生の学習意欲を高めるため、10月末に実施される村民文化祭に作品を展示している。



講座作品を展示している村民文化祭

【村民文化祭】

- ・講座受講生の協力を得て、作品展準備や文化祭当日の運営ボランティア等をお願いしている。
- ・公民館講座を体験出来る場として、文化祭内でワークショップを開催した。

【わくわく親子体験講座】

- ・令和3年度コロナ禍から実施の比較的新しい講座であるが、親子で体験して同じことを共有することを目的に、創作活動やニュースポーツ等幅広く実施している。
- ・企業から講師派遣をお願いすることで、地域住民だけでなく繋がりを利用している。



ねぶたの材料を再利用したランプシェード作りのワークショップ（村民文化祭）

【生涯学習イベント】

- ・「学び」にふれるきっかけのイベントとして、様々なワークショップ等ができるイベントを実施。

3. 取組による成果や効果

- ・新しい講座をなるべく取り入れることを続けていた結果、顔見知りや人の繋がりが出来たことで各事業へのボランティアへの参加や協力を得られるようになってきた。
- ・講座に参加している村民の学びに対する意識は変わってきたように思う。講座内容を家に持ち帰り復習する人や、体験をもとに家族や友達とコミュニケーションを取ることも増えたと聞き、少なからずよい影響を受ける村民がいることを実感している。



ガラスフュージング講座

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・いずれの事業も、必ず参加者へアンケートを取ることとしている。そうすることで、改善点や新しいアイデア等を取り入れるように心がけている。
- ・公民館運営審議会（社会教育委員兼務）で、実施した事業を評価してもらうことで、意見をもらい次回へ改善している。
- ・興味から趣味へ、趣味から生きがいへ繋がるような場の提供を目指してはいるが、人材育成の観点からはまだ弱く、講師も村外からお願いしている状態である。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- ・コロナウイルスが流行した際、家から出ることが出来ず、また様々な事業が中止となり、人と人が会うことが困難な状況を体験し、会って話をすること、目を見て息遣いを感じながら対話をする大切さを実感した。オンラインで繋がる便利さを覚えたが、会って対話し、コミュニケーションを取ることを大切にしていくことで、講座がなくても、つどい、まなび、参加者同士がつながる、そのきっかけとして公民館を利用してもらえる気軽さを目指したい。



村民文化祭で実施したワークショップ

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- ・県外移住者が多く住んでいる地区のため、県内の文化や村内の文化に関する講座を実施することで、村内の人と県外の人が世代を超えて繋がりをもてる機会の提供を目指している。
- ・講座で得られた知識をきっかけに、受講者が教える立場になって講座を開設できるような、学びと活動の循環を目指している。そうすることで、人材育成へとつながりたい。
- ・ホームページやLINEを使った事業の周知が増えてきたので、村民のデジタルデバイドの解消やデジタルリテラシーの向上を目指した取組を進めていきたい。



郷土塾・みそづくり

SDGs岩手町 ひとと文化を大切に教育のまち

岩手町中央公民館(岩手県)



令和4年度里川キャンプ



2022いわてモルックオープン大会

公民館の沿革・年表

- 平成11年 ゆはず交流館
(岩手町中央公民館・図書館・沼宮内児童館) 開設
- 平成12年 ゆはず町民大学講座を開設
- 平成14年 第1回「里川キャンプ」開催
(中央公民館主催は22年度から)
- 平成15年 公民館まつりを開催
- 令和4年 2022いわてモルックオープン大会を開催

左図・写真の説明等など (PRポイントなども可)

- 「2022いわてモルックオープン大会」
令和4年6～10月に月1回開催。県内から16チーム約100人が旧浮島小学校においてリーグ戦を行った。年齢性別問わず楽しめるため、町内の競技人口も急増中。令和5年は引き続き「2023いわてモルックオープン大会」を開催したほか、8月には日本モルック協会公認大会を県内初開催する。
- 令和4年度「里川キャンプ」
令和4年7月に3日間デイキャンプで開催。近隣市町などから参加の小学生79人が築場見学やキャベツ収穫、水生生物調査や川遊びを行い、南山形地区の自然を体感。学区を超えた交流や同地区の魅力に触れる良い機会となった。令和5年度も7月に3日間で開催予定。

公民館情報		1. 公民館対象人口	12,043人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成11年6月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	50台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1,498人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2,029人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1,129人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				合計 4,656人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> 兼任 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 3人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (児童館) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (岩手中央幼稚園、沼宮内保育所、川口保育所、一方井保育所、水堀保育所、城山保育園、沼宮内小学校、川口小学校、一方井小学校、沼宮内中学校、川口中学校、一方井中学校、沼宮内高校、NTT東日本、NPO法人岩手町国際交流協会、いわてまち女性の会、南山形地区自治振興会連絡協議会、岩手町立図書館、大野☆ドリーム)				

岩手町中央公民館 (ゆはず交流館)

OPEN 8:30~22:00 H P <https://town.iwate.iwate.jp/town/accessmap/yuhazu-koryukan/>
 TEL 0195-62-2877 SNS 無し



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

岩手町は、盛岡市の中心から北へ30キロ、北緯40度に位置する、「北上川の源泉のまち」、「彫刻のあるまち」、「ホッケーのまち」などさまざまな顔を持った、野菜の生産量も多い自然豊かな町である。

しかしながら、町でも少子化⇒児童数減少⇒小学校閉校の流れを止められず、世代間交流の機会も減少。ここ数年においてはコロナ対策も重なり、地区民の交流の場も減少傾向となっている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【里川キャンプ】

魚種が豊富な丹藤川が流れ、町内でも屈指の自然に恵まれた南山形地区において、閉校した小学校校舎の利用促進と、同地区の大自然の中で体験活動を行うことで、児童の健全育成を図ることを目的に、平成14年から開始。平成22年度より中央公民館主催で実施。

《主な体験活動》築場見学、キャベツ収穫、野外炊飯、水生生物調査、川遊び

《体制づくり・取組の実施》◇協力を呼びかけた団体・関係者、役割分担

・南山形地区各種連絡協議会（周辺整備、昼食づくり指導）、岩手県自然観察指導員（川の安全教室）、キャベツ栽培農家（キャベツ収穫）

【いわてモルックオープン大会】

里川キャンプ同様、閉校した浮島小学校の利用促進と地域活性化を図るため、令和3年の体験会を経て、翌年は6～10月の月1回と冬に大会を開催。

《体制づくり・取組の実施》◇協力を呼びかけた団体・関係者、役割分担

・下浮島自治振興会（会場維持管理等）、大野☆ドリーム（指導、運営協力）



里川キャンプ（築場見学）



里川キャンプ（川遊び）

3. 取組による成果や効果

【里川キャンプ】○令和4年は日数を3日に増やし、近隣及び鉄道沿線市町の児童を対象を拡大したところ、全日定員を超える申込み・参加者となった。児童が自然の中で体験活動をする機会、また学区外を超えて交流の輪を広げる貴重な場として認識されている。○地域住民を公民館がコーディネートし、大人が仕事や得意分野で子どもと一緒に活動する場が増え、世代間交流に繋がった。また大人側に成長した元参加者が携わるなど、地域貢献にも繋がった。

【いわてモルックオープン大会】○簡単なルールで性別年齢問わず楽しめる競技のため、公民館事業に留まらず地区行事などに取り入れられ、町内でも競技人口が急増している。

○大会には町外から参加したチームもあり、今後も交流人口増加が見込まれる。また、賞品に地元の収穫野菜などの特産品も取り入れ、町産品PRに繋がっている。



いわてモルックオープン大会



冬のモルック大会

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

事業評価については、3名の評価委員に教育委員会の事務事業評価をお願いしており、公民館事業についても5段階で評価いただいている。また、全体の事業については、公民館運営審議会の中で評価検証が行われ、次年度の事業に活かしている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

少子高齢化は全国的な課題であり、地域の子どもの触れ合いの機会は限定的になってきている。そのような環境において、体験活動や団体生活等を通じた自己肯定感、自己有用感の醸成は子どもの成長にとって欠かせないものとする。また、それを支え活躍する大人も必要不可欠である。公民館では、交流人口の増加を目指し、町の中だけでの活動ではなく、事業の募集や活動の場の範囲を拡大し、子供たちの成長に寄与していくことが大切だと考えている。



ハイキング

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

公民館が核となり、地域住民の主体的な活動の支援や、地域人材の効果的コーディネート、または関係機関との連携促進を実施していきたい。



サコッシュづくり

健康で笑顔あふれる地域を次世代へ

一関市千厩市民センター(岩手県)



アンブレラスカイせんまや



ひまわりプロジェクト

公民館の沿革・年表

- 昭和25年 千厩公民館が役場内に設置される
 昭和43年 千厩町福祉会館が建設
 会館内に公民館が設置される
 昭和51年 千厩町立千厩公民館となる
 平成5年 千厩地区自治会協議会設立
 平成17年 千厩地区まちづくり協議会設立
 一関市千厩公民館となる
 平成27年 千厩公民館が千厩市民センターになる
 平成30年 千厩市民センターの管理運営を指定管理者に移行する

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

(アンブレラスカイせんまや)

青空に希望の傘をあげる「アンブレラスカイせんまや」。地域の皆さんの協力で集められた約200本の色とりどりの傘を青空に高くつり上げる。フォトスポットは、高校生の皆さんがアイデアをこらし作成。eスポーツ体験会も同時開催。

(ひまわりプロジェクト)

支援学校中学部、高校生サポーターが大切に育てた「夏を彩るひまわり畑」は、フォトスポットや希望のアーチなど訪れた皆さんの手でひまわり畑を装飾できるなどアイデアがいっぱい。

公民館情報		1. 公民館対象人口	5,184人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和43年	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (千厩地区まちづくり協議会) <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	1,617人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	9,807人	合計 14,604人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	3,180人 ()	<input type="checkbox"/> 講演会、展示会等	人	
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	3人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	合計 5人
	<input type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人)				
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (利用料ほか)				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市民センター運営協議会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
	<input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (療育教室)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述	(災害時には避難所として運営されている)			
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input checked="" type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学	
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	
	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
(各自治会、商店街振興会、一関市立千厩小学校、一関市立千厩中学校、千厩地区福祉活動推進協議会、千厩まちづくり(株)、特定非営利活動法人響生)					

一関市千厩市民センター

OPEN 8:30~22:00

H P <http://www.senmachi.com/>

TEL 0191-52-2309

SNS [インスタグラム\(千厩高校、千厩地区まちづくり協議会\)](#)



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

千厩地区は一関市千厩町の中心部に位置し、古くから中心商店街を形成し、政治・経済・教育等の中心地として社会基盤・生活環境の整備とともに発展してきた。しかし、少子高齢化や核家族化など社会情勢の変化により、これまで行政が主体となって進めてきた地域づくりは、様々な形で支障が出てきており、特に地域活動の基本となる地域コミュニティの維持が年々難しくなっている。このような現状を踏まえ、地域づくりを担っている地区内自治会を中核に、地区内各団体とともに、「健康で笑顔あふれる地域を次世代へ」をスローガンに、地域住民の参画のもと将来の姿を共有し取組を進めている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【力を入れている活動】（各世代や各種団体に協力いただいている事業）

新型コロナウイルスの影響で活気がなくなっていた地域の皆さんが少しでも楽しめるような屋外での事業を企画している。様々な世代の方に携わってもらうよう意識している。

・アンブレラスカイせんまや

屋外に傘を飾るこのイベントには小学生に傘に絵を描いてもらい、中学生にはイベントの日には吹奏楽の演奏を披露いただいた。高校生には、フォトスポットの作成やイベントのスタッフなど積極的に運営協力をいただいている。また、施設を利用している団体を中心にステージ発表を行い、イベントを盛り上げた。

・ひまわりプロジェクト

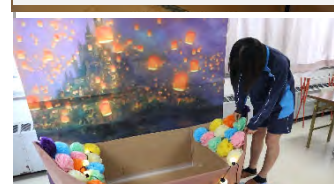
休耕地を利用した景観形成を目的とし、昨年当協議会役員と中学生で種まきを行った。高校生は、畑の管理や看板を作成、ひまわり油の販売も行った。夏には高校生と役員でひまわり畑の移動視察研修を行っている。活動の様子は参加した高校生にInstagramで投稿してもらい、地域の方がリアルタイムで確認できるようにしている。

【特徴的な活動】（パソコン、スマホなどIT技術を活用した情報発信）

ホームページのメインページには、YouTube「せんまやチャンネル」をはじめ、Instagram、高校生がボランティア活動の様子を発信する「千厩みんなのブログ」などを活用し、タイムリーな話題を積極的に情報発信している。



アンブレラスカイせんまや準備風景



高校生サポーターによるフォトスポット作成



ひまわりプロジェクト ひまわり油販売風景

3. 取組による成果や効果

【様々な世代をつなぐ事業展開】

高校生ボランティアは活動開始当初は20人ほどだったが、活動が定着してきた効果で令和5年度は40人ほどの応募があり、地域づくりへの参加機会が増えてきた。また、地域の団体から「参加したい」と声をかけていただくことが多くなり、多方面の団体に協力いただいている。また、高校生との活動を聞いて市内にある国立工業高等専門学校生徒も、今年度は参加予定である。各種団体との連携・協働を大切にしていきたい。

【市民講座、元気セミナーの開催】

毎年参加していただいている利用者が多いが、開催の時間帯を変えることで、講座に興味を持って参加していただいた新規参加者が増えてきている。



アンブレラスカイ団体発表風景

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・「千厩地区地域づくり計画」では、平成28年度から令和7年度までの「千厩地区」が目指す方向性を定めている。
- ・学識経験者やセンター利用者で構成する「市民センター運営協議会」を開催し、意見を事業に反映させている。
- ・各講座で参加者に対してアンケートを実施し、参加者の声を参考にしながら、事業計画を立てている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

千厩地区住民が自ら地域の将来像を考え、誰もが地域への愛着をもち、安心して暮らせる住みよい地域社会を実現していきたいと考えている。千厩地区地域づくり計画の目的である、「健康で笑顔あふれる地域を次世代へ」をテーマに、この地域に住む人々がいきいきと心豊かに生活するため、地域住民自らが話し合いを实践し、地域に対する誇りと自信をもって魅力あるまちづくりを推進し、住民自治の拡充のため事業を運営していきたい。



高校生ボランティアによる打合せの様子

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

アンブレラスカイ、ひまわりプロジェクトなどは「地域おこし」事業として位置づけている。今後は「地域づくり」の事業として、地域の皆さんと共に生活に役立つ講座や事業について、これまで以上に取り組んでいきたいと考えている。また、インターネットやSNSの活用は、運営に欠かせないツールになると感じている。参加していただく住民の姿を想像し、各世代にマッチした方法で住民のデジタル活用を促進していきたい。



高校生サポーターによる情報発信

「伝承」「防災」「交流」の地域の拠点

大館市立二井田公民館(秋田県)



大館市立二井田公民館



防災食実食体験「おかずの人気投票！」

公民館の沿革・年表

- 昭和30年 二井田村が大館市に編入する。
- 昭和33年 旧二井田村役場跡地に公民館を開設する。
- 昭和51年 現在地に二井田公民館が移転新築する。
- 平成19年 改築竣工する。
- 平成25年 台風の影響により地域住民の避難所となる。
- 令和 2年 公民館交流サロンを開始する。
- 令和 2年 二井田3大魅力事業を開始する。
- 令和 4年 豪雨により地域住民の避難所となる。

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

- 大館市立二井田公民館
人口約7万人の大館市にある、11の地区館のうちの一つ。公民館対象人口が1,910人の小さな公民館であるが、地域文化の伝承、地域の防災、地域住民の交流などを担う、地域の拠点としての役割を果たす地域密着型の公民館。
- 防災食実食体験「おかずの人気投票！」
大雨での避難所開設実績を基に、防災食の実食体験を行った。備蓄のアルファ米をおいしく食べるために、常温保存のおかずを美食し、人気投票を実施。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1,910人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し	
		2. 建物設置年月日	平成19年2月5日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数		
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	266人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	5,454	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	170人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	332人	(町内会が地区行事として使用)		合計	6,222人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	0人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	1人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	1人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人)		(職員のうち社会教育士の数 0人)		<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (地区体育スポーツ振興会からの共益費)					
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂		
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援		
	<input type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール		
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (伝統文化伝承活動、世代間交流活動)					
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (大館市役所二井田出張所)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述	(地域の拠点として、地域住民に愛され必要とされる地域密着型の公民館)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学		
	<input type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関		
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input checked="" type="checkbox"/> その他		
	二井田保育所、南小学校、南中学校、二井田地区町内会長連絡協議会、大館市連合婦人会、二井田白寿会、地区体育スポーツ振興会、二井田地区青年会、大館市役所、大館市教育委員会、大館市立中央公民館、大館市立栗盛記念図書館、地域おこし協力隊、民生委員、民生児童委員、包括支援センター大館南					

大館市立二井田公民館

OPEN 9:00~22:00

H P

<https://www.city.odate.lg.jp>

T E L 0186-49-4121

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 本地区は、人口減少、少子高齢化等が顕著である。特に高齢者の孤立が心配されるため、高齢者を中心とした講座を実施するなど、高齢者の拠り所となる活動を心掛けている。
- 大館市でも有数の光り輝く地域素材が数多くある本地区であるが、その魅力が地域住民に知れ渡っていないため、町内会や地元中学校とも連携しながら、地域文化が伝承されるような様々な角度から事業等を展開するようにしている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【二井田3大魅力事業（伝統文化伝承活動）】

世界文化遺産となっている平泉を拠点に繁栄した奥州藤原氏の終焉の地であり、最後の当主泰衡を祀っている錦神社が地域に残り、泰衡の最期について一般に知られる歴史とは違う伝承がある二井田地区。忠犬ハチ公の生誕の地は二井田地区。さらに江戸時代中期に「直耕」「互性」などで身分制度に意を唱えた医師であり思想家としても有名な安藤昌益の生没地である二井田地区。本公民館では、この「錦神社」「忠犬ハチ公」「安藤昌益」を二井田3大魅力と呼んでいる。この3大魅力を地域住民により知ってもらい、**地域の伝統文化を伝承してほしい**という願いとともに、**地域住民の誇りとなってほしい**という願いから、公民館主催で多数の事業を行っている。

【防災の地域拠点（防災）】

本地区は2本の河川の隣接地域であり、豪雨等自然災害時には本公民館が一次避難所となる。いざという時の防災の地域拠点となるため、防災に関する取組を多面的に行っている。防災食の実食体験は、**地域住民に防災への関心を高める**ために行っている。備蓄しているおかずを地域住民に食べてもらい、グルメイベントのように人気投票を実施した。また、地元中学校と連携し、公民館の防災の役割について協議している。その結果、避難所の煩雑な入退室への対応として、中学生が腕章を作成し、寄贈してくれた。月1回発行の公民館だよりには、防災に関する記事を掲載し、地域住民、特に高齢者の防災意識を高めるようにしている。

【公民館交流サロン（高齢者の学びの支援）】

高齢化が顕著な本地区では、**高齢者の学びの創出**が公民館の大きな役割となっている。講座中には、会話のある和やかな雰囲気を保つため「お茶っこタイム」を設定している。時には隣接する保育園児も迎え、一緒に楽しむなど多世代交流も意識して行っている。講師を招いてのお雛子体験会を実施したり、七夕飾りで公民館正面玄関を彩ったりするなど、高齢者の声を参考に、参加者の笑いの絶えない講座を行っている。



二井田3大魅力事業
「忠犬ハチ公雪像づくり」



公民館交流サロン
「お雛子体験会」

3. 取組による成果や効果

- 二井田3大魅力事業により、地域素材への地域住民の関心が大きく高まった。特に**地元中学校**では、これまで以上に3大魅力を**学習で取り上げる**ようになり、地域文化の伝承につながっている。
- 本公民館が災害の際の拠点であることを理解した地域の高齢者が、防災や避難に関して問い合わせるようになった。
- 公民館交流サロンでは、行事の回数を重ねるごとに**参加者同士の触れ合い**が見られるようになった。会話が多くなり、**新たな仲間づくり**につながっている。また、**多世代交流**を意識した講座を実施したことにより、日常においても世代を超えた会話や交流が見られるようになった。



地元中学校が作成した錦神社の
パンフレットを公民館内に展示

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 公民館運営審議会は5名で地区代表者や学識経験者が委員を務めている。**公民館運営についてより多面的に協議**できるよう、スポーツ振興会や婦人会、生涯学習奨励員、町内会長等の多様なメンバーがアドバイザーとして本審議会に参加している。
- 運動会、文化祭等の際には、地域住民に事前アンケートを取ったり、ヒアリングしたりし、その**意見を反映させた事業を展開**するようにしている。実施後は反省点や改善点をまとめ、次の開催に備えている。また、行政組織として上部公民館である大館市立中央公民館に、「学習の記録」として事業の概要、準備、次回への課題をまとめ、文書報告している。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

令和4年度には本公民館が避難所指定となった。幸い避難者はいなかったが常に避難体制を整えておかなければならない。避難所になった際、日常のコミュニケーションが一番の潤滑油となり、**心の支え**は人と人とのコミュニケーションと考える。そのため、公民館での学習やスポーツ行事では、日常から聴講一方通行の形にせず、**できるだけ参加者の会話交流を大切に**し、もしもの避難所生活時の心の支えとなるようにしている。



公民館交流サロンでの交流の機会
「お茶っこタイム」

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 二井田3大魅力をはじめ、地元の貴重な地域素材を伝承し、**次世代へつないで**いきたい。今後は、その地域素材が地域住民の誇りとなるよう、メディア等にも取り上げていただきアピールしていきたい。
- 小規模の地区館であるが、地域の拠点として多くのことを地域住民に伝えることができるようにしていきたい。**持続可能な地域**を目指し、よりよいに本地区に向け、子どもからお年寄りまでと一緒に地域の今後について考える場などを創出していきたい。



園児と一緒に「七夕飾り」

地域でつくる公民館

由利本荘市石沢公民館(秋田県)



地区文化祭の様子



山焼きの様子

公民館の沿革・年表

- 昭和21年 石沢村公民館創設(役場併設)
 昭和29年 市町村合併により本荘市石沢公民館
 昭和46年 生活改善センター建設、公民館センターへ移転
 平成2年 ウッデイホールこだま建設
 平成17年 市町合併により由利本荘市石沢公民館
 平成28年 生活改善センター解体
 ウッデイホールこだま増築
 ウッデイホールこだまへ公民館移転
 令和3年 石沢小学校が小友小学校へ統合

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

【地区文化祭(取組全体)】旧石沢小学校校舎を活用して開催された文化祭。「自分たちがやりたいこと、見せたいことを気軽にできる文化祭」、「大人も子どもも自由に楽しめる文化祭」をスローガンに、これまでの小学校との協力で実施していた体制を一新し、地区に関わる方々の発案による様々な催しを実施した。

【三ツ方森の山焼き(公民館協力事業)】若者が少なくなり継続が難しくなっていた伝統の三ツ方森町内の春の山焼き行事を、県立大学生等に呼びかけ継続している。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1,371	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成2年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	50台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 103人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 2,106 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 700人 合計 3,200人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 291人 (住民健診等)				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 2人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 4人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (モデル木造施設建設事業(林野庁補助事業)で建築)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (石沢保育園、小友小学校、石沢地区町内公民館長連絡協議会、由利本荘市中央図書館、石沢を元気にする会、夏まつり実行委員会、ZUボランティア、由利本荘市石沢財産区)				

由利本荘市石沢公民館

OPEN 8:30~21:00 H P
 TEL 0184-29-2111 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

令和3年3月に地区唯一の学校である石沢小学校が、児童数の減少に伴い、隣の小友小学校へ統合となり、閉校となった。閉校後の地域活性化を目的に、コミュニティ生活圏形成事業ワークショップや「石沢小学校校舎利活用を考える会」が発足し、住民が地域の活性化について考える話し合いが令和2～3年度にかけて行われた。その結果、「石沢を元気にする会」の誕生、校舎給食室を利用した「石沢学校食堂」の開店等に結び付いた。住民が地域活性化を自分事として考えるようになった。また、地域支援員が令和元年度から公民館に配置され、住民ニーズの把握、ボランティアの育成支援等の活動を行っている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【地区文化祭（取組全体）】

石沢小学校閉校後の閉校した校舎での初の文化祭。「自分たちがやりたいこと、見せたいことを気軽にできる文化祭」、「大人も子どもも自由楽しめる文化祭」をスローガンに、これまでの小学校との協力で実施していた体制を一新し、地区に関わる方々の発案による「お化け屋敷」「健康麻雀」「発動機展示」等を実施した。（お化け屋敷、健康麻雀は、「石沢を元気にする会」が企画実施）ステージイベントでは、恒例の保育園児のお遊戯のほか、高校民謡部の民謡、隣の地区の屋敷番楽が披露された。各展示ブースでも新たな試みとして、地元石沢大滝のVR体験ツアー、ドローンで撮影した絆の茂里の映像が流された。小学校の発表、展示が無くなったが、地区の方の手作り作品の展示、販売に多くの人が集まり盛況となった。（来場者約700人）



地区文化祭の様子

【石沢の夏まつり（地域活性化）】

令和3年度に地域の若者5人が中心となり「石沢の夏まつり実行委員会」を結成して実施した。また、令和4年度は町内会長会議等を通して開催趣旨を説明し、実行委員会のメンバーが開催費用を協賛金として集めた。当日は、実行委員会のメンバーのほか地域の若者の多くが協力し、カラオケ大会、屋台、射的、型抜きなどの縁日を行った。まつりの最後には、100発の花火を打ち上げ夏まつりを締めくくった。（公民館協力事業）



夏まつりの様子

3. 取組による成果や効果

- 公民館主催事業に対する住民の自主的な協力により、住民同士の情報交換や、連携促進の場にもなっており、公民館主催事業をきっかけに地域の輪の広がりを感じることができるようになった。特に、令和元年度には60代から70代前半の住民によるボランティア団体「ZUボランティア」が公民館に組織され、同団体が中心となり、「絆の茂里」の桜のライトアップや旧石沢小学校の環境整備等に取り組み、地域活性化に貢献している。
- 地域の中にある思いやアイデアをヒントに、住民とともに考え、形にすることができた。こうした取組を通して、公民館だけでは実現できなかったことを、住民とともに具現化することで新たな結び付きを生み出すことができた。



旧石沢小グラウンドの草刈り

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 学識者や地区住民代表、サークル活動代表者等20人で構成する当地区を含めた地域の公民館運営審議会を年2回開催している。各地区の事業報告を基に、委員から意見、評価をいただいている。
- 地区では、町内公民館長会議や町内会長協議会、石沢を元気にする会、ZUボランティア活動等に積極的に参加し、良かった点や改善点等について話をしている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

近年活発化している「石沢を元気にする会」や「夏まつり実行委員会」、「ZUボランティア」など、住民の自主的な活動を公民館職員がサポートするように心掛け、地域全体がつながる公民館の事業展開にも努めている。



ZUボランティアの皆さん

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

地域活動を自主的に行う団体、公民館活動に協力する団体等を支援するとともに、閉校となった小学校の利活用を考え、住民と協議しながら地区の賑わいを少しでも復活させる活動を展開して行きたい。



利活用事例：石沢学校食堂

「温もりの館 ～ 地区民の顔が見える交流をしよう」

米沢市万世コミュニティセンター(山形県)



早坂山散策



防災避難体験型キャンプ

公民館の沿革・年表

- 昭和25年 万世村役場に公民館設置
 昭和49年 万世公民館移転
 平成11年 現万世コミュニティセンター開設
平成18年 万世コミュニティセンターが指定管理になる
 令和02年 山形県社会連絡協議会から優良公民館表彰を受ける

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- 地区民交流事業/健康づくり事業「早坂山散策」の様様
早坂山あるき隊との共催で、新緑の5月と紅葉の11月、年2回散策イベントを実施。特に秋は下山後の芋煮付きとあって**米沢市内外の参加者が30名を超える人気のイベント**となっている。
- 青少年育成事業「防災避難体験型キャンプ」の様様
青少年育成万世地区民会議との共催で、コロナ禍でも避難所体験型キャンプを実施。**停電、断水を想定して防災食づくり、給水訓練等体験してもらった。**

公民館情報		1. 公民館対象人口	4363人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成11年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	64台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (<small>米沢市万世コミュニティセンター管理運営委員会</small>) <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2003人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 12922人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 972人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 1300人 (選挙時投票者等)				合計 17,197人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 4人				
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (事業参加者アンケート調査、関係団体からの意見)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (米沢市万世コミュニティセンター) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (通称「木楽里(きらり)」。木造平屋建。自然豊かで小学校、スポーツ施設や企業群が隣接。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (万世教育振興会、青少年育成万世地区民会議、萬世大路保存会、早坂山あるき隊、万世体育協会、朝市の会、万世地区運営委員会、万世子ども見守り隊)				

米沢市万世コミュニティセンター

OPEN 9:00~22:00

TEL 0238-28-5381

HP <http://yonezawanet.jp/bansei-com/>SNS <https://www.facebook.com/banseikomisen/>



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

少子高齢化が進む中、万世コミュニティセンター管理運営委員会のまちづくり部会や万世教育振興会が主となり、万世地区の5年後10年後を見据えたまちづくりについて協議を重ね、その中で地区の方にまちづくりに関するアンケート調査を令和3年に実施。その結果、万世地区は自然が豊かで、高速道路のインターチェンジがあり、JR米沢駅も近くでアクセスがよく、隣接する工業団地で働く方が多く住みやすいこと、**地区の人口の7割弱がここ50年で転入してきた方であることがわかった。**このことから、**もともと地区に住んでいる地区民と転入してきた地区民の交流を促進する事業に力を入れることとした。**

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【歴史の道 土木遺産萬世大路散策（地区民交流/地域資源を活用したまちづくり）】

本事業は、平成4年から一般向けの自然教室から始まった。毎年6月に開催しており、**自然の素晴らしさと明治の遺産の偉大さに感動するリポーターが多く、春の山菜汁は好評を博している。**9月には地元万世小学校5年生が校外学習で片道4.1Kmの萬世大路を散策するとともに、**明治時代の遺構を学んでいる。**なお、**萬世大路の教本を作成するとともに、米沢市内の教育機関にも配付している。**



万世小学校5年生校外学習
萬世大路散策

【早坂山ハイキング（地区民交流/健康づくり/地域資源を活用したまちづくり）】

令和元年度、**米沢市の健康長寿のまちづくり推進事業の募集に、地区の早坂山をハイキングできるようにするための山道整備事業をエントリーし採択された。**本事業は、春と秋の2回開催。急峻な山で多様な植物が植生し、山頂からの眺望も好評で**人気のイベント**になっている。

【防災避難体験型キャンプ（青少年育成/防災）】

令和元年、青少年事業としてキャンプ体験として始めたが、2年目からはコロナ禍となり**防災避難体験型キャンプ**とした。キャンプファイヤーをスウェーデントーチに切り替え、**段ボールベッドやパーティションの設営、防災食づくり、救護訓練、給水訓練を想定したキャンプ**を実施している。



防災キャンプ 担架リレー

3. 取組による成果や効果

【各活動による成果・効果（歴史の道 土木遺産萬世大路散策）】

● **地区民はもとより、地区外の人との交流も促進されている。**●令和2年、**萬世大路が「未来に伝える山形の宝」に登録された。**●萬世大路の散策が、JR東日本の「駅長オススメの小さな旅」に企画されるまでになっている。

【これまでの取組全体による成果・効果】

●取組を展開するに当たって、**関係団体と連携することで新たな交流が生まれている。**●取組によっては、地区外から参加される方も多く、**より多くの方に地区の歴史や自然のよさを知ってもらっている。**



未来に伝える山形の宝ロゴマーク

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

●活動後に**参加者にアンケートを実施し、改善点、意見等を出してもらい、次回活動に反映させるようにしている。**●活動を関係団体と共催で行う場合、**関係団体からも改善点等を出してもらうようにし、次回活動に活かすようにしている。**●管理運営委員会のまちづくり部会から提案された事案については、事案の内容によっては、関係団体と連携を図り、**即対応できるものは即実行に移している。**

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地区に存在する**恵まれた地域資源（自然、歴史等）を有効活用するとともに、地区民が元気に活動できる機会を提供し、地域づくりや地区民交流を促進していくことが大切である。**具体的には、関係団体と共催事業を展開し、**多くの地区民に事業に関わっていただくことが大切だ**と考えている。



地元スキー場を活用したヨガ

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

昨今、人々の生命が脅かされるような自然災害が度々発生している。そのため、災害時において、町内会、隣組活動を機能させるためにも、**オンラインによるネットワークづくりを促進したい。**なお、オンラインのネットワークづくりの促進に当たっては、スマホやパソコンの基礎知識や操作方法を習得してもらうことが必要であるため、**スマホ教室やパソコン教室を地道に展開していきたい。**



高齢者スマホ教室

地域課題解決に寄りそう公民館

会津若松市大戸公民館(福島県)



防災学習会



防災教室

公民館の沿革・年表

- 昭和39年 会津若松市公民館条例制定
- 昭和55年 会津若松市公民館運営審議会規則制
- 平成12年 会津若松市公民館事業懇談会開催要綱制定
- 平成30年 大戸地域学校協働本部設置
- 令和 2年 文部科学大臣表彰（地域学校協働活動）
- 令和 4年 福島県教育・文化関係表彰

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

- 大戸町防災事業
大戸地区では、多くの箇所が土砂災害警戒区域等に指定されており、令和元年の台風19号では大戸公民館においても自主避難の受け入れがなされるなど、災害が住民の不安の種となっている。これを受け、令和4年度に14地区全てにおいて、防災学習会を開催した。
- 放課後子ども教室
授業終了後の児童の安全安心な居場所づくり及び地域住民が一体となって児童の健全育成に取り組む放課後子ども教室においても毎年防災教室を開催し、学びを通して地域課題の共有を図っている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1,302人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和60年3月25日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	30台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	871人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	3788人	<input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	1412人	(会津若松市役所関連事業)		合計 6,071人
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任	0人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	5人	<input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 5人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (事業懇談会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
<input type="checkbox"/> その他 ()					
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ()			
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述	(大戸町の中心に位置し、徒歩10分以内に小学校・中学校がある。指定避難施設に指定。)			
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学	
	<input type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input type="checkbox"/> 行政機関	
	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他	
	(大戸小学校、大戸中学校、区長会、民生・児童委員協議会、体育連盟、防犯協会、赤十字奉仕団、児童園、NPO法人大戸まちづくり協議会、大戸地域防災委員会)				

会津若松市大戸公民館

OPEN 8:30~22:00 H P <http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp/docs/2007081001115/>
 TEL 0242-92-2373 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

昭和30年代約4,000人であった会津若松市大戸町の人口は令和4年度末には約1,300人にまで減少し、高齢化率が50パーセントを超えるなど、人口減少や少子高齢化に伴い、地域活力の低下が懸念されている。

そうしたなか、地域特性、優位性を再発見し、地域課題を解決するための方策を考え、実践することを通して、地域住民の福祉の増進や産業の振興、生活文化の振興等に寄与する団体として、全14地区で構成される区長会を中心に「大戸まちづくり協議会」が令和2年に設立され、同時に今後のまちづくりの方向性を定めた「大戸・地域づくりビジョン」が策定された。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

「地域課題解決に寄りそう公民館」をテーマに、NPO法人大戸まちづくり協議会が策定した「大戸・地域づくりビジョン」に位置づけられた活動の柱を具現化する事業を公民館が主体となって取り組んでいる。

●活動の柱【防災力を地域ごとに高める】

土砂災害警戒区域等が数多く指定されている地域であることに対する住民の不安を解消すべく、全14地区における防災学習会を開催するとともに、住民参加型のワークショップを合計28回開催し住民自らの手によって全ての地域における防災マップを令和4年度に完成させた。

●活動の柱【他地域に誇れる魅力的な教育環境づくり】

大戸公民館が中心となり、学校や地域の団体・人材と連携し、地域住民による学びの支援や子どもたちの成長の見守りを通して、地域の宝である子どもたちを育む事業を実施。

「地域学校協働活動（学校支援ボランティア）」

大戸小学校・・・プール清掃、田植え手伝い、花壇整備、稲刈り等

大戸中学校・・・野菜作り、プール清掃、校内清掃等

「放課後子ども教室」

大戸小学校・・・竹細工づくり、スポーツ吹き矢、防災学習会、染物体験等

「川柳大会の開催」

川柳を通して郷土愛を醸成するとともに、大戸町の広報を目的として実施。地域住民からの応募総数117作品。

○各事業のお知らせ、募集、報告は毎月発行の館報「大戸岳」を全戸に配布し、周知徹底を図る。



大戸町防災マップ



大戸小学校稲刈り

3. 取組による成果や効果

●全14地区共通の課題である防災事業に取り組んだ結果、延べ270名の参加があり、非常に熱心に防災知識の習得に臨む姿が見られた。さらに、住民自らが作成したマップの完成度が非常に高く、地域外及び新聞社からの取材等の問合せが多数寄せられた。

●住民が主体となったまちづくり組織「NPO法人大戸まちづくり協議会」が掲げるまちづくり計画（ビジョン）に講座を位置づけることで、住民ひとり一人が事業への参加によってまちづくりを担っているという強い意識づけに繋がり、地域全体の活性化が図られている。

●公民館事業へのボランティア参加が有意義だったことで、新たな事業への参加及びNPO法人大戸まちづくり協議会の会員となり、公民館事業以外のボランティアとして活躍する人材が増えてきている。



防災マップ作り

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

●大戸公民館事業懇談会を定期的開催し、事業報告、事業計画について地域住民の代表者から広く意見を聞き、事業の検証を行いながらより効果的な運営に努めている。

●最低月1回開催されるNPO法人大戸まちづくり協議会の定例会に職員3名が出席し、公民館事業の進捗を説明するとともに様々な意見や要望を伺いながら事業運営の参考としている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域生涯学習施設としての機能のみならず、地域課題解決のための拠点施設となるため、住民ニーズを的確に捉え、業務における学びを通して人と人とのつながりを大切にしたい事業を展開できる公民館職員でありつづけることが大切であると考えている。さらには、老朽化した施設であるが、長寿化を図りながら、整理整頓を心掛け、清潔で気持ちよく利用していただける施設管理を心掛けていく。

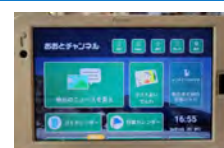


大戸公民館

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

●令和4年度に全14地区の集会所にWi-Fi環境が整備され、大戸町独自の情報端末「おとおとチャンネル」が設置されたことに伴い、今後ICTを活用した遠隔開催講座やサテライト敬老会等を検討中。

●地域老人クラブの活動が低迷していることから、地域学校協働活動や放課後子ども教室事業との連携により地域高齢者の生きがい対策に積極的に取り組む。



おとおとチャンネル

人とのふれあい・集いの場 国見町公民館

伊達郡国見町公民館(福島県)

公民館の沿革・年表

- 昭和29年 町内合併とともに国見町公民館を設置
- 平成29年 地域学校協働活動推進文部科学大臣表賞を受賞
- 令和3年 福島県教育・文化関係表彰を受賞
国見町図書館開設
- 令和4年 成人教育3学級を「くにみ観月台カレッジ」として統合

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

(写真上) 国見町地域学校協働本部事業「国見っ子わんぱく広場」での活動の様子。
「夏祭り」では縁日を模したコーナーを設け、地域住民の協力を得て実施し、世代間交流を図った。

(写真下) くにみ観月台カレッジグループ学習「グラウンドゴルフ」の様子。
学習の内容は受講生が主体的に話し合い、構成を決定する。



国見っ子わんぱく広場「夏祭り」



くにみ観月台カレッジ「グラウンドゴルフ」

公民館情報		1. 公民館対象人口	8,343	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)	
		2. 建物設置年月日	昭和29年3月31日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	50台	
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()					
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	14,414	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	25,267	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	1,779人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	3,989	(図書館)		合計	45,449人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	7人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	1人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	5人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人)		(職員のうち社会教育士の数 0人)		<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人
		合計 13人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()					
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()					
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂		
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援		
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール		
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学		
<input type="checkbox"/> その他 ()						
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター		
	<input type="checkbox"/> その他 ()					
<input type="checkbox"/> 自由記述 ()						
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学		
	<input type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input type="checkbox"/> 各種団体	<input type="checkbox"/> 行政機関		
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> その他 ()					

国見町公民館

OPEN 9時～21時

TEL 024-585-2676

HP <http://www.town.kunimi.fukushima.jp/>

SNS LINE, Twitter, Facebook





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- ・社会全体の多忙化により家庭や地域において、多様な体験・交流活動の機会が減少している。また、子どもたち一人一人の社会性・自主性・創造性など豊かな人間性を涵養する精神的ゆとりが乏しくなっている傾向がある。
- ・社会情勢の変化に合わせ、社会的な課題、地域の課題、町民のニーズなどを取り入れ、柔軟に変化を加えながら事業を組み立てていくことが課題となる。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

①青少年教育(地域学校協働活動)

- ・コーディネーターを中心とした地域人材による様々な体験活動や交流体験に取り組む「国見っ子わんぱく広場」（小学1～3年生対象・登録数66名）「少年仲間づくり教室」（小学4～6年生対象・登録数35名）などを実施した。子どもたちの豊かな人間性を涵養するため、放課後や週末など、学校以外の時間で様々な体験・交流活動を行った。
- ・地域住民のボランティアの協力により、世代間の交流を図り、地域社会の教育力の向上を図るとともに、地域住民の自己実現や生きがいづくり（生涯学習）を推進している。



国見っ子わんぱく広場での世代間交流

②くみにみ観月台カレッジ

- ・令和4年度より、これまでの女性教室・成人学級・阿津賀志学級を統合し、クラス学級のほかに全体学習（年6回）を実施した。また、学級生が主体となる趣味のグループ学習（13グループ）を実施し、自主的な学習の取り組みを促している。統合により、これまでの学級の特色を残しつつ、誰でも興味のある学習に取り組むことのできるよう取り組んだ。（受講生 151名）



くみにみ観月台カレッジ「おとこの料理」

3. 取組による成果や効果

- ①他学年との交流や子どもたちの成長が感じられた。また、地域の講師や学生ボランティアとの関わりは、核家族化や地域内の関係性の希薄化が進む今の子どもたちにとって大切な機会となった。

- ②多くの仲間と話し合い教養を高めるとともに、趣味を広げ、心豊かにより健康で充実した生活を送ることができる学習の機会となった。参加者自らもどのように取り組むべきかを考え、次年度の事業計画に反映することができたのはよかった。



少年仲間づくり教室（学生ボランティアによるサポート）

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ①国見町地域学校協働本部運営委員会での視察を実施し、アンケートにより事業を評価した。
- ②観月台カレッジにおいても、参加者の固定化や高齢化といった課題に向き合い、だれでも参加しやすいような事業の枠組みを考える必要があり、参加者に対し1年間の成果や課題についてアンケートによる意見を求めた。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 生涯学習社会の実現・住民自身が学びの主体者となることを目指し、自分づくりの基礎となる態度や力を身に付けさせる乳幼児期から義務教育段階の教育を大事にすること。
- ひとづくりとまちづくり・社会に開かれた教育課程の実現に加え、学校内外における学びの場を充実することにより、地域を支える人材、住民自治の主体者を育成すること。



くみにみ観月台カレッジ学習発表会「スポーツ民謡」

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 人との出会い・人とのふれあい・人と地域とのふれあい・人と学習やスポーツとの結びつきを大切にし、常に研鑽に努め、新しい感覚をもって公民館を運営する。
- 健康で生きがいのある生活を送るための主体的な活動を支援し、魅力ある公民館活動を推進する。



少年仲間づくり教室「タグラグビー教室」

公民館復活！公民館は楽しくてしょうがない

稲敷市桜川公民館(茨城県)



バスに乗って公民館へ行く(達人に習え)：地域の方々の参画



バスに乗って公民館へ行く(Wリング飛行機)：中学生の参画

公民館の沿革・年表

- 平成29年 公民館を廃止し、地区センターになる。
(所管は市長部局。公民館機能は残す。)
- 令和2年 行政サービスの窓口は存続
公民館運営企画委員会設置
「ママたちと作戦会議」開始
- 令和3年 「第1回バスに乗って公民館へ行く」を実施
中学校の生徒が公民館事業へ参加・参画
- 令和4年 「公民館運営方針」を制定
「第1回公民館まつり」を開催
多世代交流事業・地域資源活用を開始

左図・写真の説明など(PRポイントなども)

- 公民館運営企画委員を中心に『子どもたちの居場所となる公民館と、公民館があることが当たり前の地域をめざす』を目標に公民館活動をすすめている。
- 小学生体験事業「バスに乗って公民館へ行く」
「ママたちと作戦会議」のメンバーが企画した事業。最寄りのバス停からバスに乗って公民館へやって来た児童が6班に分かれ、3つのプログラムを体験する。運営は企画した母親たちの他、公民館運営企画委員や地域の大人たち、中学生が担っている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	5157人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)	
		2. 建物設置年月日	平成29年7月24日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	100台	
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会	指定管理者 ()	其他 ()			
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	632人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	8332人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	65人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	1696人	(公民館まつり、バスに乗って公民館へ行くなど事業、小学校PTAなど)			合計 10,725人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	3人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	1人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	3人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人)		(職員のうち社会教育士の数 0人)		ボランティア協力者	0人
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算	委託金	自治組織等予算	寄附等	其他 ()	
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (桜川公民館運営企画委員会)			
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂		
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援		
	<input type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール		
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学		
<input checked="" type="checkbox"/> その他 (多世代交流)						
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (行政サービスの窓口)				
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述	(子ども広場と絵本に特化した図書コーナーが一体化していて子育て世代が利用しやすい)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学		
	<input type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関		
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他		
(桜川公民館運営企画委員会、桜川小学校、桜川中学校、桜川地区更生保護女性の会、食生活改善推進委員協議会桜川支部、大杉あんば(伝統芸能)、市スポーツ振興課、市子育て支援センター、市包括支援センター)						

稲敷市桜川公民館

OPEN 9:00~22:00

H P

<http://www.city.inashiki.lg.jp/>

TEL 029-892-2000 (内4103)

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

市では市民協働のまちづくりを具体化するため、重点事業として「公民館を核とした地域づくり」を進めることとなった。これに伴い、「地区センター」を「公民館」として統一し、**実践する市民組織として市民により構成された公民館運営企画委員会が桜川公民館に設置された。**中学生が小学校の運動会の手伝いなどを行う姿を地域の人たちは誇りに思っており、コロナや小学校統合などでその機会は無くなったが、**中学生の参加を望む**声があった。桜川地区は、少子高齢化の進展が激しく、事前の地域の人たちとの意見交換会では「子どもたちの居場所となる公民館」を望む地域である。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【バスに乗って公民館へ行こう（小学生の体験活動・多世代交流）】

公共交通が不便な地域で、ほとんどの子どもたちがひとりでバスを利用することは高校を卒業するまで無い。初めてひとりでバスに乗る体験をさせたい、失われつつある縦のつながりで遊ばせたい、と願う保護者が**企画、運営している事業である。中学校との連携により「子どもの参画」を推進している。**

【地域の大人力で子どもたちの育ちを支える（学習成果の活用とふりかえり）】

地域で活動している団体が自ら講師となり、小学生や子育て世代の親子を対象とした講演会や絵本の読み聞かせなどを実施している。地域の大人たちが持つ知識や技術を生かし、地域の子どもの体験活動を支えると共に、教える側になることで**自らの学びをふりかえり、新たな学びの機会**としている。

【公民館運営企画委員会（取組全体）】

社会教育委員経験者、地元市議会議員、経営者や福祉事業関係の職員など30代から50代の男性、子育て世代の女性、地域を支えるボランティア団体の女性など世代の**バランスのとれた構成の委員が、自らも学びながら事業を企画、実践**している。公民館やコミュニティスクールなどについて年に数回講師を招き、研修を実施している。



バスが公民館へ到着



運営企画委員の学び

3. 取組による成果や効果

【各活動による成果・効果（バスに乗って公民館へ行こう）】

- 母親たちや中学生が主体的に事業を運営するようになった。
- 小中学生、若い親世代が気軽に来館するようになり、**中学生の参画によって大人の新しい発見を生み出している。**

【取組全体による成果・効果（公民館運営企画委員会）】

- 主体的に運営する公民館まつりを開催し、小中学生や地域の各種団体、有志など多世代のつながりが生まれ、小中学生の公民館活動への参加人数や地域の協力者が増えた。
- 回を重ねるたび委員からは、準備から後始末まで自分たちでやるべきだという発言が聴かれるようになり、**委員や子どもたちのメンバーが事業の提案をするなど次第に自治意識の形成がされてきた。**



進行をする中学生と母親たち



公民館まつり「駄菓子屋」準備

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 公民館運営企画委員会で公民館や地域の現状や課題を踏まえ、随時取組の検証や改善を実施（年間6回程度開催している）。
- 公民館の事業は、**必ず丁寧にふりかえりを行い次回に生かす**ようにしている（大人だけではなく子どもの事業でも同様）。**ふりかえりを習慣化することによって、事業の質が高まっている。**
- 地域学校協働活動に関する内容は、地域内の桜川小学校、桜川中学校学校運営協議会が行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 公民館は**地域の人のつながりを創り出すことを中心に据えて様々な事業を考える。**人のつながりがなければ、地域課題の解決など出来ない。まず公民館で一緒に汗を流して友人、知人を増やし、お互い様の人間関係をつくる。
- 公民館が地域の人とつながるため、地域の人のお話を広く丁寧に聴く（雑談は地域を教えてくれる大切な仕事）。



みんなで地域を考える講演会

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 公民館運営企画委員会は主体的に事業の展開をし始めている。また、公民館の事業を通して少しずつ人のつながりが生まれ、多様な団体が連携・協働して事業を展開しようという動きも出てきた。これらをきっかけに、**公民館が地域の人たちの活動拠点としてゆるぎないもの**にしていきたい。
- 中学生の参画が定着しつつある。この**中学生の参画を高校生の参画へつなげ、地域の担い手育成を進める。**



夜の公民館事業を話し合う運営企画委員

わがまち清原を知り、LRTとともに魅力を発信しよう！

宇都宮市清原生涯学習センター(栃木県)

公民館の沿革・年表

- ・昭和26年 清原公民館の設置
- ・平成3年 地区市民センターとの施設複合化

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

LRTの開業を見据え、市内外への観光振興を推進していくため、多様な主体や世代が連携し、地域住民が地区の歴史・伝統・民話・農業などの地域資源を幅広く学び、改めて郷土愛や豊かな心を育み、清原の魅力を発信する取組を実施した。

①「清原の伝説・民話を聞こう」（第3回目）
清原地区に伝わる全7話の民話語りを行った。また、挿絵を地区内の小学生が描き、プロジェクションマッピングで投影し、参加者は民話の世界に入り込んだ。

②「清原の魅力を発信しよう」（第4回目）
清原地区の大学生を講師として招き、参加者自身がインスタグラムのアカウント作成から投稿まで学び、講座を通して発見した清原地区の魅力を発信した。



① プロジェクションマッピングと語り部による民話の紹介



② 大学生を講師に受講者自身で清原の魅力を投稿・発信

公民館情報		1. 公民館対象人口	31110人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成3年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	不明
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 274人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 12040人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				合計 12,314人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 7人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 9人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ()				

宇都宮市清原地区市民センター・清原生涯学習センター

OPEN 8:30~17:15 H P <https://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/shogaigakushu/center/1012240.html>
 TEL 028-667-5696 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

●令和5年8月に、市民の活発な外出や交流等を目的とした公共交通ネットワークであるLRTを開業する。清原地区は、LRT沿線に位置しており、市内外からの観光誘致が図られる。西部には、飛山城城跡の歴史・文化資源を有するほか、鬼怒川が流れ、北部・南部は果樹や野菜などの農業生産地となっている。中央部は工業団地があり、企業や大学等と連携した生涯学習講座を実施している。

LRTの開業を見据え、市内外への観光振興を推進していくため、地域住民が地区の歴史・伝統・民話・農業などの地域資源を幅広く学び、地域への愛着を深めるとともに、観光振興の賑わいの創造に携わる人材の育成に向けた講座を展開する。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【清原の魅力を発信しよう！講座（地域資源を活用したまちづくり）】

清原地区の住民自身が地域の魅力を再認識し愛着を深め、清原の魅力を継続的に発信していくことができるよう、地域在住の専門家や団体と連携し、地区の歴史や伝統文化、特産物などについて学べる専門性の高い講座を展開しているとともに、地元大学と連携し、講座最終回には大学生とSNS等による発信手法を学びながら情報発信を実践するなど、地域全体の多様な主体、多様な世代が連携しながら、学習を通じた地域づくりに取り組んでいる。

●「清原の地形や鬼怒川から歴史を知ろう」講座①

火山灰が降り積もった分厚く広大な清原の大地（関東ローム層）に流れる鬼怒川に半島状に突き出した飛山（国指定史跡 飛山城跡）や古代竪穴建物などの歴史建造物の現地見学を行い、歴史や文化を学ぶ講座。

●「おいしいものいっぱい」講座②

果樹、野菜づくりが盛んな清原地区で農産品の地域ブランド確立を目指して、地区の若手農商工者によって立ち上げられた団体「Zutto きよはら」から講師を招き、清原地区の農産物を活かした「農の体験」「食べる」「学ぶ」「買う」「観る」「遊ぶ」を通じて、清原の豊かさについて学ぶ講座。

●「清原の伝説・民話を聞こう」講座③

地区内の小学生が描いた挿絵のプロジェクションマッピングを背景に、語り部による清原の地名に伝わる伝説などの民話の語りにも耳を傾け、先人から受け継がれた伝説を知ることによって郷土愛を育む講座。

●「清原の魅力を発信しよう！」講座④

地区内の大学生が講師となり、スマートフォンのアプリインストールから記事の投稿までの操作方法を学び、第1回から第4回の講座で学んだ清原の魅力を受講した参加者自身がSNS等を活用し発信する実践講座。



飛山から鬼怒川を観察する参加者の様子（講座①）



梨の花に関する講義の様子（講座②）

3. 取組による成果や効果

●清原の歴史や伝統・文化など、地域資源の魅力を幅広く学び、清原地区の豊かさを知ることによって、魅力を再認識し愛着をさらに深めることができたとの感想があったほか、アンケートでの満足度も高く、地域の魅力を発信することができた。

●地区内の小学生が描いた挿絵をプロジェクションマッピングで投影し、民話語りの模様を収めたDVDを地区内の小学校へ配布し、次代を担う子どもたちへの郷土愛の醸成を図った。参考「小学生が描いた挿絵」参照

●また、大学と連携し、地域の大学生を講師としたSNSでの情報発信方法を学ぶことで、地域住民同士が互いに学び合う機会を創出したほか、デジタル技術の積極的な活用による個人の学習能力の向上を支援することができた。



大学生によるインスタグラムの説明の様子（講座④）

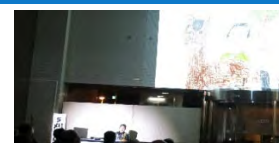
4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

●参加者が本講座で学んだ清原地区の魅力（歴史・文化・農業・民話）をSNSを通して広く発信し、今後の清原地区の観光振興に繋げていく。

●参加者にアンケートを実施し、講座自体の評価、多様な意見等を踏まえながら、検証・改善を行っていく。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

身近な生涯学習の拠点として様々な学習活動やまちづくり活動を支援するとともに、企業や大学等と連携し、より専門的で高度な学習機会を提供し、個人の成長を促す。また、社会情勢に合わせたデジタルの活用や学習環境の基盤の整備など、誰もが共に学び、成長する環境づくりに取り組んでいる。



民話の語りの様子（講座③）

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

歴史文化・自然や企業の高度技術など、多様な特性をもつ清原地区は、LRTの開業により観光振興が図られ、さらなる発展が見込まれる。こうした地域の特性を活かし、SNSでの情報発信など、企業や大学等と連携しながら、積極的に地域の魅力を再発見（周知）する取組を継続していくことで、地域のまちづくりや地域を支える人材育成に繋げていく。



大学生による講義の様子（講座④）

地域みんなで、笑顔あふれる渡瀬公民館

館林市渡瀬公民館(群馬県)



渡瀬地区自主防災訓練（消火訓練）



渡瀬地区自主防災訓練（段ボールベット組立）

公民館の沿革・年表

- ・昭和57年 渡瀬公民館開設
家庭教育学級開講
高齢者教室開講
女性セミナー開講
少年少女教室開講
- ・平成27年 渡瀬公民館増築、改築
- ・令和2年 第九小学校運営協議会に参画
- ・令和3年 地域学校協働本部設置

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

- 地域防災事業「渡瀬地区自主防災訓練」の様相
令和3年10月に地域学校協働活動として、第九小学校の学校公開に合わせて、地区の自主防災訓練を実施。第九小学校の校庭及び体育館を会場にして、消火訓練、応急救護訓練、煙道体験、地震体験、段ボールベット体験、防災倉庫確認訓練、非常食等配給訓練を実施。以前まで参加率の低かった20～40代が多く参加することで、幅広い世代に対して防災意識を高めることができた。
参加者：166人(地域)、350人(児童、保護者、教員等)

公民館情報		1. 公民館対象人口	3739人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和57年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	60台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 936人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 11068人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 538人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 2988人 (選挙投票所)				合計 15,530人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 1人) 合計 4人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (公民館活動推進委員会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (保育園が隣接し、高齢者と世代間交流事業を実施。H27増築により、160人定員の大きな講堂が整備され、ダンス等の利用団体が増加した。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (渡瀬保育園、第九小学校、渡瀬地区区長協議会、社会福祉協議会第九支部、北栄会、NPO 法人サンライズ(障がい者支援)、大手飲料メーカー)				

館林市渡瀬公民館

OPEN 9:00~22:00

H P <https://www.city.tatebayashi.gunma.jp/k009/index.html>

TEL 0276-72-4070

SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- ・少子高齢化、そして、コロナ禍になり地域の事業が中止や減少したことから、地域住民同士の関わりが希薄になり、地域活力が低下したことで地域の衰退に拍車がかかっている。
- ・地区内の小学校の育成会や地域の子どもの会の休止や解散により、子どもたちが地域で集まる場、地域住民と交流する場が失われつつあり、青少年の健全な成長を育む環境づくりが困難になっている。
- ・コロナ禍による外出機会の減少、デジタル化に適應できないなどの理由から、高齢者が社会から取り残される状況がある。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【わたらせ交流会】

（背景）

令和2～4年度は、コロナ禍により毎年開催していた公民館まつりを以前のように開催できなかったが、課題解決に向けた地域事業として、交流会を令和3年度より開催した。

（特徴）

地域住民を主体として、区長会を中心に、各種団体、小学校、保育園、学童クラブに加え、地域に工場を有する企業の参画を促し、地域全体の活性化を目的としている。

（具体的な内容）

広報活動は、地域住民へ案内の毎戸配付をはじめ、保育園から全園児へ配付、小学校から全児童へ配付及び給食時の校長先生による放送活動等を実施。

プログラムは、来場者体験型（空き缶釣り、パターゴルフ等）、九小米販売（同校の稲作事業により収穫された米）、大手飲料メーカーによる乳酸菌飲料の配付や企業案内（地域内工場をもつ企業）、NPO法人サンライズによる障がい者が栽培した野菜販売（地域内法人）、北栄会（地域団体）による大根無料配布、学童クラブの工作体験、公民館のWi-Fi設備を使用した生涯学習館林市民の会IT委員会によるスマートフォン入門講座、公民館活動推進委員のプログラミング体験などを実施。



わたらせ交流会（R3スマートフォン入門講座）



わたらせ交流会（R4プログラミング体験）

3. 取組による成果や効果

- ・世代間で交流できる場の提供により、地域住民の大きな交流の輪が生まれた。親子（家族）で来場する方が多く、普段公民館に関わりの少ない世代20歳～50歳代が公民館に関わる良い機会となった。
- ・地域住民同士が、交流することで地域のつながりが強まり、通学時の地域住民とのあいさつや会話が増えてきた。
- ・スマートフォン講座等でEメール使用可能者が増えた。その結果、公民館定期利用団体との連絡方法として、Eメールが利用できるようになり、以前のような電話連絡に比べて、利用者へ情報を円滑に提供することが可能となった。



わたらせ交流会

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・運営の役員にアンケートを実施し、運営上の問題点や来場者からの声などを収集し、わたらせ交流会実行委員会で、反省及び次回開催に向けて検討・改善を行う。
- ・来場者や小学校児童の声を取り入れて、改善を行う。
- ・区長会等地域各種団体と密接に連携することで、地域が要望する声を取り入れる。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- ・多くの地域住民が、気兼ねなく施設を利用してもらうこと。
- ・地域住民と一緒に地域課題を考え、取り組んで解決を目指すこと。
- ・デジタルリテラシーの向上やデジタル・デバイドの解消など国・県の施策や社会の変化に対応した必要課題を適切に把握し、対象者に合わせて取り入れること。



「枕草子源」と「源氏物語」（R3オンライン講座）

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- ・地域に根付いた、地域住民の憩いの場や交流の場として、地域住民から親しまれる施設を目指す。全世代の方々が、交流し、地域課題解決や活性化を、地域住民主体で、取り組んでいけるような環境づくりを進めていきたい。
- ・オンラインを活用して、地域で多くの方々が専門的な分野を学習できる場を提供する。



紙ヒコーキ講座（R4市内11館合同オンライン講座）

音楽のある街 音楽のある公民館

高崎市滝川公民館(群馬県)



初めて奏でる聖なる響き! 『トーンチャイム』



二胡とピアノの調べ〜祈りと癒し〜

公民館の沿革・年表

- ・昭和40年 設置
- ・昭和51年 旧滝川村役場跡の現在地に建設
- ・昭和52年 落成
- ・平成元年 図書室増築工事
- ・平成2年 図書室完成
- ・平成9年 事務室増設
- ・平成20年 群馬県優良公民館県教育委員会表彰受賞

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- 「初めて奏でる聖なる響き!『トーンチャイム』」
全員が息をあわせて演奏することではじめて一つの旋律となる演奏形態が、コロナ禍での交流方法の一つとなり、音楽の魅力をいろいろな形で感じてもらうことができた。
- 「二胡とピアノの調べ〜祈りと癒し〜」
本市を拠点に活躍する二胡奏者とピアニストによるコンサートを東日本大震災と同日となる3月11日に開催。音楽で鎮魂、心を癒す場にするとともに、防災に関する意識を高めるためのきっかけづくりとした。

公民館情報		1. 公民館対象人口	4759人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	昭和52年3月31日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	883人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	5459人	<input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	724人	(図書貸出し512人、検診等市事業212人) 合計 7,066人		
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	1人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人		職員のうち社会教育士の数 0人)		<input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 合計 3人
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (高崎市滝川公民館運営推進委員会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	
	<input type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
<input checked="" type="checkbox"/> その他 (滝川地区地域づくり活動協議会との共催事業)					
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設				
	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ()				
<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (関越自動車道高崎玉村スマートインターチェンジに近い文教地区に立地している。)					
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学	
	<input type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	
	<input type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他	
	(滝川保育所、滝川小学校、滝川地区区長会、滝川地区地域づくり活動協議会、滝川地区社会福祉協議会、滝川地区民生児童委員会)				

高崎市滝川公民館

OPEN 9:00~21:00

H P <https://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/2013122600438>

TEL 027-352-6075

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 非常事態宣言を受けたことによる休館をはじめ、利用人数制限や共催事業の中止、利用者による活動自粛など新型コロナウイルスの流行は公民館にも大きな影響を及ぼした。
- コロナ禍にあっても利用者の安全を確保しながら、つどう・まなぶ・むすぶという公民館本来の目的を果たすため、人種や国籍、年齢や言語、性別も一切問わない**強力なコミュニケーションツールである「音楽」**に着目し、事業を展開することとした。
- 高崎市は、「音楽のある街 高崎」をキャッチコピーに掲げ音楽活動を推進しており、公民館において鑑賞型、体験型の音楽事業を展開することで、住民が**地域で豊かな文化を享受し、交流できる環境づくり**に取り組んでいる。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【コロナ禍に即した音楽事業】

令和2年度から鑑賞型、体験型の音楽事業に重点的に取り組んでいる。令和4年度は「音楽で『群馬』をめぐる～バリトンと箏とピアノとともに～」 「戦争と音楽」 「滝川巡回いきいきサロン（三線、津軽三味線）」をはじめ、様々なジャンル、楽器の音楽鑑賞事業を9事業、トーンチャイムや二胡の演奏を学ぶ音楽体験事業を2事業実施した。

● コロナ禍において新しい生活様式が模索される中、密集・密接を回避でき、**合奏を通して参加者同士の交流が図れる**ことから各種楽器（津軽三味線、小鼓、二胡、ギター等）の体験講座に取り組んできた。また、歌唱も様々な工夫が求められていたことから、歌唱トレーニングの一つで口を閉じて歌う「ハミング」で歌唱技術の向上と健康維持を図る講座も実施してきた。

● 特に、津軽三味線や小鼓、箏、能楽などの体験あるいは鑑賞を通して**日本の音楽・伝統芸能の魅力に触れる**ことができる講座や、地域ならではの作品や講師を取り入れた講座の企画に力を入れている。

● 令和3年度からピアニストと公民館でテーマを相談して「音楽史における女性たちの足跡」などオリジナルプログラムの人権教育に関する音楽講座を開催している。

【地域の伝統文化の継承支援】

滝川地区で継承されている2つの伝統芸能（下滝町獅子舞、八幡原町太々神楽）の保存会と連携し、後継者育成のための講座を開催し、継承を支援している。



小鼓演奏〈基本と実践〉



今こそ学ぼう！「閉口ハミング」♪

3. 取組による成果や効果

- 音楽事業の展開が、コロナ禍でも地域住民が公民館に集うきっかけとなり、**地域の交流や活動の維持**につながっている。また、**新たな公民館利用者も創出**している。
- 伝統芸能に関する講座や地域に根差した内容の演奏会等により、**日本文化や郷土について理解と関心を深める**ことができ、郷土愛を育むことにつながっている。
- ライブやコンサートが盛んにおこなわれている都市部ではなく、郊外の滝川地区において、地域の方々が一番身近な公民館で新鮮な音楽体験を提供し続けていることで、音楽への関心や教養を高め、**「音楽のある街 高崎」を具現化**したものとなっている。



舞の美・音の美～白拍子舞と小鼓～

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 参加者にアンケートを実施、また、直接ヒアリングも行い、改善点や要望の把握に努めている。
- 区長や地域団体、小中学校長らで構成される公民館運営推進委員会を年2回開催し、地域の意見を聞いている。
- 講師や他公民館との情報交換を行うことで運営や改善に役立てている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

鑑賞型、体験型講座のどちらも多くはプロの音楽家に講師を依頼し、なるべく**質の高い演奏や指導を受講者に提供**できるように努めている。さらに演奏会のテーマや演奏曲から、作品と作曲家を知ることに加え、背景の歴史文化などを学べる内容とすることや、体験講座を身体機能の向上などに関連づけることで、音楽を楽しむだけでなく、**文化や地域への理解を深める**ことや健康づくりに資する意義ある講座を展開するようにしている。



スピネットとリコーダーによる『古楽の響き』

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

子どもたちの音楽学習の支援につながる各種講座を展開させ、幼児期から**生の音色、音楽に触れて感性を育める環境づくり**に取り組む。また、今日学ぶ機会も場所も方法も数多存在する中、地域にある**公民館を最初に思い浮かべる学びの場として選択**してもらえるように、参加への心理的ハードルが低いと思われる鑑賞型の講座を足掛かりに、集い、学びが継続しやすく、**人と人、人と地域が接点を持ち続けられる場づくり**を行っていきたい。



心に響く音楽会（アンサンブルコンサート）

あなたと共に地域の未来をつくる公民館

さいたま市立大久保東公民館(埼玉県)



日本語ボランティア 活動の様子



防災サークル 活動の様子

公民館の沿革・年表

平成16年5月1日
 さいたま市立大久保東公民館開館
 大久保東児童センター同日開館
 公民館報「大久保ひがし」第1号刊行
 平成19年4月1日
 大久保東公民館 1階に図書館（さいたま市立桜図書館大久保東分館）開館

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

大久保東公民館は、大久保東児童センター及びさいたま市立桜図書館大久保東分館の3機能が複合化した施設で、高齢者から子どもまで多くの世代が訪れている。**多文化・多様性をテーマ**に、誰もが利用できる場、地域の人々が共に支え響き合う居場所作りを目標としている。日本語ボランティア教室は現在も意欲的に活動を続けており、**防災・減災の啓発活動**を行っている防災サークルの活動とともに、**地域課題解消の一助**となっている。今後も関係機関と共に取り組んでいく。

公民館情報		1. 公民館対象人口	21045人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	平成16年3月10日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2535人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 50276人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 52,811人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 4人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (大久保東公民館運営協議会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (児童センター) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (大久保東小学校・神田小学校・大久保小学校・上大久保中学校・大久保地区社会福祉協議会・いきいき長寿推進課・さいたま市立桜図書館・子ども食堂・青少年育成大久保地区会・地域包括支援センター・埼玉大学)				

さいたま市立大久保東公民館

OPEN 8:30~21:30 H P <https://www.city.saitama.jp/sakura/001/001/005/005/index.html>
 TEL 048-851-6586 SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 大久保東公民館は、さいたま市の西部に位置し、都市化の進んだ住宅地と荒川流域の自然環境が混在しており、歴史的資産も豊富である。また、埼玉大学や看護師養成専門学校に通う学生や生徒が多く、若い世代も目立つ。特に埼玉大学へ通う留学生をはじめ、就労や技能実習生等、**地域の在住外国人は800人を超え、年々増加傾向**にある。
- 昔から水害リスクが高く、地域の防災意識も高い。**災害時に誰一人取り残さないつながりづくりが喫緊の課題**である。地震への対策を含め、命を守るための行動や日常の備え等について、具体的な学びを通して地域や家庭の防災力をUPさせることが求められている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

- 多文化共生の取組
外国人市民が「日本語教室はありますか？」と度々訪れるため、外国人市民に寄り添う日本語ボランティア養成講座を行った。
 - ①入門講座（3回）は、日本語ボランティアに興味のある方を対象に行った。その後サークルが発足し、現在は登録者30名中20名のボランティアが日本語支援に携わっている。
 - ②中級講座（3回）は、日本語ボランティアのブラッシュアップ講座として行った。3回目は、外国人市民との藍染め体験も行った。「こんにちは。私たちはともだちです！元気でしたか。」で毎回つながる日本語教室は、**様々な人が相互に学び合う場**となった。
 - ③地域にはムスリムの方も多く、近隣に埼玉モスクがあることから「イスラム文化～地域から共生を考える～」異文化理解講座（3回）を行った。イスラムの歴史と文化や世界情勢を正しく知ったり、近隣の埼玉モスクとハラールフード店を見学したりした。
 - 高齢者の居場所づくりや、公民館利用団体の支援
 - ①地域包括支援センターと連携し、相談の場（大久保東サロン）を提供している。
 - ②災害への備えとして「防災サークル」を発足し、啓発活動を実施した。
- いずれも、**活動の主役は地域住民や団体であり、公民館はサポートとしてコミュニケーションと情報交換を大事にし、団体との信頼関係を築くなど裏方に徹している。**



日本語ボランティアサークルの看板 多国籍に対応している



桜区親子防災講座において防災サークルがボランティア参加

3. 取組による成果や効果

- 「日本語ボランティア」のサークル活動は、**地域に住む外国人市民にとって日本語を学び、支えとなる場所**となった。ボランティアからも「人のために何かすることかと思ったが、逆に学ぶことが多く楽しみにもなっている。」等の声が聞かれた。ボランティアも増員し、より多くの外国人市民への支援を行えるようになった。
- 「防災サークル」は、桜区防災講座の支援や、啓発のため写真パネルを製作し、桜区役所及び桜区内公民館で巡回展示を行った。
- 「日本語ボランティア」と「防災サークル」が、公民館作品展示会「ブラボー！マイライフ♪」を通じて、**外国人市民の防災意識の向上と災害時対応・避難等**について意見交換ができ、サークル同士がつながるきっかけとなった。



「ブラボー！マイライフ♪」防災サークルによる展示

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 事業のねらいや目標を数値等で明確にし、振り返りからも学ぶための共有時間を確保している。
- 講座アンケートや講師・事業関係者との打合せ、区や市との連携の中で意見や感想を伺い、次に活かしている。
- 公民館運営協議会で、自治会長・学校長・地域有識者・利用団体等から意見を伺い、課題解決を図っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 一人ひとりの学びに寄り添いながら、人と人、人と地域とのつながりを築くこと。
- 学び支え合うコミュニティは地域課題解決と幸せな地域の未来をつくる鍵であり、その原動力は人と場であること。
- 生涯の学びを通し、**地域の若い力や多様性を生かした人のつながり**を大切にしていくこと。
- 職員一丸となって、「日々笑顔あふれる公民館」を目指していくこと。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- 外国人市民と共に**共生社会を築く学びの場**を提供し、継続していく。
- 地域住民が主体となった「公民館避難所運営委員会」の開催や、中学校と連携した「防災講座」の実施などにより、災害に強いまちづくりを一層推進する。
- 高齢者や若者世代を重点に、幅広い年代に向けた事業を実施することで、地域のあらゆる方々が主役となるような公民館を目指していく。

ニーズを探求する公民館



地区バレーボール大会



やってみようキャッシュレス！

川口市立新郷南公民館(埼玉県)

公民館の沿革・年表

昭和46年 新郷スポーツセンターとの併設館としてオープン
 令和元年 耐震補強工事により、建物が一新
 令和3年 オンライン講座(動画配信)スタート

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

当公民館は新規利用者層の開拓(広報と人集め)・現代的課題解決を軸とし、地域の活性化を目指している。当館の大きな特徴として、スポーツセンターと併設し、1つの建物となっていることが挙げられる。これにより、**若年層の来館者も多いことから、この特徴を生かした来館者の獲得**を図っている。地区のレクリエーション関係の大会会場を積極的に引き受け、大会開催時に集まった方や、子どものスポーツ団体が利用した際に、若年層の興味をひく講座や、子ども対象の講座のPRをすることで、新規の来館者を獲得している。また**オンライン講座により、市民全体への公民館活動のPR**を行い、公民館等に来館されたことのない方への利用促進を行っている。また地域の課題としてはやはり**住民の高齢化によるデジタルデバイドの解消**がメインとなってくるため、解決策につながるような講座を行っている。前述の施策により公民館利用者層の開拓及び高齢化への対応をし、地域住民の課題解決につなげたいと考えている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	14000人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	昭和45年10月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 450人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 15000人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 0人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 150人 (運営審議会、地区体育レクリエーション協会、青少年育成協議会、献血会等) 合計 15,600人				
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 5人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 5人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (スポーツセンター(プール、体育館等)と併設施設) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (子ども及び若年層の保護者の来館があるため、PR対象に広がりがある。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 公民館定期利用団体、川口市役所子育て支援課、地区体育レクリエーション協会、地区青少年育成協議会、地区献血会				

川口市立新郷南公民館

OPEN 9:00~21:00(祝・日17:00)

H P

<https://www.city.kawaguchi.lg.jp/soshiki/04010/020/8/35/index.html>

TEL 048-283-5600

SNS

YouTube 川口市生涯学習課





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

課題① 利用者の高齢化及び来館者の減少

解消策→「広報」「人集め」により、新規来館者の獲得

e x) 公民館を利用したことのない、あるいは利用する機会のない方、若年層の方へのPR

課題② 地域の高齢化に伴うデジタルデバイド

解消策→「課題解消の事業」により、高齢者のデジタルに対する苦手意識の解消

e x) 理論もちろんであるが、実際に使用するときまでのケアのある実践的な講座

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【オンライン講座】（広報）

川口市の産業や特色として根付いている地域資源を取り上げ、再生回数は1.1万回に達した。その他のオンライン講座も、生涯学習課YouTubeチャンネルや、新郷南公民館のホームページに掲載している。オンライン講座は、視聴される方の生活スタイルにあわせ時間を選ばず受講できるメリットがあるので、働き世代や子育て世代等の普段公民館に来館することが難しい方にも学びを提供することができ、広く公民館事業の周知をすることができた。

【パン作り教室】（人集め）

地域人材活用という観点から、市を代表する有名企業である(株)デイジィに依頼。地元有名企業のシェフから講義いただけることとあって、大人気の教室である。また地元企業の活用により、地域活性化や地元への愛着にもつながる。

【子ども工作教室・料理教室】（人集め）

夏休みの工作教室とクリスマスのケーキ作り教室を小学生対象に開講。学習体験はもちろん、同世代の子どもや、保護者同士の交流にも繋がっている。子どもの利用が多い時間帯に保護者にPRし、どの教室も満員である。

【キャッシュレス講座】（課題解消事業）

昨今加速するキャッシュレス化に対し、不安感や嫌悪感を抱かれる方の救済策として考案した。総務省と提携し日本のキャッシュレス推進策を進める機関であるキャッシュレス推進協議会に協力をお願いし、参加者個々の生活スタイルを事前に聴取り、希望に沿った電子マネーアプリを選び、実際に買い物をするところまで行った。参加者からは、「この講座で助かった。内容が分かり抵抗が少なくなった。やってみたら意外と簡単だった」等、ご好評いただいた。初の試みではあったが、講師と担当職員で協力し、個別対応を充実させることで、成功した。

【スマホ入門講座】（課題解消事業）

高齢者対象に基本操作等の講座を開講した。最近では新型コロナワクチンやマイナンバー等行政への電子申請システムが増加してきている。HPから行政の情報を得たり、電子申請ができたりと、デジタルデバイド解消に繋がった。



オンライン講座



パン作り教室

3. 取組による成果や効果

課題を解決するのはもちろんではあるが、その課題解決の事業の存在を多くの人に届けるため、広報、人集めが重要であると認識している。広報の大きな柱として、オンライン講座を開始したが、特に令和4年度に実施した市の資産を題材とした講座は1万人以上の方に視聴いただき、多世代の多くの方に公民館の存在や生涯学習事業を周知することができた。また、集客率の見込める有名企業を使った講座や、若年層の保護者、子ども対象の講座を開講し、スポーツイベント運営時に講座の広報を行う等して、全講座満員になり、人集めができ、利用者の減少の解消に寄与できた。その中で、地域課題解決として、キャッシュレス講座やスマホ講座を開催したが、講座終了時には受講者が確実にスキルを獲得していることが見てとれた。特にキャッシュレス講座に関しては、参加者全員がキャッシュレスで買い物ができるようになっていた。



宝石石けん作り

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 参加者にアンケートを実施し、講座自体の評価、多様な意見を踏まえながら、検証・改善を行っている。
- オンライン講座についても、オンラインにてアンケートを実施し、検証・改善を行っている。
- 公民館運営審議会にて、事業の効果や成果の検証や、地域課題、住民のニーズを踏まえながら事業計画をしている。
- ブロック会議や主事会等を通じて他の公民館と情報交換などを実施し、事業計画や運営に役立てている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

初の試みであっても、積極的にチャレンジし、人集めや課題解決を担うことをモットーとしている。キャッシュレス講座は、実践的な部分までのケアとなると、講師の使う一部の電子マネーアプリに偏ることから、公民館での実施が断念されてきたが、キャッシュレス推進協議会にアプローチし、公共的立場の講師の発掘により実現した。また、有名企業を招いた講座ではスケジュールがとれなかったが、アプローチを続け、実現に至った。



スマホ講座

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

公民館関係地域にとどまらず、時代のニーズ、課題を捉え、住民の日々の生活に根差した学習の場の提供を心掛けていきたい。また情報発信のツールとして「オンライン講座」を引き続き行い、多世代の方に興味をもってもらえる題材を模索しながら、公民館の活動を広く周知し、生涯学習について関心をもっていただく機会を増やしていきたい。



電子マネーチャージ方法解説

世代間・地域内の交流を深める

深谷市大寄公民館(埼玉県)



ドッジビー



輪投げ

公民館の沿革・年表

- ・昭和26年10月 開設
- ・平成11年8月 現在の位置に移転・建物新設
- ・平成11年8月 大寄公民館の新設に併せて敷地内に誠之堂(国の重要文化財)と清風亭(埼玉県指定有形文化財)を世田谷区から移設
- ・平成26年6月 第1回目の「あそびの日」開催

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

子どもや大人、高齢者など幅広い世代が楽しめる「あそびの日」を平成26年度から開催。あそびの種目は少しずつ変えているが、令和4年度は輪投げやシャボン玉など昔からのあそび、グラウンドゴルフやドッジボールをフリスビーで行う「ドッジビー」など新しいあそびを体験した。道具の用意や指導はレクリエーション指導者協議会の方に、あそびの種目の運営や進行は地域住民や小学校の子ども会などの協力を得ている。色々なあそびを通して地域住民の世代間交流が図られ、郷土愛の醸成に一役買っている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	3051人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成11年8月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	200台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 109人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 20569人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 266人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 555人 (図書室、児童室)				合計 21,499人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 4人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> 自由記述 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (桃園保育園、大寄小学校、深谷中学校、大寄小学校子ども会、自治会連合会大寄支会、大寄地区社会福祉協議会、大寄地区青少年健全育成会、深谷市レクリエーション指導者協議会、)				

深谷市大寄公民館

OPEN 8:30~22:00 H P
 TEL 048-571-0341 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

・全国的に少子高齢化、人口減少化、核家族化が進む中で、農村地域である大寄地区も同様の傾向が進んでいる。そうした状況で世代間の交流や地域内の交流が減少している。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【あそびの日（世代間交流・地域内交流）】

「あそびの日」事業の運営主体となるレクリエーション指導者協議会や大寄小学校子ども会と打合せを密に行い、誰もが参加できる昔ながらのあそびや、新しいあそびを取り入れ、世代間の交流が図れるようにした。また、大寄地域全体を巻き込むため、地域内の自治会長会議でも周知し、運営にも協力してもらった。子どもの親や祖父母にも来てもらえるよう、参加賞を配り、子どもたちの参加を促した。ドッジビーでは、公民館で子どもたちのチーム分けを行い、トーナメント形式で実施した。最初はお互いが知らない者同士だったが、その種目に真剣に取り組み仲間と協力することで、子ども同士の交流が深いものとなる。大人にとっても知らない親同士が一緒になりチームを応援することで新たな交流が図れる。昔からのあそびでは、年配者が子どもに遊び方を教えたり、アドバイスを送るなどして世代間の交流が図られる。なお、あそびの種目がマンネリ化しないよう、毎年少しずつ変えている。

【地区体育祭（世代間交流・地域内交流）】

他の事業としてこれまで単独で実施していた地区の体育祭を小学校の運動会と合同で実施する。このことにより小学生から高齢者までが一緒に地元の伝統芸能を踊ったり、それぞれの競技で声援を送り合うことで世代間の交流や地域内全体の交流が図れる。



受付をする自治会役員



種目の担当をする子ども会役員

3. 取組による成果や効果

- ・あそびの日を開催することにより、参加する子どもや大人、高齢者は様々なあそびを通して世代間を超えた交流を持つことができる。
- ・公民館職員だけでは事業の実施は難しいが、子ども会や自治会、レクリエーション指導者協議会などと一緒にやる事で様々なあそびを体験させることができる。
- ・子ども会役員、PTA役員と地域住民との交流も図れる。



世代を超えた交流

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・公民館運営審議会を開催し、実施した内容や効果について検証を行う。
- ・レクリエーション指導者協議会や子ども会との打合せを早めに行い、余裕をもったスケジュールで計画を立てる。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- ・公民館は単なる貸館施設ではなく、地域住民の憩いの場、地域住民と行政を取り持つ場所となっていることから、いかに地域住民に気軽に来館してもらえるかを常日頃から考えながら取り組んでいる。



お月見コンサート

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

人口減少が続く中、また新型コロナウイルスの影響で3年間事業ができなかったことで、これまで実施してきた事業の実施が難しく、地域のコミュニティ作りにも影響が出ている。アフターコロナにおける新たなニーズを探り、地元自治会や関係団体と情報共有を図りながら、事業の展開を考えていきたい。



趣味の作品展

いつでも・どこでも！ 地域とつながる @美笹公民館

戸田市立美笹公民館(埼玉県)



埼玉県立南稜高等学校連携講座 夏休み子どもチアダンス



オンライン(オンデマンド)戸田の歴史講座

公民館の沿革・年表

昭和51年 戸田市立西部福祉センター(昭和47年開設・図書室併設)内に複合施設として戸田市立美笹公民館設置

平成20年 施設内に親子ふれあい広場設置

平成26年 2階ロビーに多世代交流ひろば設置

平成31年 ITパソコン相談開始

令和元年 いいとだスポット(フリーWi-Fi)設置

令和4年 オンデマンド併用のハイブリッド講座開始

令和5年 一部貸室のWi-Fi利用整備

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

●県立南稜高等学校連携講座「夏休み子どもチアダンス」全国大会で活躍する南稜高校のバトントワリング部の生徒からチアダンスの技を教わり、最終日には参加者の小学生が音楽に合わせて踊ることができ、異世代交流に寄与した。

●オンライン(オンデマンド)戸田の歴史講座「戸田市域に残る史料等から歴史を学ぶ」

会場での受講とYouTube動画で学ぶオンデマンド配信を併用したハイブリッド講座を、市内公民館で初めて実施した。江戸時代の戸田ヶ原の原風景を講座会場の他、いつでもどこでも学べる機会を提供した。

公民館情報		1. 公民館対象人口	33724人	3. 来館者のインターネット接続環境	有線・無線の両方
		2. 建物設置年月日	昭和51年11月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	80台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 658人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 12901人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 234人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()			合計	13,793人
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 3人 <input type="checkbox"/> 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人)			合計	4人
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (西部福祉センター、市民課美笹支所、親子ふれあい広場) <input type="checkbox"/> 自由記述 (災害時には避難所として利用されている。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (戸田市立美笹中学校、埼玉県立南稜高等学校、青山学院大学、NPO法人戸田市ITボランティアの会、戸田歴史ガイドの会、戸田市立図書館、戸田市立郷土博物館、彩湖自然学習センター、(公財)水と緑の公社、市内事業所、戸田市商工会、戸田市役所)				

戸田市立美笹公民館

OPEN 8:30~21:30

TEL 048-421-3024

H P <https://www.city.toda.saitama.jp/>

SNS <https://www.facebook.com/todacity/?local>



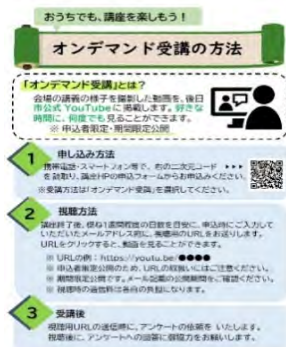


1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 戸田市は東京に隣接し、人口の平均年齢が42.0歳と埼玉県内で最も「若いまち」である。美笹地域は、市の都市化した中央部から離れた西部にあり、荒川河川敷に広がる彩湖や道満の豊かな自然と歴史の面影が残る地域である。
- 美笹公民館は福祉センター内にあり、地域住民の活動や学びの場になっている。しかしながら、老化が進み、また、美笹公民館の認知度が低く、利用者が高齢者や特定の団体に固定化している。特に若年層の利用が少ない状況である。さらに、地域の学校や町会などとの連携や地域人材の活用場面が少ない点が課題である。
- 人生100年時代を迎え、自分らしく豊かに生きるための生涯学習の需要が高まるとともに、いつでもどこでもだれでも学べるオンライン学習や高齢者のデジタルリテラシーの向上、学びから活動へとつながるきっかけが求められている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

- オンライン（オンデマンド）講座の開設
市内の公民館で初めて、「戸田の歴史講座」及び「断捨離講座」を会場受講と共に当日の講義動画を市公式YouTubeで配信した（ハイブリッド型講座）。オンデマンド受講は、会場受講者の約2倍の人数の申込みがあった。受講者は自分のスマホやパソコン、タブレット等でいつでも、どこでも、何度でも動画で繰り返し学習することができ、公民館への来館が難しい方でも、それぞれのライフスタイルに合わせて学ぶことができる機会を提供した。
- デジタルデバイドの解消
市民のICT活用を支援するため、NPO法人ITボランティアの会に委託し、毎月第一土曜日にスマホやパソコン質問コーナーを開催している。また、講座案内のチラシ裏面を活用し、オンライン講座の受講方法を見える化して周知した。
- 学校・地域のつながりづくり
講座の企画にあたり、「戸田市生涯学習人材バンク」に登録している講師や高等学校の部活動に講師を依頼し、市民や生徒が学んだ成果を地域に還元する機会を提供した。
- 情報発信の拡充（公民館だより・ホームページ・SNS）
公民館だよりをリニューアルして職員が取材した地域情報（美笹地域の学校や町会活動、地域行事等）を掲載するとともにホームページやSNSの情報発信を充実させ、地域への理解を深める機会を提供した。



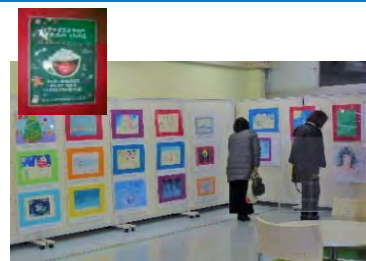
講座チラシ裏面を活用したオンライン講座の見える化



ITパソコン相談

3. 取組による成果や効果

- ハイブリッド型講座の実施により、これまでなじみがなかった若い世代をはじめ幅広い世代や、近隣だけではなく市域全体の市民の利用があり、広く学びを提供した。
- スマホ・パソコン相談のチラシやポスターにより広報を強化したことにより、毎月の利用者の相談が増加し、高齢者のIT関係の困りごとに対応できた。
- 公民館だよりの取材により学校や町会活動、地域行事等を訪問取材する中で地域とのつながりを育み、学校との信頼関係を構築し、学校連携講座や学校から美術部作品展の企画を提案いただいた。学校連携講座や展示については、生徒の地域での発表の機会になるとともに、生徒へ多くのメッセージが寄せられ、学校・地域の相互交流の成果があった。



美笹中学校美術部第1回展示会

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 学校関係者や社会教育・家庭教育関係者、サークル団体代表者で構成する戸田市公民館運営審議会（年2回、12名）において、公民館の実施計画や実績報告、「公民館の今後のあり方」に基づいた具体的取組の検証をしている。
- 市民が講師となり活躍する場を提供することにより、生涯学習の担い手づくりをしている。
- 各講座終了時に参加者のアンケート実施や意見交換を行い、今後の講座や事業企画を検討している。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 美笹地域での学びあいを育み、地域でのつながりをつくるため、普段からの窓口や電話対応、公民館だよりの取材等での地域の方とのコミュニケーションを大事にして、利用者のニーズや地域の状況を把握するなど、地域との顔が見える関係づくりを大切にしている。
- 「地域の人が主役になれる公民館」を目指し、地域人材の講師への起用や、来館者のニーズに沿った学習情報の提供を意識している。



地域の高校と連携した「夏休み子どもチアダンス講座」

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

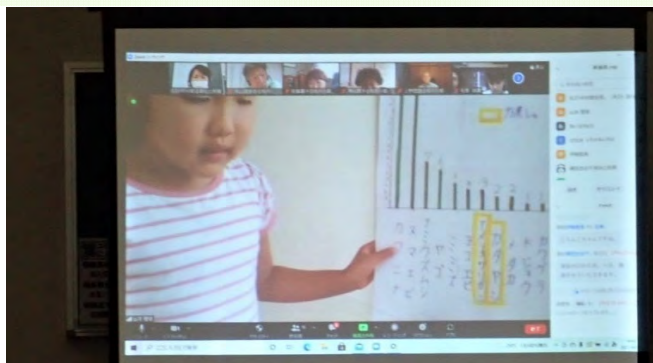
地域の人々や企業、学校等が講師となり、地域の中で学びあいができるように学びをつないでいくとともに、ICTの積極的な活用により、いつでも、どこでも、どなたでも学べる拠点となるよう、市民と学びや活動をコーディネートしてつなげていく公民館運営に取り組んでいきたい。



地域の人材を講師に起用した「天然酵母のパン作り講座」

学習を生かした活力あるコミュニティ作り

千葉市若松公民館(千葉県)



坂月川親子生き物教室 (オンライン発表会)



子どもお菓子作りリーダー養成講座(若松カフェ)

公民館の沿革・年表

- 1983年(昭和58) 6月1日 開設
- 2018年(平成30) 4月1日 指定管理者制度導入
(指定管理者 公益財団法人 千葉市教育振興財団)
- 2020年(令和2) さわやかちば県民プラザ主催「第1回ちば講座アワード」千葉県公民館連絡協議会長賞受賞
- 2022年(令和4) 「第3回ちば講座アワード」優良賞/公衆無線「CHIBA CITY Wi-Fi」全室利用可/千葉県社会教育功労者賞
- 2023年(令和5) 「第4回ちば講座アワード」入選

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

【上段】坂月川愛好会(市民団体)との連携事業【年4回】(2019~2023実施)夏休みの後半に行った研究発表の様子。コロナ禍においては、公民館と参加者の自宅をつなぎ、zoomを使用したオンライン発表会を開催した。【下段】子どもお菓子作りリーダー養成講座【全6回】(2019年4月~9月実施) 2020年(令和2)「ちば講座アワード」千葉県公民館連絡協議会長賞受賞。学習の成果を「カフェ」という形で披露した。講師を囲む子どもたちの生き生きとした表情から、館との関係性が読み取れる。

公民館情報		1. 公民館対象人口	26824人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和58年(1983)6月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	15人は実績有
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (公益財団法人千葉市教育振興財団) <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 700人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 7948人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 8,648人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 5人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 1人) 合計 8人				
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (指定管理料)				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (図書室) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ちば産学官連携プラットフォーム、市環境保全課、市スマートシティ推進課、地域包括支援センター、市科学館、市郷土博物館、市男女共同参画センター、東京ガス、コープみらい、ソフトバンク、坂月川愛好会(市民団体))				

千葉市若松公民館

OPEN 9:00~21:00 H P <https://chiba-kominkan.jp/wakaba/wakamatsu>
 TEL 043-231-7991 SNS -





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

昭和58年（1983）の開館直後に発足し、活発に活動していた女性会員を中心とするサークルが、高齢化を理由に解散しており、地域における学びの場の減少、地域のつながりの希薄化が危惧される。市内には、設備の整った複合施設等も新設され、生産年齢層は老朽化した公民館に価値を見出すこともなく、利用者も少ない。市民にとって一番身近な公共施設である公民館が、魅力ある街づくりのために、異世代交流や次世代への継承に関わる事業に取り組む必要があると考えた。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【上段】坂月川の美化活動や保全活動を行う坂月川愛好会を講師に迎えて開催している「坂月川親子生き物教室」は例年、定員を上回る応募がある。新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛期間中にビオトープを散歩コースとして訪れる市民が多く、環境教育に関心が高まっていたのであろう。公民館で坂月川やビオトープの生き物について学んだあと、テーマを設定し実施した現地観察会に参加し、調査結果や感想の発表会を行った。館は「生きがい作り」の視点で坂月川愛好会の活動を支援するとともに、講座に参加した親子が将来的に館や坂月川愛好会の運営に関わるような人材に成長することを目指し、毎回プログラムの見直しを行っている。【下段】子どもお菓子作りリーダー養成講座は、子どもの笑顔が地域の力になることを証明してくれた。一方、サークルの解散が続き、地域の学びの場の減少・つながりの希薄化を危惧し、近年は「サークルの創設を目指した連続講座」を開催している。2022年は「ハーブ教室」（2022年4月～9月、全6回）を企画した。園芸サークルの解散により、花壇の維持に悩んでいたところ、趣味でハーブを育てている住民と利用者を介して知り合う機会があった。館が目指す地域の人材の発掘にあたることを考え、すぐに連絡先をうかがい、協力を求めた。手入れの行き届いた花壇は、人々の目にとまりやすく、公民館や地域のさらなる活性化にもつながる。ハーブの活用は若い世代も関心があり、多くの人の興味をひくテーマであると考えた。



館と自宅をつないだオンライン発表会



サークルの創設を目指したハーブ教室

3. 取組による成果や効果

講座の実施報告や、サークル活動の様子などを掲載した館報『若松公民館だより』を近隣4校の小中学校の全児童生徒（約2,200人）に配布したり、自治会の協力を得て各戸に回覧したりして、広報活動を活性化した。また、ホームページでは、バグナンバーも閲覧できるようにした。→【成果】公民館の認知度が上がった。公民館を利用したことのない住民から、講座の企画が持ち込まれるようになった。（「日本アームレスリング連盟会長が教えるパワートレーニング」2021年3月12・19日、「サイクリング入門」2022年4月16日）また、解散したサークルの会員から、新たな活動の場を求める声が館職員に寄せられた。館職員が講師を探し、新しく「パッチワークキルトサークル」や「合唱サークル」（予定）が誕生した。



合唱サークル発起人による打ち合わせ

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

運営懇談会を年2回実施し、委員9人（地域団体代表、学校関係者、館利用者）から助言を受けている。講座については2回（2か年）開催することを基本とし、参加者アンケート等を参考に講師と一緒に内容の改善を図っている。また、市の公民館では、集中的に利用者アンケートを取る期間を設け、結果を運営の改善に生かしている。当館においては評価の高かった館内の美化活動を利用者と一緒に継続するとともに、中高生対象の講座の開発、人気講座の募集方法の見直し等に取り組んだ。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

「一番身近な公共施設」として、親しみやすい雰囲気作りと、丁寧な対応を心がけている。一方、これまで公民館を利用してこなかった層に対しては、オンライン講座を導入することで、外出しづらい市民とつながる可能性を広げ、講座の申込みをホームページから24時間対応可能にすることで参加しやすい環境作りに努めたい。



館に完成したハーブ畑

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

高齢者にとっては「生きがい作り」になる講座を企画し、主体的な学びにつなげる支援を行うと同時に、子どもを介した若い世代の取り込みを強化する。住民が公民館に関わることにより、地域のリーダーとなるような働きかけ、仕掛けを継続して行っていきたい。



子どもが主宰したカフェ

学びと笑顔が集まる公民館

綾瀬市立中央公民館(神奈川県)



公民館の沿革・年表

- ・昭和54年度 綾瀬市立中央公民館開設
 - ・平成27年度 中央公民館、地区センター（5館）、コミュニティセンター（2館）が指定管理になる
 - ・令和3年度 聴覚障がい者対応の講座の実施(1講座)
 - ・令和4年度 障がい者に配慮した講座・障がい者の家族を対象とした講座の実施(5講座)
- 神奈川県公民館連絡協議会優良公民館表彰受賞

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

神奈川県綾瀬市には中央公民館と5つの分館（地区センター）、2つのコミュニティセンターがあります。令和4年度の公民館事業は、障がい者も参加しやすい講座や、学校連携事業などの46講座を精力的に実施しました。

左図は綾瀬市の地図と8館の場所です。令和4年度は全8館(合同開催含む)で公民館まつりを開催しました。各館の利用者が中心となって実行委員会を作り、何回も集まって計画を練り、準備を重ねて実施しました。写真は各館の発表や展示の一コマです。どこのまつりも多くの来場者でにぎわいました。

公民館情報	1. 公民館対象人口	84241人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
	2. 建物設置年月日	昭和54年11月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	60台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (株式会社オーエンス) <input type="checkbox"/> その他 ()			
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	1705人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	99490人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	2287人 (全館で実施した公民館まつりの来客者数)	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	2,488人
		合計 105,970人		
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	4人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人)		<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	62人
		(職員のうち社会教育士の数 1人) 合計 66人		
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()			
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (生涯学習推進審議会)			
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール
	<input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input checked="" type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学
		<input checked="" type="checkbox"/> その他 (生活保護受給者・就労継続支援B型事業所利用者の就労準備支援)		
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設			
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (綾瀬市オーエンス文化会館・綾瀬市高齢者福祉会館)			
		<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (公民館の花壇の整備に就労継続支援事業利用者のみなさんの協力をいただいている。)		
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学
	<input checked="" type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他
	<input type="checkbox"/> こぼと幼稚園・もみの木園・全小中学校・尚綱学院大学・エムケーチーズ株式会社・栄和産業株式会社・あやせ国際友好協会・県聴覚障害者福祉センター・市神崎遺跡資料館・福祉総務課等多数			

綾瀬市立中央公民館

OPEN 9:00~22:00

TEL 0467-77-8181

HP <https://avase-manavi.net/>

SNS <https://www.facebook.com/ayasemanavinet/>





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

本市の公民館は従来、幅広いライフステージに応じた事業を開催してきたが障がい者の生涯学習に対する取組みは遅れていた。一方、綾瀬市障がい者福祉計画によると、市内の障害者手帳所持者は増加傾向にあり、障がい者が自ら生涯学習などの社会活動に参加できる地域づくりが求められていた。また、第10期及び第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理にて社会で孤立しがちな人の学びへの参画のきっかけづくりの推進や、多様な障がいに対応した生涯学習の推進が打ち出されている中で、公民館として障がいがある方も気軽に参加できる包摂的な事業の実施が強く求められていた。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【聴覚障がい者向け講座から始まった障がい者の学び支援への取組（障害者の学び支援）】

令和3年度から聴覚障がい者が参加しやすい事業を実施しており、その後も他の障がいがある方も気軽に参加できる包摂的な事業を継続的に実施している。

《聴覚障がい者向け事業 “那須英彰のハブニング集”の開催（令和4年2月6日）》

初めての障がい者対象の事業として、聴覚障がい者も参加しやすい事業を企画するにあたり、全くノウハウが無かったため神奈川県聴覚障害者福祉センターと連携し全面的に協力いただいた。受講者の募集には県や市の聴覚障害者協会とも連携した。講師は聴覚障がい者に人気的那須英彰氏（聴覚障がい者）にお願いした。会場には手話通訳者2名、要約筆記者4名を配置し、難聴者向けにヒアリンググループを用意し万全の情報保障体制とした。障がい者のデジタルリテラシー向上のために、聴覚障がい者の社会参加を支援する最新のIT機器（遠隔手話通訳システムなど）の展示や実演も実施した。参加者は聴覚障がい者が24名、市内の手話通訳サークルや要約筆記サークルの方など聴者が17名となり、障がい者と聴者（支援者）の相互理解が促進する包摂的な学びの場となった。この後同様の情報保障体制の事業を3回（綾瀬再発見講座・那須英彰講演会Part 2・世界遺産講座）実施し多くの方が参加した。令和5年度も3回の講座開催を計画している。



事業のチラシ



盛りあがる会場

3. 取組による成果や効果

- 聴覚障がい者と聴者がともに参加できる包摂的な事業を複数回開催することで、多く（延べ60人）の障がい者に学習機会を提供することができた。
- 包摂的事業とする事で聴者の障がい者理解が促進、手話サークル加入者が増加した。
- 令和5年1月には聴覚障がい者が中心の新しいサークルができた。メンバーにはこれらの講座で初めて出会った障がい者が含まれており、学びを通じた人と人のつながりができた。
- 公民館としては聴覚障がい者に続き、令和4年度には発達障がい児を対象とした工作講座や発達障がい児の保護者を対象とした事業、就労継続支援B型事業所利用者の就労準備支援事業も開始し、様々な障がいに対応した生涯学習の推進をする事ができた。



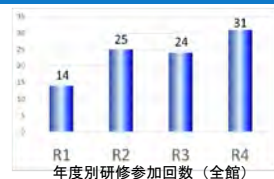
実施した発達障がい児と保護者向けの講座

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 学識経験者、生涯学習関係者、学校教育関係者、公募による市民で構成される生涯学習推進審議会にて事業計画や報告に対して意見をいただいている。
- 連携先の県聴覚障害者福祉センターや市聴覚障害者協会の関係者と改善点や今後の講座に対する意見交換をしている。
- 年に1回、利用者満足度調査を実施。3ヶ月に1回は、セルフモニタリングを行いPDCAを回している。

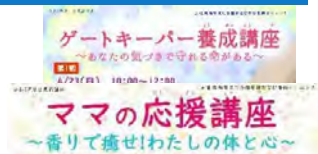
5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

一番大切にしている事は、“井の中の蛙”にならないということだ。実施していることが古くさくなっていないか、今、地域や世の中に求められていることなのかどうか、常に見直し新しいことにチャレンジし続けなければならない。そのために出来るだけ多くの外部研修に参加し、中央教育審議会生涯学習分科会における議論の内容などを踏まえ事業展開するようにしている。



6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

今後の公民館としては、今以上に地域のウェルビーイングの実現に貢献したいと考えている。障がい者以外にも、貧困の状況にある子ども、高齢者、孤独・孤立の状態にある方、外国人、女性など、それぞれに学習ニーズがあるのは第11期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理にあるとおりである。このような方々にスポットを当てる事業にチャレンジしていきたい。



令和5年予定講座の例

未来へ種をまく。合言葉は「オールなでしこ」

平塚市立なでしこ公民館(神奈川県)



花いっぱい公園・公民館をつくろう！



なでしこ大BONおどり大会 (BONおどりリーダーになろう！)

公民館の沿革・年表

- ・平成6年 平塚市立なでしこ公民館開館
- ・平成26年 町内福祉村開所
- ・令和4年 神奈川県公民館連絡協議会優良公民館表彰

左図・写真の説明等など (PRポイントなども可)

★地域がひとつになり「オールなでしこ」で事業を展開
 ・敷地面積8,000㎡超の公園と一体の公民館。約4000株の花が地域住民をもてなしている。年に2回、**公民館、地域団体、小学校がチームとなって、児童約50名に指導しながら植替えをし、地域のつながり、花を大切に作る心、郷土愛を育てている。**(写真左上)
 ・子どもが主役。全ての地域団体がチームとなる一大事業が、「なでしこ大BONおどり大会」。盛り上げるのは1か月間、**公民館で民謡とダンスを練習した児童が「BONおどりリーダー」。**教えるのは中学生から社会人までの「**BONおどりリーダー卒業生**」。循環してずっと続く未来が地域を照らしている。(写真左)

公民館情報		1. 公民館対象人口	8,212人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成6年3月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	18台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1981人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 25429人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				合計 27,410人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 2人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 5人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (公民館運営委員会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (自治会連絡協議会、町内福祉村、社会福祉協議会、青少年指導員、ごみ減量化推進委員会、フラワーボランティア、体育振興会、防犯なでしこ支部、なでしこ小学校、子ども会育成会 等)				

平塚市立なでしこ公民館

OPEN 9:00~22:00
 TEL 0463-35-1254

H P https://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/gakushu/page-c_01853.html
 SNS なでしこ地域情報局 <http://hiratsuka.johokyoju.net/area/nadeshiko/>





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

なでしこ公民館は海を南に川を西にしたロケーションに8,000㎡超の公園と一体となって平成6年に開館。その特徴から子どもから高齢者まであらゆる世代の住民が公民館に集まる土壌が形成されている。また、**公民館を含む26の地域団体が月に1度公民館に集まり、情報共有や地域課題等を議論する機会があり、公民館を中心に地域団体が結束してチームで動く「オールなでしこ」というスローガンが根付いている。**公民館事業の際も地域団体と共催で行うなど地域を巻き込み、地域に巻き込まれて展開する特徴がある。今後は根付いたスタイルを次世代へしっかりと繋いでいくこと、新しい地域人材の発掘と人と人を繋ぐことが求められる。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【高齢者の居場所と未来をつくる・うたごえサロン（健康づくり、高齢者の学び支援）】
平成26年に市内で初めて、公民館内に、身近な生活支援やふれあい交流を行う福祉村が開所した。その福祉村と公民館、地域内の高齢者よるず相談センターと共催して、「うたごえサロン」を継続開催している。前半は高齢者よるず相談センターによるコグニサイズによる介護予防。後半は音楽療法士よる懐かしい歌やハンドベルで音楽による脳活を行う。福祉村がある公民館の強みを生かして、**高齢者の居場所づくりと脳活で高齢者の長く続く未来づくりに取り組んでいる。**



うたごえサロン

【未来へ種をまく・BONおどりリーダーになろう！（地域学校協働活動、ボランティア養成、地域資源を活用したまちづくり）】
「オールなでしこ」を合言葉に地域団体が結束する事業に「なでしこ大BONおどり大会」がある。**盛り上げ役は1か月間、公民館で民謡とダンスを練習した児童「BONおどりリーダー」。**教えるのは、中学生から社会人までの「BONおどりリーダー卒業生」。かつての児童たちが教える側となって関わる仕組みが形成されており、当日の音出しや会場内のアナウンス等もBONおどりリーダー卒業生が行っている。**一過性ではなく持続する未来づくりに取り組んでいる。**



星を観る会

【コロナ禍での工夫が大好評・星を観る会（子どもの体験活動、地域学校協働活動）】
児童対象の星を観る会（天体観測）を実施している。屋内で講義後、屋外で天体望遠鏡を使用した天体観測をしていたが、コロナ禍で屋内の講義が困難になった。そこで、**公民館の壁面にプロジェクターを投影し屋外講義を実施**すると大好評。現在も壁面を利用した形式で実施している。**コロナ禍でも学びを止めないという姿勢で取り組んだ結果、事業がパワーアップした。**

3. 取組による成果や効果

- ・高齢者同士がつながり、公民館が居場所のひとつとなった。「公民館へ行けば知り合いがいて話ができる」という話をよく聞く。**天気の良い日は外で将棋をしようと声をかけ楽しむ姿がある。**
- ・子どもたちが大人と協力して大きな達成感を得ることで、かけがえのない経験となっている。その経験から、**小学校を卒業してもボランティアとして公民館に帰ってきてくれるということが確立されつつある。**子どもと一緒に考えて、大人は見守ることで、自分の力で達成したと感じ、自立心も養われている。
- ・コロナ禍で多くの事業が中止される中で、**できない前提ではなく、やることを前提にどうすればできるのかを考えた結果、コロナ前よりも参加者の満足度が得られる事業ができあがった。**現在の形に囚われず、常にブラッシュアップできることを運営側、参加者側で体感できた。



天気の良い日は外将棋

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・自治会ほか各種団体の代表者、小学校長、中学PTA等の代表者で構成された公民館運営委員会を年6回開催。
- ・**学校を含む各種26団体で地域課題や情報の共有、活動方針を話し合う「なでしこ地区団体長会議」を月に1度開催。**
- ・地域全体をひとつのチームとする「オールなでしこ」で実施する事業については、実行委員会を形成し検討・検証・改善をする。
- ・子どもから高齢者までが日ごろから集うなでしこ公民館の特徴から、来館する高齢者や子ども、子の親等とコミュニケーションを図り、意見を抽出して事業へ生かしている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

・公民館の成り立ちから、地域住民が公民館に集まる土壌があるため、公民館で地域全体で結束して動くことが浸透している。これは大きなパワーとなり、なでしこ地区の強みとなっている。この伝統を持続していくために**次の世代（子どもやその親）へ種をまき続けることが大切**である。過去の積み重ねが「今」を。「今」の積み重ねが「未来」を創ることを踏まえ、**地域の力、人材を活用した事業を展開し持続可能なものへとしていく。**



地域住民が講師の歴史散策「なで散歩」

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

・地域住民主役の事業展開を継続するため、子どもたちが大人になり地域活動に帰ってくる環境を持続・発展していきたい。現在は大人で企画・検討会議をしている「公民館運営委員会」を児童を集めて、児童が企画・運営する「**子ども公民館運営委員会**」のような仕掛けをしていきたい。一過性のものではなく、未来へ種をまき続けて、**一人一人の心にナデシコのような可憐な花がずっと咲き続ける公民館でありたい。**



なでしこ公民館に咲く「カワラナデシコ」

エンパワーメントを生かし合う地域活動を目指して

相模原市立星が丘公民館(神奈川県)



星が丘公民館(外観)



各パートに分かれてアンサンブルを練習

公民館の沿革・年表

- 昭和33年 青空公民館として設置し、活動を開始
 昭和47年 星が丘小学校講堂の一部を星が丘公民館が間借りして活動
 昭和51年 文化、体育、館報の専門委員会発足
 昭和57年 星が丘公民館新築開館
 平成27年 優良公民館として文部科学大臣賞受賞
 令和5年 長寿命化改修工事のため、一時閉館
 令和6年 リニューアルオープン予定

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

●自主企画提案事業「フルーツを楽しむ会」の様相
 新たな担い手となる人材発掘のため、地域住民が企画者として参画する「自主企画提案事業」を実施した。開設申込者は、フルーツの普及啓発と申込者自身が地域とのつながりを求めて応募したもの。参加者は初心者から経験者まで20~70歳代の男性女性と幅の広い層となった。保育付きで実施し、実際に「保育があったから参加できた」との喜びの声が聞かれた。構え方から始まり、アンサンブルができるまで全5回の講座を実施した。

公民館情報		1. 公民館対象人口	17,000人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和57年4月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	20台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1,200人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 23,000人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 2,500人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 8,000人 (<input type="checkbox"/> ピー開放、子どもの居場所づくり、図書室利用者)			合計	34,700人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 4人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人 職員のうち社会教育士の数 1人)			合計	5人
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (公民館運営協議会)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 ()) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (小学校、こどもセンターが隣接しており、子どもたちが気軽に立ち寄れる場となっている。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (星が丘幼稚園、星ヶ丘二葉園、星が丘小学校、県立相模原高校、女子美術大学、青少年健全育成協議会、地区社会福祉協議会、地区消防団、市立博物館、館区内社会福祉法人等)				

相模原市立星が丘公民館

OPEN 8:30~22:00

H P <http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kouminkan/hoshigaoka-k/index.html>

TEL 042-755-0600

SNS https://twitter.com/hoshigaoka_kmk



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

令和5年度の改修工事を控え、地域住民から新公民館への期待が語られるようになると同時に、これまで公民館活動を支えてきた方々の公民館への思いも語られるようになったことから、「サンスイイベントー星が丘公民館の過去・現在・未来に込められた思い」をテーマに、シンポジウムを開催した。この中で、新公民館がこれまで以上に地域住民から必要とされるための活動の在り方や新たな担い手となる人材の必要性が語られた。こうしたことから、知識や技能があり、指導例に立てる地域住民を発掘し、参加者と指導者が共感しながら公民館活動を進めることで、地域の活性化につながる手法を検討した。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【自主企画提案事業「フルーツを楽しむ会」（知識及び技能の活用）】

開設希望者の募集にあたり、日ごろ公民館に足を運んだことのない人からの応募を主眼としたため、自治会回覧の他に、Twitter等のSNSを活用した。開設申込者は、運営協議会委員等により組織する審査会において、地域住民である申込者と、参加者とと一緒に楽しめる学習の場を作るねらいや実施内容のプレゼンテーションがあり、事業の趣旨を審査委員と共有することができた。

【星が丘自習室（世代間交流・子どもの居場所づくり）】

公民館で見かけることの少ない高校生に、公民館活動に目を向けてもらうきっかけとして取り組んだ事業。既存の小学生対象の学習部屋の見守り役として、高校生に協力を求めた。事業の参加者側ではなく、運営者側になる方が参加しやすいのではと考え、特に、将来教員を目指している生徒に着目したポスターを作成し、校内に掲示していただいた。

【学社連携「自由課題ポスターの描き方」（世代間交流・子ども体験）】

子どもたちに専門的な学びの場を提供すると共に、世代間交流の場を兼ねた事業を企画した。市内にある女子美術大学に小学校の夏休みの自由課題であるポスター制作の指導を依頼した。参加した大学生が卒業後に美術教師の道への足がかりとなるように、学社ともにそのノウハウを生かし合える事業とした。



高校生が見守る星が丘自習室の様子



美大生によるポスターの描き方指導の様子

3. 取組による成果や効果

- （フルーツ）講師を含め全員が公民館事業に初参加だったことから、新たな地域住民の参加を促す効果的な手法として大きな成果をあげた。なお継続的な学習を全員が希望したため、サークルとして活動し、公民館まつりで、アンサンブルを発表できるまでに成長した。
- （自習室）高校生は、自身がこれまで積み重ねてきた学習成果を、自習室を通して小学生に還元することで、地域活動に参加する機会となった。また小学生は、高校生の見守りにより、安心して学習に取り組み、またロールモデルとしてのイメージが持てた。
- （ポスター）大学生は、コロナ禍で自粛を余儀なくされていた社会貢献に踏み出す機会となった。子どもと保護者は、専門的な指導により作品制作への新たな視点が広がった。
- 全体の事業を通し、新たな担い手と人材の発掘が実現した。



学習の成果を公民館まつりで発表

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 事業終了後に、参加者にアンケートを実施した。専門委員会等で、アンケートを基に振り返り、意見交換を行った。
- 講師、専門委員長等、担当職員による事業評価シートを作成した。
- 年4回開催の星が丘公民館運営協議会で事業評価シートを基に事業結果を報告した。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

公民館は単なる貸し館ではない。独立した教育機関としての視点を持ち、そこに従事する職員は、専門的知識を持つ者としての視点を常に意識しつつ、地域住民の声に耳を傾け、感じ取り、サークル活動等に寄り添うことが大切だと考えている。そして、地域のニーズを公民館事業に取り入れ、誰もが参加でき、地域住民が持っている力を生かし合える場を提供していきたい。



高齢者の学びの場「すずかけ学級」

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

既存の組織のみならず、新たに公民館に関わる方を含め、全ての人が「参加できて」「協力できて」「参画できて」良かったと思える場を提供することはもとより、地域住民のエンパワーメントと地域資源をつなぐコーディネート役として、教育的側面で、更なる地域活動の広がりを支えていきたい。



地域の障害者施設を訪問（家庭教育支援講座）

花と憩いの「美しい公民館」を目指して

三条市三条東公民館(新潟県)



花植えの様子



人々が集う春の中庭

公民館の沿革・年表

平成22年2月15日 竣工
4月4日 竣工式

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

三条東公民館には中庭(通称：光庭)が設けられており、公民館主催講座の受講者が、プランターで花を育てたり、グリーンカーテンを作ったりして、管理をしている。

ガーデンテーブルも置いて、綺麗な花と緑に囲まれた中で、来館者は、おしゃべりを楽しんでいる。まるで、おしゃれなカフェテラスの雰囲気です。憩いのひと時を楽しんでいる様子を毎日のように見ることが出来る。

公民館情報		1. 公民館対象人口	11972人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成22年4月4日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (三条市役所)				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2319人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 58098人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 60,417人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 2人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (公民館協力員会議 年2回開催)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (成人教育)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (中庭が設置されている)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (一ノ木戸小学校、NPO 法人三条おやこ劇場、三条東地区自治会長協議会、三条ルディックウォーキングクラブ、三条市健康づくり課・生涯学習課、子育て拠点施設あそぼって)				

三条市三条東公民館

OPEN 9:00~22:00

H P https://www.city.sanjo.niigata.jp/soshiki/shimimbu/shogaigakushuka/ko_uminkan/higashi/index.html

T E L 0256-35-1200

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

市内の他公民館にはない、「中庭(光庭)」があることを活かして、花に囲まれながら交流できる憩いの場を地域住民と一緒に創出したいと考えた。地域住民からも「ガーデニングや野菜作りを習ってみたい」という声があがっていたこともあり、植物の知識を得たり、園芸の技術を高めたりすることを目的に園芸講座を開設し、受講者から光庭の美化や植物管理も担ってもらうこととした。

また、当地区も高齢者が多く、光庭の植物栽培を通して高齢者の活躍の場となることも期待した。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【花と憩いの「美しい公民館」を目指して（高齢者の学び、憩い、活用の場支援）】
 <公民館講座>

- ・平成27年 きっかけの1歩「光庭で楽しむプランター菜園」開催
 参加者延べ46人 ○プランター菜園
- ・平成28年 きっかけの1歩「光庭で育てるフレッシュハーブ」開催
 参加者延べ59人 前の講座に加え ○畑にじゃがいもを栽培 ○月1回の茶話会
- ・平成29年～令和2年 きっかけの1歩「光庭deプチファーム」開催
 参加者延べ337人 前の講座に加え ○畑に玉ねぎを栽培
- ・令和3年～4年 「花・畑くらぶ」開催
 参加者延べ173人 前の講座に加え ○公民館周辺の美化活動
- ・令和5年～「花くらぶ」として、育成を花に特化して開催



プランター準備

職員が、土・肥料及び季節の花苗を選んで購入し、それを地区住民とともに植える。講師である地域の草花愛好家による指導のもと、花植えの知識やコツを学ぶ。植栽が終わった後は、定期に集まり手入れなどの管理を行う。その際は「茶話会」を開き、植えた花を眺めながらお茶とお菓子をつまみ、親睦を深めている。さらに、公民館駐車場裏の畑では、野菜も育て、その収穫を楽しんだ。令和5年度は、アンケートの声をもとに、より住民に喜ばれる中庭を目指し、花に特化した講座を開催している。



畑での収穫

3. 取組による成果や効果

「いつ来ても花が綺麗でいいですね」「素敵な花のおかげで気分がいいです」との声、来館者からいただいている。当公民館は年間60,000人超の利用があるが、中庭は来館者の目と心を和ませることに一役買っている。また、老若男女問わず中庭で談笑する姿、小中高生が勉強する姿を毎日見ることができる。受講者（高齢者）は、そうした姿や声で学びの成果を実感し、やりがいや生きがいにつながっており、学びの好循環を生んでいる。

- ①受講者の学び…花や野菜など園芸に関する知識や技術の習得
- ②つながりづくり…「茶話会」など参加者同士の交流の場の創出
- ③活躍の場…中庭の管理と美化、さらに公民館周辺の美化活動で地域貢献
- ④公民館への愛着や自己有用感の醸成…「より良い中庭に」「地域の笑顔のために」



「茶話会」で憩いのひととき

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

来館者へのアンケートを行ったり、日々の市民の声を聞いたりして、どのような庭が一番居心地がよいかを探っている。現状維持で甘んじること無く、住民の評価を得ながら、より良い取組にしていけることが大事だと考えている。

また、参加者へのアンケートも行い、参加しやすく充実感をもてる講座となるよう、改善に努めている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域住民が交流できる憩いの場を地域住民と一緒に創出していくことが大切である。築12年が経ち、決して「新しい」建物ではないが、初めての来館者は、皆一様に「キレイなところですね」と驚かれる。デザイン的な内装であることも要因としてあるが、職員が日々の美化に努めている成果でもある。今後も、館内施設全てで「美しい」と言われるよう、美観を保ってきたい。



デザイン的な内観

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

美しく居心地の良い公民館を目指して、市民の声に耳を傾けながら、ハードとソフトの両面で、公民館全体の活気を高められるよう、職員と地域住民と力を合わせて各種事業に取り組んでいきたい。また、三条市で取り組んでいるSNSによる情報発信や「きっかけの1歩事業」を、今後も継続し、積極的に活用していきたい。



SNSで情報発信

学びで拓くトキめき 豊かさ 人づくり

佐渡市公民館(新潟県)



両津地区文化祭 開催！



読み聞かせ (両津地区文化祭の一コマ)

公民館の沿革・年表

平成16年 10市町村の合併により佐渡市が誕生

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

●両津地区文化祭

佐渡市内にある1つの地区公民館で行っている文化祭。公民館講座、公民館自主講座の受講生による絵画、生花、書道、絵手紙などの作品や市民一般からも広く出展を募り、芸術文化活動の向上を目指しています。

また、その他にも

- ・赤十字奉仕団／カレーライスの炊き出し訓練 (100食配布)
 - ・ジオパーク／体験講座
 - ・図書館／落語、読み聞かせ
 - ・婦人会／手芸展
 - ・消費者協会／犯罪抑止対策 (オレオレ詐欺等)
- 各種団体が参加をし、文化祭を盛り上げてくれています。

公民館情報		1. 公民館対象人口	50,037人 (4/30現在)	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日		4. 来館者のインターネット接続最大端末数	0台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 5234人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 5309人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 10,543人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 22人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 5人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 27人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> その他 (地区公民館事業活性化支援隊／各地区公民館事業の企画立案、評価を行う。)				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (佐渡市公民館としての建物はなく、佐渡島開発総合センターの一画を公民館事務所としている。佐渡市内では10地区の公民館で活動を展開している。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ()				

佐渡市公民館

OPEN 8:30~17:15 H P <https://www.city.sado.niigata.jp>
 TEL 0259-58-7356 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

佐渡市では、公民館にて講座を開催し、市民の学習や生きがいづくり、仲間づくりを推進しているが、公民館講座は3年間で、終了することとなり、講座の受講者から引き続き学び続けられる環境が要望されていた。そこで、3年が経過した公民館講座を参加者が自主的に集まって学習する講座「公民館自主講座」と認定し、引き続き市民が学習することの出来る環境整備を行っている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【中村屋】

両津地域の料理好きな方が集まり、パンづくり講座を開催している。
第2火曜日に講座を開催中。
現在約10人が参加している。



「中村屋」の様子

【さわた絵手紙教室】

佐和田地域で絵手紙の技術向上を目指す方が集まり、絵手紙教室を開催している。
令和5年度から公民館自主講座に移行し、第3月曜日に講座を開催中。
現在約13人が参加している。



「さわた絵手紙教室」の様子

【羽茂英会話（羽茂地区）】

羽茂地域で国際理解や英語力の上達を目指す方が集まり、英会話教室を開催している。
第1・3水曜日に講座を開催。
現在約10人が参加している。

3. 取組による成果や効果

- ・令和5年4月現在、230講座が自主講座として登録されており、市民のニーズに対応した講座を開催している。
- ・各地区公民館で開催されている講座の成果を、文化祭や芸能祭で発表し、受講者の学習意欲向上へとつながっている。



「羽茂ギャラリー」の様子

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

基本的には自主講座内で講座の検証を行っていただくほか、困った事態があれば公民館が相談に乗り、取り組みの改善を行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

継続して学習に参加することの出来る環境をつくり、市民の学習要望に応えていきたい。



「短歌クラブ」の様子

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

少子高齢化や新型コロナウイルス感染症の影響などにより、地域コミュニティの衰退と人と人との繋がりの希薄化が課題となっている。
今後も、交流の拠点として公民館が機能し続けられるよう、活動機会の提供を行っていきたい。



「両津英会話クラブ」の様子

まだ知らない?! 1回来てみられ~

富山市立速星公民館(富山県)



速星☆きらきら☆子育てサロン R5. 4月



SDGs in 速星 R4. 9月

公民館の沿革・年表

- 昭和41年 婦中町中央公民館に速星公民館併設
- 昭和58年 婦中町立速星公民館設置
- 平成14年 現在地に婦中町立速星公民館竣工
- 平成17年 合併により富山市立速星公民館と改称
- 令和3年 とやま環境賞 優秀活動賞受賞
- 令和3年 県教育功労者等表彰
(優良社会教育機関部門) 受賞

公民館の沿革・年表

- 速星☆きらきら☆子育てサロン
地域内の子育て中の家族の集いの場として開催。
育児休暇中の保護者が多く、保育園の申込み状況など
様々な情報が交わされている。写真は人気の手形アート制作
の体験会のようなす。
- SDGs in 速星
SDGsを意識した地域づくりを目指した取り組み。
写真は講演会「備えない防災の考え方」~いつもの暮らしが役
に立つ~ のようなす。

公民館情報		1. 公民館対象人口	11,941人	3. 来館者のインターネット接続環境	無し
		2. 建物設置年月日	平成14年10月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	—
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 117人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 27,086人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 27,203人 <input type="checkbox"/> その他 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> 兼任 1人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 4人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (速星校区自治振興会、速星地区ふるさとづくり推進協議会、速星地区社会福祉協議会、速星地区民生委員児童委員協議会、富山市保健推進員)				

富山市立速星公民館

OPEN 9:00~22:00

TEL 076-465-6056

HP <http://www.tkc.pref.toyama.jp/kouminkan/info/svOrgDtl.aspx?orgcd=1798>

SNS 51





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

地域内には幼保、小、中、高校があり、人口も多く、元気にぎわっている地域である。令和元年度の年間利用者数は34,000人と老若男女問わず多数の利用があった。その反面、工場、事業所が多く、転出入も多いため地域のコミュニティが不足していると感じており、若い世代の間では公民館の認知度はあまり高いとはいえない。

さらに、コロナ禍により利用者の固定化が進み、これまで公民館とは疎遠だった方の足は益々遠のいていった。

コロナ禍で行事の中止が相次ぐ中、開催の方法や意義など考え直すよききっかけとなった。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【赤ちゃん応援事業（子育て支援）】 コロナ前には毎年行われていた、保健推進員主
 動の「仲間づくりの赤ちゃん教室」が再開の目途が立たず、子育て世代の利用がほぼ0の
 期間が続いた。特に、未就園児の子を持つ親子の仲間づくりの場所が軒並み利用中止と
 なり、その居場所を公民館に急いで作るべきと手がけた。地域内にある3つの幼稚園、保
 育園の保護者にアンケートをとり、方向性を決め「速星☆きらきら☆子育てサロン」として令
 和4年6月から開始。民生児童委員、保健推進員、保健師、社会福祉協議会職員な
 どの協力で親子たちが自由に過ごすことのできる時間と空間を提供できている。また、直前
 の中止や変更に対応するため「とやま公民館学遊ネット」を利用、HPの更新を始めた。

【SDG s への取り組み（住民の学びの支援）】 SDG s に関わる事業に取り組みたいと
 有志でフードドライブを計画、令和4年2月に第1回を実施。定期的な実施を求める声
 が多く、年2回の開催を継続することになった。集まった食品は、社会福祉協議会と連携
 し、必要とする団体や家庭に届けることができた。賛同者たちのアンケートや意見をもとに、
 SDG s の他の目標にも展開していきたいとの思いから、「SDG s in 速星」として講演会を
 開催、活動の枠は広がっている。



子育てサロン：スタッフ総出でクリスマス



フードドライブ：受付会場

3. 取組による成果や効果

- 子育てサロン(令和4年度19回実施、参加延べ103組)
 - ・準備委員や広報に保健推進員や民生児童委員の協力が得られ、子育て世代を支えるつながりが深くなった。
 - ・参加者どうしが情報を共有しあうなどのようすが見られ、孤立を防ぐことができる場となりつつある。
 - ・子育てサロンだけでなく、他の事業やサークルへの積極的な参加も見られた。
 - ・参加者との雑談から次の企画が決まったり、新しい事業につながるヒントが見つかるなど、今までになかった若い世代の声を聞くことができる貴重な機会となっている。
- SDG s in 速星
 - ・公民館に来たことがなかったという方の参加もあり、利用者の幅が広がり、増えたといえる。
 - ・誰かの役に立ちたいという思いの方も多く、アンケートの中にはボランティアとしての参加を希望する声もあった。

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 新規事業のアンケート調査をきっかけに従来から行っている公民館講座やイベント時にもアンケートや意見を聴取、まとめたものはHPや館内に掲示してお知らせし、反省点などは次の活動に反映させている。
- 自治振興会他地域の団体、幼保、小学校長らが集まり、事業計画や内容について協議、協力体制や事業の方向性を確認しあっている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

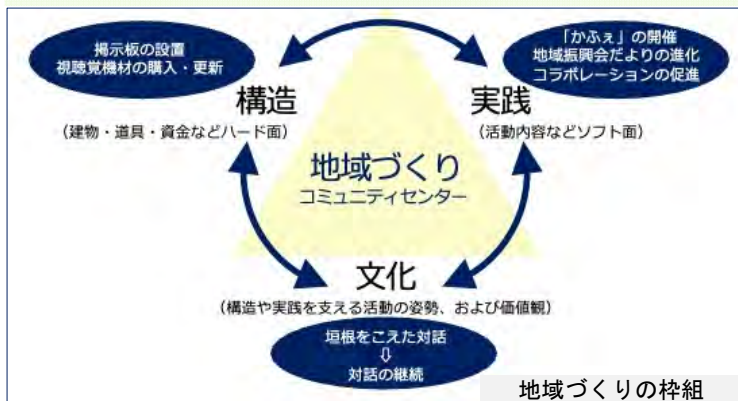
多くの人が集う場所であるため、様々な想定しないことが起きる場所である。まずは、困っている人がいないか、困ったことがあればどのように対処、改善しようかを職員で情報共有し対応するようにしている。いつでも誰でも気持ちよく過ごして元気よく帰ってほしい。館内も心もバリアフリーを心がけている。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

コロナの制限が緩くなり、事業が活発になるとボランティアの不足が問題となってきた。広報の工夫もまた変える必要が出てくる。突然やってくる変化に素早く対応できるように、経験値を上げネットワークを軽くしておく必要がある。子育てサロンで「保育園の雑巾作るのって大変だね」という会話から、雑巾を作るボランティアを募集し幼稚園保育園に届ける事業を始めた。こんなことが役に立つならと十数人が手を挙げてくれ、みるみる雑巾の山ができた。これならまだ出会ったことのない人の困りごとも解消できるだろう。小さな気付きを拾い集めたような活動を広げていきたい。

金山の未来を考える-様々な垣根をこえた対話の創造-

射水市立金山コミュニティセンター(富山県)



公民館の沿革・年表

- ・昭和63年：現在地に「小杉町立金山公民館」新築
- ・平成17年：市町村合併に伴い「射水市立金山公民館」に名称変更
- ・平成23年：「射水市金山コミュニティセンター」に名称変更し、金山地域振興会が指定管理者になる（以降、年4回金山地域振興会だよりを発行）
- ・平成25年：とやま公民館学遊ネット上にホームページ開設
- ・令和2年：「金山コミュニティセンター」YouTubeチャンネル作成
- ・令和3年：富山県公民館連合会研究委嘱事業実施

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

- 「様々な垣根をこえた対話の創造-地域課題の解決に向けて-」を研究主題にワークショップを3回実施し、「地域づくりの枠組み」としてコミュニティセンターが果たす役割をイメージ化しました。
- 初回のワークショップは「未来を描く」をテーマに開催し、若者、高齢者、移住者など様々な立場の方の参加がありました。金山の良いところ探求から始め、未来を描きました。2回目は「未来を創る」を、3回目は「その後どうなった？さらにどうしよう？」をテーマに開催。インターネット上の掲示板PadletやYouTubeを活用し、ワークショップの様子等を発信しました。



公民館情報	1. 公民館対象人口	1400人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
	2. 建物設置年月日	昭和63年4月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	-
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者 (金山地域振興会) <input type="checkbox"/> その他 ()			
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	490人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	3250人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	7500人 (放課後児童クラブ)	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等	150人
		合計 11,390人		
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	3人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	1人
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	1人	<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人
		(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 5人		
8. 予算	<input type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()			
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()			
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂
	<input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学
<input checked="" type="checkbox"/> その他 (放課後児童クラブの施設利用, 地域の万屋として様々な相談にのる)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設	<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 () コミュニティセンター		
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由記述	(金山小学校が隣接しており駐車場を共用している)		
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input checked="" type="checkbox"/> 大学
	<input type="checkbox"/> 企業	<input checked="" type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関
<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (金山地域振興会, 金山社会福祉協議会, 金山民生児童委員協議会, まつたけボランティア, 金山ヘルスポランティア, 金山長寿会, 金山食生活改善推進協議会, 金山体育協会, 射水市消防団南部方面団金山分団, 交通安全協会金山支部, 金山保育園, 金山小学校, 金山小学校PTA, 放課後児童クラブ(こぼと学級), 猿楽会, 金山里山の会 ほか)				

射水市金山コミュニティセンター

OPEN 9:00-21:30
TEL 0766-56-2649

H P <https://www.tkc.pref.toyama.jp/kouminkan/info/svOrgDtl.aspx?orgcd=0404&stdycd=C0000913>
SNS <https://www.youtube.com/channel/UC5f-kRAvI-OS6z5FwaIIaD>





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 金山地域振興会の目標「元気で活気あふれる金山地域づくり」に向け、地域振興会や社会福祉協議会等と日頃より連携し、様々な事業に取り組んでいる。近年、少子高齢化の加速により活動の中心は70代以上の高齢者に偏っており、金山地域に対する関心の世代間の格差、移住者や子育てを終えた世代など地域との関わりが薄い住民の存在が地域課題としてクローズアップされた。
- 従来から他機関や他団体と連携協働し様々な取り組みを行い、紙媒体での情報発信に努めてきた。令和2年度以降、感染症の拡大により様々な事業の中止や規模の縮小を余儀なくされ、活動の様子等をYouTubeで発信することが求められた。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

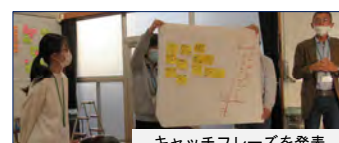
【様々な垣根をこえた対話の創造-地域課題の解決に向けて-】令和3年度富山県公民館活動研究事業の委嘱を受け表記の研究主題のもと、1の課題解決のため次の4点をねらいとし実践を行なった。(1)地域住民が地域の魅力を再発見する(2)地域の課題を共有する(3)(2)の解決に主体的に参加するきっかけをワークショップを通じて創造する(4)世代、町内会、性別、職業、出身地などさまざまな垣根をこえた対話の場を創る 併せて、インターネット上の掲示板で情報発信を行うこととした。

【Part1：未来を描く】4人のグループに分かれ、付箋に意見を書いて貼り出して話し合った。休憩中に他のグループの途中経過を見て、「いいね！」の意味を込めてシールを貼った。

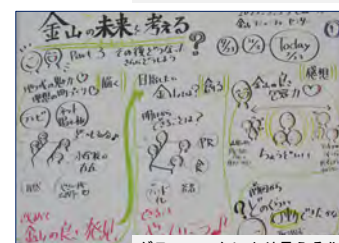
【Part2：未来を創る】Part1を踏まえ繋いで広げるイメージでまずは目指したい金山の深掘りに取り組んだ。続いて、目指す金山にするために実施することを各グループで考えキャッチフレーズにした。最後に各自が自分自身の動作に落とし込み自分のやることを記入し紹介し合った。

【Part3：その後どうなった？さらにどうしよう？】オンライン参加を可能にし、参加者全体で対話をする形式にした他、グラフィッカーにより対話を「見える化」した。2回のワークショップを振り返った後、どうなったのかを発表。今後、取り組むことやそのための方策について意見交換した。

【運営の工夫】参加は住民の自由意志とした。グループワークの最初に対話のルールを共有し、安心して発言できる雰囲気を作った。毎回、複数の媒体で住民に向けて開催報告をした。



キャッチフレーズを発表



グラフィックにより見える化

3. 取組による成果や効果

- ①Part2終了後に実施したアンケートから、当初ねらいにしていた4項目すべてで「とても思う」「思う」の回答が100%になった。
- ②幅広い年齢層、コミュニティセンターの利用がなかった住民、地域団体との関わりが希薄な方、里山保全活動に取り組む団体の会員など、垣根をこえた対話ができた。
- ③Part3の開催を契機に、リアル掲示板の設置や「かふえ」の開催、「地域振興会だより」の新コーナー「地域の魅力再発見」の掲載等、新たな取組に発展している。
- ④本事業について、公民館初任者研修会や全国公民館研究集会などで発表の機会を得た。その後、県内外の公民館から問い合わせをいただいた。



インターネット掲示板padlet

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

研究推進委員会を適宜開催した他、ワークショップ終了後には毎回アンケートを実施し取組の検証と改善を図った。実際、Part3は当初の計画にはなかったが参加者からの要望を踏まえ開催することになった。また、研究推進委員会用のインターネット掲示板を別途開設し、随時改善のための意見交換に努めた。なお、事業終了後も地域振興会総務広報部会（自治会長、男女共同参画推進委員、有識者他）及び教育文化部会（生涯学習推進委員、PTA関係者他）において継続的に活動の見直しと提案を行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

従来より住民の目線に立ち住民の生の声を大切にしてきた。様々な団体が有機的につながることで内容の濃い事業が展開できるため、コミュニティセンターに移行後は地域振興会を含め様々な団体との連携協働を促進し、すべての関係者にメリットがあるようにすることを心がけている。また、住民が気軽に立ち寄れる場であるために、笑顔を決やさず、話を受け止める姿勢を大切にしている。



子どもたちも興味

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

地域の魅力として、住民の才能や包容力、歴史や豊かな自然等が明らかになったことから、地域づくりの枠組みを踏まえ、従来からの魅力と対話文化を土台に構造と実践の好循環を生み出す器となる。そのために、知識やスキル、地域づくりに興味・関心のある住民や団体等との良好な関係を構築・発展させ、アナログとデジタル双方のメリットを活かしながら様々な取組を展開していきたい。



オンラインでの参加

継続と創造

羽咋市立邑知公民館(石川県)



邑知検定



ホタル保護活動

公民館の沿革・年表

- S23.7 羽咋郡邑知町立邑知公民館発足(飯山小学校内)
- S26 県教育委員会優良公民館表彰を受賞
- S27.7 旧邑知中学校へ公民館移転
- S40.8 市農業技術研修所(宇土野町)へ公民館移転
- S41.12 邑知公民館が新築竣工
- S52.4 邑知体育協会発足
- S52.11 優良公民館県知事表彰受賞
- H17.2 邑知まちづくり推進協議会発足
- H30.11 邑知ふれあいセンター竣工
- R3.2 旧邑知公民館解体工事完了
- R3.6 邑知ふれあい広場完成

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

邑知検定・・・ふるさとの歴史や文化・自然を学びふるさとの特性や良さを再認識し一層の愛着と誇りとなることを目指し一般、中学生、小学生ごとに検定を実施

ホタル保護活動・・・保護区域沿いの除草、ゴミ収集を行いホタルの生息環境を整備

公民館情報		1. 公民館対象人口	2946人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成30年10月10日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 6810人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 4840人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()			合計	11,650人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 2人 職員のうち社会教育士の数 0人)			合計	2人
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input checked="" type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 (<input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (放課後児童クラブ、消防団分団車庫) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ()				

羽咋市立邑知公民館

OPEN 9:00~17:00

H P <https://www.city.hakui.lg.jp>

T E L 0767-26-0027

SNS https://www.facebook.com/ouchikouminkan/?locale=ja_JP



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

邑知地区も他地区と同様に少子高齢化や人口減少により自治会活動などの継続が危ぶまれ、地域のつながりが希薄化している。しかし、同地区は、自分たちの郷土に強い愛情と誇りを持つ住民が多く、次の世代に郷土愛を承継すると取り組みをまちづくり協議会を中心に行ってきた。

邑知地区は豊かな自然環境があり、潜在的な地域資源があったため、掘り起こしを行い、活用することで世代を超えた交流の促進と郷土への愛着の醸成を図った。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

① 邑知検定・ジュニア邑知検定

平成19年より16回にわたり実施している郷土に関する検定を行い、地域学習と郷土への愛着の醸成を図っている。

② ホテル観賞

ホテルの生息する邑知川において、ホテルの生息調査や観賞会を行うことにより、世代を超えた交流と生息環境の保全を促進している。

③ 歴史教室・歴史道ウォーキング

地域の歴史学習として、教室の開催や伝承のある道を歴史道として学習しながらウォーキングし、健康づくりと郷土学習の機会を設けている。

④ 邑知秀作展

地域に埋もれている才能を、公民館の一角に常設展示の場を設け発表の場を提供するとともに、学校と連携し巡回展示を行うことで、周知することで、新たな教室の開設につなげていく。

⑤ 方言集作成

方言集を作成することで、時代の経過によって移り行く「ことば」の保存を行うとともに、世代間で交流する際のアイテムとしての活用もできる。

⑥ スマートフォン教室

新型コロナウイルス感染症の流行により、急速にDXが進んだことにより、高齢者等のデジタルデバイド解消を図るため、スマートフォン教室を開催した。



歴史教室



スマートフォン教室

3. 取組による成果や効果

地域を題材とする行事や活動から新たなふるさとの再発見への機運の高まり、住民のつながりが強まっている。また、ホテル鑑賞会にあわせて近隣の広場などでイベントを開催したり、新聞報道等の効果もあり、近隣の地域からの参加者の増加から、交流人口が拡大している。



ホテル観賞会にあわせて開催したホテル屋台（邑知ふれあい広場）

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

自治会関係者、各種団体、学識経験者等15名の運営審議委員の他、公民館事業部長で構成する公民館運営審議会を年6回開催。

公民館の現状や課題・活動を振り返り改善点を多様な意見等を踏まえた検証幅広い参加が獲得できるよう事業の見直しや改善を行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

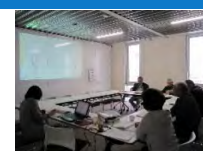
日頃から市役所、学校、各種団体等と繋がり、情報の共有を図りつつ連携協同の関係性を構築。



ジュニア邑知検定

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

少子高齢化や人口減少により自治会活動など地域のつながりが希薄化し、また、高齢者では一人暮らし、交通困難などの孤立化が問題となっている。地域住民が主体的に生涯学習と生きがいにつながる活動を展開していきたい。



方言集編集委員会

健康で笑顔あふれる地区づくり

白山市立出城公民館(石川県)



ハマナス保存活動



ウォーキング会

公民館の沿革・年表

- 昭和23年 出城公民館設置
 平成16年 市天然記念物「ハマナス」保存活動開始
 平成23年 出城地区自主防災組織発足
 平成29年 出城公民館改築
 平成30年 出城地区人口が10,000人を突破
 令和2年 石川県優良公民館表彰受賞
 令和3年 出城健康スマイルクラブ発足
 令和4年 出城地区自主防災組織が県知事表彰を受賞

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

- ハマナス保存活動
 出城地区の竹松海岸に生息するハマナスは、市の天然記念物である。このハマナスの恒久的な保存を目的に年2回春と秋に実施している。毎回、子どもたちも集中し、熱心に取り組んでいる。
- 出城健康スマイルクラブのウォーキング会
 住民の健康づくりを目的として、令和3年、「出城健康スマイルクラブ」が発足した。会員合同のウォーキング会ではクラブ会員20～100人程が、参加し健康の維持・増進に努めている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	10,356人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成29年3月16日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	30台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 2,112人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 19,373人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 859人 合計 22,344人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 1人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 1人) 合計 4人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (蕪城小学校、千代野小学校、北星中学校、はくさんタニタ健康倶楽部、地区消防団、地区老人会、ハマナスを育てる出城ボランティア会)				

白山市出城公民館

OPEN 8:30~22:00 H P
 TEL 076-276-1286 SNS



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 出城地区竹松海岸にあるハマナス群生地は、大正時代に実施された県の調査で、県内最大規模の総延長400mと報告され、地区のシンボルとなっており、昭和45年、市の天然記念物に指定された。しかし近年は、**生息範囲が減少傾向**にあった。
- 世代間交流事業等を実施するものの、**3世代が同時かつ気軽に参加できる活動として定着しなかった**。
- 新興住宅地と発展してきた一方、年々高齢化が進んでいる。
- デジタル化が進む中、**公民館を利用する高齢者の方々と接する中で、デジタル機器に対しストレスを感じていることが見受けられた**。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【ハマナス保存活動（活性化事業）】

白山市指定の天然記念物である竹松海岸ハマナス群生地の保存等を目的としている。毎年、ハマナスを育てる出城ボランティア会と共同で、春と秋の年2回、現地での活動を行っている。春には除草と施肥を行い、秋には施肥のほか、移植を実施。特に秋の活動は、出城地区に所在の蕪城小学校3年生が参加し、現地作業のほか、ハマナスの実を用いたジャム作りも行っている。小学生たちは、自らの活動記録をまとめ、毎年、地区の文化祭に展示するなど、環境保全活動としてのハマナスそのものの保存のほか、**資産としてのハマナスの重要性、価値をも承継することを実現**している。



ハマナス保存に関する活動記録

【出城健康スマイルクラブ事業（世代間交流事業）】

全世代が気軽に参加、交流できること、さらに、出城地区住民の将来を見据え、**住民全員の健康寿命の延伸**を事業目的としている。（株）タニタの「はくさんタニタ健康倶楽部」の取り組みと連携し、地区独自で「出城健康スマイルクラブ」を発足。館への**タニタ体組成計の常設が可能**となり、各種関連事業に活用している。発足と同時に、**独自のウォーキングマップ**を作成し、地区に全戸配布するなど地区住民全員の健康活動をバックアップ。主な活動は、**年10回程度のウォーキング会や健康講座**が挙げられ、**デジタル機器により年間歩数を集計し、表彰**も行っている。



地区内ウォークラリー

3. 取組による成果や効果

【各活動による成果・効果（ハマナス保存活動）】

- **地域資源の保存に成功**
- **固有の資産の保存・継承の重要性について、若年層に普及**
- **環境保全活動の啓発**に大きな役割を果たす

【各活動による成果・効果（出城健康スマイルクラブ）】

- **幅広い世代の同時交流が実現**
- 地区住民の**健康意識が向上**
- 高齢者が関連アプリをダウンロードし使用するなど、スマホ等**デジタル機器に対するストレスが軽減**



出城健康スマイルクラブLINEアプリ

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 公民館事業の検証、総括及び運営方針、事業方針の決定は、年3回開催の公民館運営審議会でやっている。
- 年間の事業記録を地区全戸に配布し、年間の主要な活動及び公民館を拠点とする各種サークル等を住民に周知することで、公民館活動と住民の距離を縮め、広く、今後の公民館活動等への意見を求めている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

- 新旧住民、老若男女を問わず、世代間交流、スポーツ交流、各種講座、防災訓練など公民館活動を通じて、互いにふれあい交流することで、**住民同士の横のつながりの構築を重視**している。さらにそれら繋がりが拡大し、**地区住民が連携、協働したコミュニティ組織を形成することで、自立した地区、街となることを標榜**している。



親子防災講座

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- **高齢者等を対象としたデジタル関連事業を拡大**するとともに、**貸館にもWi-Fi環境を広く開放し、利用者や来館者の増加**につなげる。また、**SNS等を活用し、幅広い世代に公民館情報を発信**する。
- 「白山手取川ジオパーク」がユネスコ世界ジオパークに認定されたことを契機に、ハマナス群生地をはじめ、**地区の固有資産の承継を強化**する。



高齢者スマホ教室

できることを1つずつ
つどい・まなび・むすび・つながっていく公民館

永平寺町上志比公民館(福井県)



LINE講座にてお孫さんとビデオ通話に挑戦



ご当地健康体操で黒田節体操を踊る参加

公民館の沿革・年表

- ・昭和48年1月 上志比公民館 開設(上志比村役場内)
- ・平成18年2月 上志比村、(旧)永平寺町、松岡町が合併し、(新)永平寺町が誕生。上志比支所内に設置される。
- ・令和2年12月 上志比支所の新築工事に合わせ、旧商工会に移設、公民館単独館として業務開始。

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

- “主事が教えます！LINE講座”の開催
スマートフォン教室を個別に対応し(2日間で8講座/1回2名まで同時受講可)、誰一人取り残さないよう、情報伝達の遅れを無くしより使いやすく、町の情報も素早く受け取れる講座を開催した。
- 日本各地と!“つながる公民館”
コロナ禍で活動もままならない日々のなか、「できることからはじめよう！」と日本各地の公民館がSNSを通じて交流を開始。当館も交流事業に参画し、公民館に來られない時でも住民が健康維持できる「ご当地健康体操」や小学生同士の情報交換場として「子どもオンライン交流会」を開催した。

公民館情報		1. 公民館対象人口	2787人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	令和2年12月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	100台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 476人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 3450人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 人 合計 3,926人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 0人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 1人) 合計 2人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (館長が元消防士という強みを生かし、防災教室に力を入れている。施設自体は一時避難所としての機能をもち、災害発生前の住民避難にも対応する。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 (上志比幼稚園、上志比小学校、上志比中学校、福井農林高校、福井県立大学、福井大学、上志比地区放課後子ども教室、上志比児童館、上志比地区振興連絡協議会、上志比公民館運営委員会、上志比公民館講座連絡協議会、生涯学習課所管の各種団体、永平寺町教育委員会)				

永平寺町上志比公民館

OPEN 8:30~21:30 H P 【永平寺町HP】 <https://www.town.eiheiji.lg.jp>
 TEL 0776-64-2244 SNS 【上志比公民館Instagram】





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

コロナ禍で公民館活動の中止が相次ぎ、高齢化の進む地域住民の健康維持やつながりが希薄になってしまった。「どんな時も学びを止めない」のが公民館なのではないかと、ただ中止を悲観するのではなく、できることを1つずつ拾い上げて活動しているように集まらなくてもできるオンライン講座に着目。しかし、すぐには住民側へのフォローができないので、町民全てが視聴できる行政チャンネルを使用し、徐々に「新しい生活様式としてのツール」の使用に慣れていってもらうことにした。ただ高齢者が多いので、個別に対応することも必要で、「ここが分からなくて教えてほしい」の声をできる限り拾い、デジタル・ディバイド解消に乗り出している。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

【おうちでできる公民館講座(全体取組)】

コロナ禍での自粛期間中、YouTubeで簡単に視聴できる『おうちでできる公民館講座』を撮影し、町の公式YouTubeに掲載してもらった。パソコンに不慣れな住民に対しては行政チャンネル『えい坊チャンネル』にて、1日に4回、別々の講座を放映。住民の運動不足解消に一役買うことができた。



おうちでできる公民館講座

【ハイブリッド開催に挑戦した『アロマソープ作り』(デジタル・ディバイドの解消)】

企画講座を、zoomを使ったオンライン+対面型にて開催。Zoomが不慣れでも後で見れるよう、作り方の動画もYouTubeで限定公開し、オンライン参加への不安を少しでも解消できる環境を整えた。参加者からは「いい匂いで感染予防もできて良い。zoomも途中うまく入れなかったが、YouTubeで確認出来て良かった。」と好評だった。

【こちらから会いに行きます！『希望のひまわり背高のっぼ大会』(世代間交流活動)】

町内の別の公民館が開催していた、ひまわりの背比べを町全体のイベントとして拡大。コロナ禍で公民館に来られなくても、こちらから計測に向かう「会いに行く公民館活動」がスタートした。



起震車体験も取り入れた防災教室

【実は元救命・消防士！館長プロデュースの『防災・救急教室』(地域防災・減災)】

この地域に長く住んでおり、地形や地域特性も把握している館長が、体験型防災教室や救急講座をプロデュース。起震車体験やDIG講習、災害派遣現場での体験談など、より防災・減災に近づく一歩踏み込んだ教室を行っている。

3. 取組による成果や効果

- おうちでできる公民館講座を配信後、多くの方から「コロナで外出できないが、家で楽しく運動している。」とお声がけ頂いた。また、自粛期間終了後にヨガの自主講座に参加される方が急増した。
- 企画講座をハイブリッドで開催したことにより、参加者のオンラインへの抵抗が少なくなったと感じた。また、配信側の職員もオンラインに強くなり、新たな講座へつなげることができた。その結果ICTへの関心を示す高齢者が増え、個別対応特化型“主事が教えるLINE講座”では難度の高い質問も出た。
- ひまわり計測で月1回お伺いし、雑談を交わしているうちに、様々な地域課題が見えてきた。また、地域の話題づくりにもなっており、上位のひまわりを見に廻ったり、育花談議で盛り上がり、住民同士のコミュニケーションツールとしても機能している。
- 体験型防災教室の開催で、子ども達や公民館活動に積極的ではない世代の参加が増えた。また必要な情報を可視化することで、分かりやすく理解してもらうことが出来た。



希望のひまわり背高のっぼ大会

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ・参加者にアンケートを取ったり、直接意見を聞きながら、次回への課題や要望を確認している。
- ・公民館運営委員会や、町の公民館運営審議会にて、事業内容、実施状況などを報告し、地域課題に取り組んでいるか協議している。
- ・館内では、PDCAサイクルにて検証を実施し、事業のアップデートに務めている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

『公民館』は地域のお茶の間！を合言葉に、地域の“声”を聞くことを大切にしている。何気ない会話の中に隠れている、地域課題の発掘につながる大事なプロセスである。夏休みに開催する公民館開放DAYも、そんな声から生まれたイベント。「コロナ禍でどこにも行けない子ども達に、少しでも夏らしいことをさせてあげたい」とお母さん達の悲痛な叫びから、おまつり広場やクラフト体験をぎゅっと一日に凝縮し、公民館を楽しんでもらうイベントが誕生した。3回目となる今年は川とSDGsがテーマ。必要課題も取り入れ、今後も地域の声を聞きながら様々な展開をしていきたい。



公民館開放DAY クラフト体験

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

上志比公民館のある上志比地区は2022年より過疎地域に指定され、人口減少に歯止めをかける事が大きな課題となっている。地域の社会教育機関の核として、住民の生涯を通じての学びをサポートしつつ、町外へ上志比の魅力を発信する『発信力』が求められている。SNSに公民館活動の投稿や地域情報の発信を増やし、日本各地の公民館で構成されたネットワーク『つながる公民館』での住民同士の交流を深め、いろいろな『つながり』を広げ見守れる公民館にしていきたい。



つながる公民館『ご当地健康体操』

地域は“家族” コミセンは“わが家” 地域性を生かして 住む人みんなが“幸福”に

坂井市兵庫コミュニティセンター(福井県)



地域の宝 — 「淵龍の池」

初夏から秋にかけて睡蓮が咲き、地域住民の目を楽しませる。



「育つん田」— 受け継がれる心

肥沃な土と、パイプライン灌漑整備による良質な水での米づくり。三世代の交流も生まれる。

公民館の沿革・年表

- ・昭和25年 兵庫村公民館設立
- ・昭和30年 坂井村公民館兵庫地区分館誕生 (勝光寺前)
- ・昭和41年 兵庫児童館兼公民館完成 (勝光寺境内)
- ・昭和60年 兵庫公民館完成
- ・平成27年 兵庫公民館から兵庫コミュニティセンターに移行
- ・平成31年 兵庫コミュニティセンター完成 (現コミセン)

左図・写真の説明など (PRポイントなども可)

〈千年の歴史が息づく兵庫地区〉

兵庫地区は、奈良・平安時代には興福寺・春日大社の荘園の一つ、「兵庫郷」として栄えた。古来、地元・兵庫小学校近くに鎮座する春日神社の神と、地域の宝として代々親しまれる「淵龍の池」に住む“伝説の龍”に護られて、米どころとして発展してきた。米づくりは、兵庫地区の歴史や人々の日常、まちづくり、人づくりを語るうえで、欠かすことはできない共通項。「代名詞」といっても過言ではない。米づくりを通して、住民同士のつながり、仲間意識、助け合いの気持ちが育っていることはもちろん、興福寺との縁を地域の誇りとして、子どもたちが手植えして育てたお米を献上する伝統も継承されている。地産地消の米づくりは、住民に幸福感をもたらしている。兵庫地区を走る「えちぜん鉄道」の駅名を、興福寺や幸福にかけて「下兵庫こうぶく駅」としたことも誇りの現れといえる。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1828人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	H31.3	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	約100台
5. 運営主体	<input type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input checked="" type="checkbox"/> その他 (坂井市)				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1282人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 4075人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 110人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 5088人 (ひょうご元気秋祭り、まちづくり協議会事業他)	合計		10,555人	
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 2人 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 1人) 合計 2人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (寄附市民参画制度)				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (SDGs、小中学校との連携事業、福祉教育、地元酒蔵との連携、高校生による地産地消と食品ロスを取り入れたスイーツ開発)				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (ノスタルジーな雰囲気やレコード鑑賞ができるカフェがある。) <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (徒歩圏内に、小学校や児童館、鉄道駅、淵龍の池、“鹿伝説”の春日神社などの地域資源がある。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (市立兵庫小学校・PTA、市立坂井中学校・PTA、県立坂井高校、兵庫地区まちづくり協議会 (プロジェクト淵龍部会・チームゆりゆう 含む)、兵庫地区ふくしの会、兵庫地区区長会、兵庫地区体育協会、青少年育成坂井市民会議兵庫支部、民生委員・児童委員協議会坂井支部、松寿クラブ、睦クラブ、ふるさとづくり企画委員会、ひょうごスマイルキッズ事業推進検討委員会、坂井市市民協働課)				

坂井市兵庫コミュニティセンター

OPEN 8:30~21:30 H P
TEL 0776-72-1898 SNS



淵龍HP 寄附市民参画制度



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

生活様式や価値観が多様化する中、住民と地域の接点として、より地域に開かれたコミュニティセンターが求められている。兵庫コミュニティセンター(以下コミセン)は、地域に根差した拠点として、ニーズに応じた学習や体験の場、家庭的な雰囲気を出し出すなど、住民の交流を意識した活動を展開している。近年の大規模災害や国際情勢を受けて、地域社会への貢献や助け合い、つながりづくりに対する若い世代の関心が高まっていることを追い風に、「世代を超えて地域の子どもは地域で育てるという風土の継承」、「地域住民誰もの居場所づくり」、「新たな価値の創出」を推進する。

2. 取組内容(力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など)

米どころは酒どころ。兵庫地区では、コミセンを中心に、全国にも稀な地酒造りに平成27年から取り組んでいる。大規模なパイプライン灌漑完成と坂井市制10周年を地域振興の契機にしようと、当時の兵庫地区まちづくり協議会(以下まち協)の幹部を中心に地酒造りに着手。明治期に発見された幻の酒米「神力」を種から育て、地域の宝として親しみ池から名をとって「神力淵龍」とした。醸造には、市内唯一の酒蔵が協力。かつて兵庫地区で作られていた日本酒の復刻と、地域資源や特性をまるごと詰め込んだ地酒の誕生という話題性に、周囲の住民は沸いた。一方で、せっかくの酒造りに関わる人が限定的で、当の地元住民にその価値が十分認識されていない現状があった。これに危機感を抱いたコミセン職員が、このプロジェクトに若い世代を呼び込もうと、「寄附市民参画制度」の活用を検討。地域の特性や歴史、地酒造りにかける思いを企画書にまとめ、その財源の確保に向けた提案を、市当局に持ち上げた。坂井市の「寄附市民参画制度」は、寄附金の使い道を市民から募り、その決定にも市民の意思を取り入れるという、全国で唯一の取り組みである。「協働のまちづくり」「地域資源の魅力向上」「産業振興」「歴史の伝承」などが対象となるが、多くに該当する提案として、「淵龍再興プロジェクト」は、令和3年度に開かれた寄附市民参画基金検討委員会で見事に採択された。全国の寄附者を味方につけたことで、女性や子どもが参画した新パッケージの開発や、キッチンカーでのPRや動画配信に若い世代を担うなど、幅広い世代が関わるプロジェクトとなった。



寄附市民参画制度を活用し、キッチンカーを導入。新しいパッケージを開発するなど、新たな魅力の伝道師として若い世代が奮闘。



兵庫地区の自然や「淵龍」誕生の経緯を動画にまとめ、YouTubeで配信している。



「淵龍」の酒かすを使ったスイーツを地元高校生が開発。地域資源と地産地消を実現する機会となっている。

3. 取組による成果や効果

- 「淵龍再興プロジェクト」を通して、住民が一つの目標に向かって気持ちを合わせ、助け合えるようになった。また、意見を出し合い、受け止め合うことで、世代や職種を超えて多くの住民が自ら関わるようになった。一緒に取り組むことで、みんなが達成感や喜びを分かちあえるだけでなく、その姿を見た子どもたちが酒米づくりに参画するなど、次世代育成に繋がっている。
- 学校や事業所、さまざまな団体との連携が広がった。また、支え合う関係性や信頼感が自然と芽生え、意識せずとも住み心地のよい、誰もが幸せを実感できる地域づくりが実現できている。こうした機運は、子ども福祉委員として子どもならではの視点で地域の高齢者を守る「ひょうごスマイルキッズ」など、さまざまな住民活動に好循環が生まれている。



カフェコーナーの利用促進と健康づくりに向けに県民いきょうとコラボした「きらめき保健室」も好評。



4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 地域住民代表やコミセン職員など24名で構成する兵庫地区まちづくり協議会運営委員会(兼公民館運営審議会)を年2回開催。反省や委員の意見を踏まえて、事業計画の審議や進捗確認、課題の整理を行い、活動に活かしている。
- 坂井市においては、寄附市民参画基金検討委員会にて、事業の進捗や効果を毎年検証。また、持続可能なまちづくりの実現を目指す坂井市まち・ひと・しごと総合戦略会議においても、市と連携した施策として市民を交えた効果測定を行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

地域は「家族」、コミセンは「わが家」。つまり、コミセンは地域づくりの拠点である。各種団体やボランティア、小中学生など、誰もが協働のまちづくりに自発的に参加できるよう、住民の声を聞きながら地域活動をコーディネートし、実施している。コミセンが常に住民の「真ん中」にあり、「おかえり、ただいま」と声を掛け合える居場所であり続けることを一番大切にしている。



子どもたちと高齢者が集うレクリエーション。子どもたち主体で企画や準備を行い、コミセンがサポートしている。

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- まちづくりは地域づくり、人づくり。兵庫地区の強みである地縁を大切にしながら、新しい知縁とともに、人のつながりを強化するための活動拠点としたい。引き続き、地元事業所や学校などともコラボしながら、Z世代を巻き込んだ地域防災事業のほか、春日神社周辺の「こうぶくロード」を活用した健康づくり&魅力アップ事業を展開したい。 ● SNSを有効活用しつつも「リアル」にもこだわり、新しい出会いや絆を大切に。誰もが活躍でき、「ただいま」と思える場所であり続けたい。

子どもを核として人と人をつなぐ取組み

佐久市中央公民館(長野県)



「乳幼児学級」～入園までの子どもたちの自然体験～



「終活講座」～佐久大学看護学部の学生と地域の高齢者の交流

公民館の沿革・年表

- ◇昭和36年：浅間町、東村、野沢町、中込町の合併により旧佐久市が誕生。浅間・東・野沢・中込の各公民館が発足
- ◇平成17年：旧佐久市、臼田町、浅科村、望月町の合併で新生佐久市が誕生。臼田・浅科・望月の3公民館が発足
- ◇平成27年：中央公民館発足に伴い、7公民館は「地区館」となり、市公民館は中央公民館を拠点として7地区館（浅間・東・野沢・中込・臼田・浅科・望月）の構成となる
- ◇平成27年～令和5年：市民創錬センター、浅間会館、東会館、浅科会館、生涯学習センターの建替

左図・写真の説明など（PRポイントなども可）

佐久市公民館は、乳児から若者に至るまで、様々な機会に公民館活動に参加し、大人世代と交流できる仕組みを作っている。具体的には、乳児の「ベビーマッサージ教室」や幼児の「乳幼児学級」、小学生の「親子ふれあい学級」「小学生公民館体験学習」「夏の子ども公民館」、中学生の「短詩型文学祭交流会」「つどい（文化祭）のボランティア」、中・高生の「学習室利用」、高校生の「インターンシップ」、大学生の「学習グループとの交流」「公民館活動のボランティア」等である。子どもだけでなく大人世代や地域社会の活性化も願っている。

公民館情報		1. 公民館対象人口	97949人	3. 来館者のインターネット接続環境	有線・無線の両方
		2. 建物設置年月日	平成27年8月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	120台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 3027人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 32761人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 740人 合計 36,528人 <input type="checkbox"/> その他 0人 ()				
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 3人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 4人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 8人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 () <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述 (中央公民館を拠点として市内の7地区館が一体となって運営している。)				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 ()				

佐久市中央公民館

OPEN 8:30～22:00

TEL 0267-66-0551

H P <https://www.city.saku.nagano.jp/kyoiku/shogai/kominkan/index.html>

SNS





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- ◇佐久市公民館の課題のひとつに参加者の固定化・高齢化があり、「若い世代や男性の参加促進」を目標に掲げている。(令和4年度の学習グループ所属の男女比は1:3。60代以上が8割以上を占める)
- ◇少子高齢化の進展に伴い、地域の宝である「若年層」と生きがいとふれあいを求める「高齢層」をつなげる取り組みが求められる。(令和2年度の市の高齢人口30.2%、年少人口12.9%)
- ◇子どものうちに関わることで生涯を通じて公民館活動や地域活動に参加しやすくなる。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

◇右上の写真は、乳幼児学級のひとこまである。令和4年度は親子74組160人の参加を得、年間をとおして「自然とのふれあい」「リズム体操」「幼児期の食育」「教えて！ドクター」等13回の学級を開催した。過去3年間はコロナ禍の中、子育て仲間を作りにくい環境に置かれ、母子で閉じこもりがちだった子育て世代に「仲間づくり」をテーマに掲げた乳幼児学級の存在意義は大きい。

参加された保護者から「コロナ禍の影響で家にいる時間が多かったけど乳幼児学級で同じ年頃のお友達やお母さん方と交流できて楽しかった」「私自身県外出身かつコロナ禍の中の子育てでしたので温かく迎えてくださる先生方、同じママとのコミュニケーションにとっても救われた」等の感想を得ており、ここで知り合った仲間で他の活動にも参加するなど、子育て仲間の輪は確実に広がっている。今後も大切にしていきたい活動である。



乳幼児学級のテーマは「仲間づくり」



夏の子ども公民館～川で宝石を探そう！

◇右下の写真は、夏の子ども公民館の活動のひとつ「川で宝石を探そう！」のひとこまである。令和4年度は7～9月にかけて親子（小学生）を対象とする「ものづくり」「自然・社会体験」等の23講座を設定した。日常の学校生活の中ではなかなか体験できない野外学習や本格的な工作等に浸りこむ子どもたちの姿が見られ、全市を対象にしていることで、学校の枠を越えて関わり合う子どもたちの姿が見られる。

3. 取組による成果や効果

成果の一例として臼田中学校3年生105名と公民館学習グループ【空手】【俳句】【はつらつ運動】の皆さんとの交流の成果を挙げる。活動後、中学生からは「楽しい体験ができクラスのみならず久しぶりに笑い合うことができた」「おば様方、すごくキレッキレでかっこ良かった」などの感想があった。学習グループはメンバー全員が参加するなど積極的に関わり、「若いパワーをもらった」等と好評だった。後日、校長先生から「地域のおじさん・おばさん方と話をしたり触れ合ったりすることは今の中学生にとって貴重な体験。時として、校内で教員から話をすること以上に心に響き、子ども達が成長するきっかけとなる。本当にありがたい取り組みだった」との言葉をいただいた。3者にとって有意義なこのような取り組みを毎年小中学校対象に実施。



臼田中学校に向いて「公民館体験学習」

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

講座の受講者には毎回アンケートに記入してもらい、満足度等はその都度集計している。また、各分野17名の委員からなる「公民館運営審議会」を年2回開催し、具体的なデータや参加者の感想等から建設的な意見をいただいている。更には、電子申請による市民アンケートを数年に1度実施している。

改善点は職員会・館長会・主事会等で全職員が共有するとともに、次年度全体計画にも反映させている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

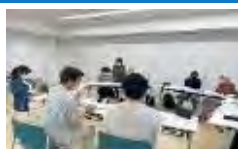
- ・中央公民館と7地区館及び235地域公民館が連携した活動を推進。
- ・評価・検証を行いながら、市民・地域の実情や要望に応える事業を企画。
- ・「集う・学ぶ・結ぶ」の役割を踏まえ、生涯にわたって学び、活かし、支え合う人づくり、地域づくりを推進。



長聖高校インターンシップ受け入れ

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

- ・地域の人・もの・ことを知る公民館として小中学校のコミュニティスクールに全面的に協力。
- ・若年層の自主活動や利用を促す仕組みづくりのひとつとして、高齢者対象のスマホ講座等のICT関係講座を高校生、大学生の補助ボランティアから企画・運営に広げていく。



佐久大学1年生と高齢者の俳句づくり

地域に学び、ふるさと小布施を探究する

上高井郡小布施町公民館(長野県)



新潟県三条市研修



現地学習の様子

公民館の沿革・年表

- 1948(昭和23)年 小布施村公民館創設
初代館長 林 流波(童謡作詞家)
最初の講座は「日本画の見方と絵の歴史」講演会
- 1954(昭和29)年 小布施村・都住村合併で小布施町公民館
- 1959(昭和34)年 常設公民館の設置
- 1961(昭和36)年 館報おぶせを発刊
- 1982(昭和57)年 第1回夏季大学開催(以後12回開催)
- 1986(昭和61)年 現北斎ホール竣工
- 1997(平成9)年 生涯学習カレンダーの全戸配布はじまる
- 2006(平成18)年 公民館の花づくり推進事業はじまる

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

小布施町公民館では、暮らしを豊かにするために、学び、交流や健康づくりの場として毎年多くの講座を開講している。
そのなかのひとつに「郷土めぐり教室」がある。この講座は、2013(平成25)年に始まった講座である。小布施町在住の郷土史家を講師として迎え、ふるさと小布施を探究するための教室である。座学は少なく、小布施町内外の関連施設を訪ねる現地研修が多い。フィールドワークを通して、「みて、きいて、訊ねる」ことを大切にしている。研修内容によっては、半日あるいは一日のこともある。小布施の歴史や文化を深く知りたい参加者の多くは、主体的に学ぶ姿勢を有しており、公民館講座のなかでは、長年継続してきた数少ない講座である。

公民館情報		1. 公民館対象人口	11000人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN(Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	昭和54年7月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	無制限
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 1987人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 10833人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 1,870人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 180人 (コンサート)				合計 14,870人
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任 1人 <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 10人 <input type="checkbox"/> 非常勤 0人 <input type="checkbox"/> ボランティア協力者 0人 (職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人 職員のうち社会教育士の数 0人) 合計 11人				
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input type="checkbox"/> 防災 <input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input checked="" type="checkbox"/> その他 (北斎ホール) <input type="checkbox"/> 自由記述 ()				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (小布施町文化観光協会 音楽活動団体 小布施オープンオアシス 北斎巴錦保存会)				

上高井郡小布施町公民館

OPEN 8時30分～17時15分 H P
TEL 026-214-9111 SNS

<https://www.town.obuse.nagano.jp/parenting/lifelong-learning/community-center/>





1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

小布施町は「北斎と栗と花のまち」として、県内外から多くの観光客が訪れる街である。とりわけ、地元の豪商である高井鴻山が、19世紀前半に葛飾北斎を招き、数多くの作品が残されたことから、展示施設である北斎館周辺を中心に散策する人が多い。そのなか、当時の文化を継承しようとする気運が生まれ、高井鴻山が残した一絃琴の音色を復活した逢瀬琴の会や、北斎巴錦保存会による菊栽培などの町民主導の活動が続いてきた。合わせて、住民からは、ふるさと小布施の文化を知りたいという声が高まり、これを背景として公民館講座「郷土めぐり教室」が開講された。参加者は様々な研修を通して、地域を深く学び続けてきた。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

「郷土めぐり教室」は、5月から11月の第4火曜日の年7回開講してきた。身近にある歴史や文化を学ぶことでふるさと小布施を再発見してきた。講座は最初にオリエンテーションを、最後に一年間のまとめを公民館で行う。残り5回は現地研修として、おもに小布施町内の用水堰・寺院・神社・堂庵・史跡などを回る。

令和4年度の研修場所は、越後椎谷藩が信濃の一部を管轄した際にできた椎谷藩六川陣屋跡、江戸時代前半に作られた木造阿弥陀如来・両脇侍立像（町宝）、東町公会堂が所有する宮殿造の厨子や堂庵主の位牌、阿弥陀堂時代の過去帳類と水車稲荷、戴教院所有の木造阿弥陀如来及両脇侍立像、年貢米を貯えて飢饉に備えた穀蔵である押羽の郷蔵などである。また、椎谷藩をより深く知るために、新潟県柏崎市にある椎谷藩陣屋跡のほか、椎谷観音堂と宝物殿視察の県外研修を行った。

この講座の特色は、歩きながら「みて・きいて・訊ねる」教室としている点である。そのため、この研修には町所有のマイクロバスを利用することが多い。交通手段をもたない高齢者の参加が可能となり、毎年定員を満す人気講座である。講師は毎回資料を準備し、移動するバスのなかで事前学習を行い現地研修をするため、参加者にとって大変有意義な視察になっている。なお、町外研修を実施する場合には、必ず講師と担当者による現地下見を行い、余裕ある行程を立案し、視察することを心がけている。なお、今年度から「郷土めぐり教室」は「史跡めぐり」に改編し、現地研修を中心とする講座として内容を一新している。



戴教院の研修



新潟県柏崎市研修

3. 取組による成果や効果

【ふるさとを知る】10年間継続できた「郷土めぐり教室」講座は、数多くの視察を重ねてきた。自分の目で確かめ、聴き、訊ねるという主体的な学びは、参加者にとってふるさとを知る機会となり、より深い学びへと発展する動機付けになっている。また、毎回用意される講師作成資料は、丁寧で分かりやすい内容であり、小布施研究資料としても大変貴重である。

【交流・つながり】7回シリーズの講座を行うなかで、参加者相互の繋がりが生まれる。主体的な学びに関する参加者の対話や支援、協働により一体感が生まれ、明るい交流の場となっている。

【地域を伝える】参加者が学んだ成果は地域住民だけでなく、若い世代へ受け継がれることが期待できる。また、地元豪商や葛飾北斎など文人に関する学びは、町内にある文化財保護啓発活動へとつながるものと思われる。



小布施町出土遺物を知るために県内博物館を見学

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

講座に参加した方々からは、満足度の高い声をいただいている。これは、参加者の地域に対する興味・関心の高さに起因している。今後は、この学びを地域で活かすことが重要である。そこで、令和5年度は「小布施の魅力再発見～まち歩き～」講座を新たに設けた。これは、「郷土めぐり教室」受講者が学んだ成果を活用し、町来訪者へのガイド活動に発展させるためのガイド養成講座である。たまたま郷土めぐりの講師は、町ガイド指導員も担当していることから、今までの学びをサークル活動やガイド活動に移行しようと企図している。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

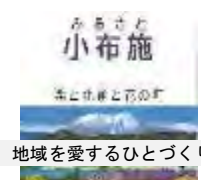
新型コロナの感染拡大は、公民館活動を見直す契機となり、様々な講座やイベントを多様な視点から見直した。当公民館では前例踏襲によらないことを基本として講座等の企画検討をすすめている。今後は幅広い世代に活動を広げていくほか、「郷土めぐり教室」を「史跡めぐり」に改編したように、既存講座も常に魅力ある内容に発展させていくことを大切にしている。



ポルダリング講座

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

小布施町は長野県最小面積の町である。近年、町には多くの若者が訪れるほか、移住者が増えつつあり、秀でた技能や豊かな知識を有する人材が多い。今後は町が有する知の財産を掘り起こし、公民館活動に参加していただくことを考えていきたい。また、本館として分館活動への支援、分館と分館とをつなげる役割をしっかりと果たし、地域住民活動を支援していきたい。



地域を愛するひとづくり

地域と関わり、地域で育つ（青少年育成部会の取り組み）

郡上市和良地域公民館(岐阜県)



ジュニサポが考えたイラスト



ジュニサポと企画した和良川クリーン大作戦の様子

公民館の沿革・年表

- ・平成16年 郡上市発足により郡上市に編入。
和良村として115年の歴史を持つ。
- ・平成21年4月 和良地域（地区）公民館が誕生。
郡上市八幡町では各地区に地区公民館が設置され、活発な社会教育活動が展開されていたことを受け、市内の7地域にも同様の仕組みを取り入れる。
現在、公民館活動は運営委員会で計画・調整・推進を担う。青少年育成部、スポーツ健康推進部、文化教養推進部の3つの専門部会によって企画・運営が実施されている。

左図・写真の説明等など（PRポイントなども可）

（左上）チラシやポスターに使用するイラスト。
（左下）令和3年度に行った「和良川クリーン大作戦」の様子。夏休み期間中に、各家庭ごとに取り組んでいただくように呼び掛けたところ64名の参加。小中学生と保護者により、環境保全活動を行った。参加した子どもたちからは「遊ぶだけでなく、川をきれいに心がけるきっかけになった」「自然をキレイにすることは、こんなに楽しいんだ！と思ったのでまたやりたい」などの声が聞かれるほど充実し、「自分たちの故郷を大切にしたい」という心の育成の一助となった。子ども達が学校で学んでいる「持続可能な開発目標」=SDGsの「11.住み続けられるまちづくりを」、「14.海の豊かさを守ろう」、「15.陸の豊かさを守ろう」につながる活動である。

公民館情報	1. 公民館対象人口	1,587人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
	2. 建物設置年月日	昭和56年6月1日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	1台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()			
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	121人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	1314人 <input type="checkbox"/> 講演会、展示会等
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	152人	(ニューイヤーズマラソン) 合計 1,587人	
7. 職員数	<input checked="" type="checkbox"/> 専任	1人	<input type="checkbox"/> 兼任	0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人)		<input type="checkbox"/> ボランティア協力者	0人 合計 8人
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()			
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()			
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学
12. 各種事業等で連携・協働している団体等 (団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他 (郡上市図書館わら分室、会議室、茶室、体育館を併設)		
	<input type="checkbox"/> 自由記述 ()	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input checked="" type="checkbox"/> 高校 <input checked="" type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input checked="" type="checkbox"/> 図書館 <input checked="" type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 <small>・郡上市教育委員会 社会教育課 ・和良振興事務所 ・自治連合会和良支部 ・郡上東中学校 ・和良小学校 ・和良保育園 ・青少年育成和良地域会議 ・和良川漁業協同組合 ・和良川を守る会 ・和良鮎を守る会 ・和良虫を守る会 ・和良おこし協議会 ・スポーツ推進委員和良地域部 ・社会教育委員 ・市子ども会育成連絡協議会和良支部 ・シニアクラブ連合会和良支部 ・和良文化協会 (ほか)</small>		

郡上市和良地域公民館

OPEN 午前9時～午後10時 H P なし
TEL 0575-77-2724 SNS なし



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

和良地域は人口が約1,500人。地域には和良川の鮎、天然記念物のオオサンショウウオ生息地、戸隠神社の祭礼やホテルの名所など多くの宝と豊かな自然環境に恵まれている。しかし、少子高齢化の進むこの地に於いて、地域の宝を一部の住民で守っていくことが困難になってきている。地域には、地域協議会というみんなが地域の課題や将来について考える組織がある。和良には小学校・中学校・公民館がそれぞれ1つずつしかないが、その規模がかかってまとまりやすいという利点となっている。これらの組織を中心として、この地域に合った取組みについての話し合いが進められている。

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

☆平成29年度より郡上東中学校と連携した公民館ジュニアサポーター制度を導入
青少年育成部会として、平成28年度までの反省を踏まえ、具体的な事業を企画・運営するだけでなく、この先の未来を担っていく子どもたちの「人材育成」ということを念頭に、中学生を対象としたジュニアサポーターという組織を作った。ねらいは以下の3つである。
その1：公民館活動を通じ、地域での行事や活動により深く関わっていくを通じ、生徒個々の自主性と発想力、及び地域を愛する心根を育てる。
その2：学校教育の中で育まれた地域づくりの基礎力を、実際の地域や社会の中で発揮できる機会とする。
その3：困難にぶつかっても仲間と協力し解決する力を育み、地域の担い手となるリーダーに育つことを期待する。

年度ごとに活動内容は異なるが、ジュニアサポーターに参加してくれる中学生が徐々に増えていることから、生徒にジュニアサポーターという制度が認知され、広がっているといえる。大人とは違う中学生の新鮮な感覚や豊かな発想で活動を企画し、活動内容に厚みが生まれてきた。また「まずやってみよう」という構えが、新しい発想を生んでおり、公民館活動を支えるという点で重要度が増している。



H30年度：蛍観測地へのシャトルバス案内



R元年度：夏まつり あまごつかみとくじ引き

3. 取組による成果や効果

- ・恒例行事となっている納涼ふるさと夏まつりでは、これまでの「アマゴつかみ」に加えて「盆踊りの盛り上げ役」を担って貰えないだろうかと実行委員会から依頼を受けて企画から考えた。
- ・これまでは、盆踊りの参加者が少なく、踊りの輪が小さくなりがちだったが、ジュニアサポーターが率先して輪を先導することで、一般の方が参加しやすくなった。
- ・盆踊りが始まる前には、踊り保存会の方から30分程のレクチャーを受け、予定の時間には友達も誘って実際の会場に立ち、保存会の人たちと輪を作り踊り始めたことで、輪に加わる参加者も徐々に増えはじめ、踊りの輪が3重4重となっていく、会場が一体となった。
- ・時間いっぱい参加して踊ることで、盛り上げ役としての任務を見事に果たすことができた。
- ・ジュニアサポーターの認知度が高まり、地域からの依頼で課題解決の一翼を担うことができた。



R4年度 夏まつり 盛り上げて踊る盆踊り

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- 小中学校長、小中PTA役員、自治会長、各種組織長、社会教育委員等で構成される公民館運営協議会を年2回開催
- 館長、公民館主事、社会教育委員等で構成する公民館運営委員会を月1回開催
- 公民館主事、諸団体代表者、15地区から選出された公民館委員で構成される専門部会議を必要に応じて随時開催
- 地域学校協働活動に関する内容については、域内の郡上東ブロックの子どもを育む会（学校運営協議会）で行っている

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

「つどう」「まなぶ」「つながる」を軸とした公民館活動が、地域住民の生きがいの場づくりとなることはもちろんのこと、地域の抱えている課題にも向き合いながら、子どもから大人まで多世代が楽しみながら触れあえる機会を多く創出し、一緒になって地域のことを考えていく姿勢を大切にしている。



R4年度 郡上かるた和良大会

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

公民館ジュニアサポーターと共に創りあげていく活動は小さいながらも地域学校協働活動そのものと言える。学校運営協議会とは更に密な繋がりを大切に、地域内の各種団体・組織とも横の連携を取りながら、和良に伝わる大切な歴史、伝統文化、自然を次の世代へと繋ぎ、和良としての誇りを守れるように和良地域の活性化をすすめる一助を担っていければと考えている。



生き生きと活動するジュニアサポーター

地域みんなで武並町の子どもを育てる

恵那市武並コミュニティセンター(岐阜県)



みんなで春花壇の花植え



みんなで環境美化運動

公民館の沿革・年表

- ・昭和46年 武並公民館開設
- ・平成7年 武並町まちづくり町民会議を設立、公民館に事務局を置く
- ・平成18年 3月 武並コミュニティセンター完成(振興事務所機能と公民館機能を併設)
- ・平成28年 恵那市が公民館長(三学のまち推進員)を三学塾塾長と改名
- ・平成30年 武並小学校学校運営協議会設立、参画
- ・令和3年 武並地域学校協働活動推進委員会を設立

左図・写真の説明など(PRポイントなども可)

- ふれあいオアシス青少年花壇花植え
青少年研修委員会は、春と秋に花壇の花植えを子どもと一緒にしている。毎回500ポットの苗を植えている。夏は交代で草取り、水やりを行い、花のある街づくりに貢献している。
- 地域みんなで環境美化運動
「武並町環境美化運動」への子どもの参加が減少傾向にあったが、自治連合会、青少年育成町民会議、地域学校協働活動推進委員会、武並小学校が様々な機会に呼びかけ、町内15自治会で大人706人、子ども110人が参加した。(令和4年度)

公民館情報		1. 公民館対象人口	2974人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN (Wi-Fi等)
		2. 建物設置年月日	平成18年3月27日	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	50台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者 () <input type="checkbox"/> その他 ()				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座	907人	<input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動	8878人	<input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 655人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	913人 ()	合計 11,353人		
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任	0人	<input checked="" type="checkbox"/> 兼任	1人	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 2人
	(職員のうち社会教育主事有資格者の数 1人)		(職員のうち社会教育士の数 0人)		合計 3人
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他 ()				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他 ()				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援	<input type="checkbox"/> 家庭教育支援	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動	<input type="checkbox"/> 子ども食堂	
	<input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画	<input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援	<input type="checkbox"/> 障害者の学び支援	
	<input type="checkbox"/> ICTの活用	<input checked="" type="checkbox"/> 防災	<input checked="" type="checkbox"/> 地域学校協働活動	<input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ・スクール	
	<input type="checkbox"/> ボランティア養成	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり	<input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援	<input type="checkbox"/> 自主夜間中学	
	<input type="checkbox"/> その他 ()				
11. 施設の特徴、魅力	<input checked="" type="checkbox"/> 複合施設	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 学校	<input type="checkbox"/> 生涯学習センター	
	<input type="checkbox"/> 自由記述 ()	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (振興事務所を併設)			
12. 各種事業等で連携・協働している団体等(団体名記述)	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所	<input checked="" type="checkbox"/> 小中学校	<input type="checkbox"/> 高校	<input type="checkbox"/> 大学	
	<input type="checkbox"/> 企業	<input type="checkbox"/> NPO	<input checked="" type="checkbox"/> 各種団体	<input checked="" type="checkbox"/> 行政機関	
	<input checked="" type="checkbox"/> 図書館	<input type="checkbox"/> 博物館	<input type="checkbox"/> 青少年教育施設	<input type="checkbox"/> その他	
	<input type="checkbox"/> 壮健クラブ、連合自治会、中山道保存会、学校ボランティア、げんきクラブ、消防団、道笛保存会、まちづくり町民会議、藤区協議会、竹折区協議会				

恵那市武並コミュニティセンター

OPEN 9:00~22:00 H P なし
TEL 0573-28-2427 SNS なし



1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

- 少子高齢化、地域のつながりの希薄化など、武並町でも多くの解決すべき課題を抱えている。
- 解決策として、地域の宝である青少年（子ども）に関わる活動を軸にして、課題解決の道筋を探ることとした。
- 組織として、「武並町青少年育成町民会議」と「武並地域学校協働活動推進委員会」を活動の推進母体とした。
- スローガンは、「地域みんなで武並町の子どもを育てる」とし、活動は以下の5点。①日々の活動を核にした取組②安心安全を確保した取組③人とのふれあいを大切にした取組④地域貢献できる場を設定した取組⑤関係機関との連携を深めた取組

2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

武並地区では「武並地域学校協働活動推進委員会（本部）」を武並コミュニティセンター内に設置し、武並小学校学校運営協議会、青少年育成町民会議と連携しながら、地域と学校が思いを共有した活動に取り組んできた。その結果、少子高齢化やコロナによって減少傾向であった地域行事への参加人数が増加し、また子供が地域住民と関りながら共に学ぶ場面が増え、地域の活性化につながっている。

【「見守りボランティア」による登下校の見守り】

お揃いのピンクベストを着用して見守り活動を行っている。5月の「対面式」、12月の「感謝の会」を小学校が開催し、子どもたちとの温かい交流の場となっている。

【地域みんなでラジオ体操】

少子高齢化の進む地域において、子どもたちが「ラジオ体操参加のお便り」を作成して地域住民に配布した。自治連合会、青少年育成町民会議、地域学校協働活動推進委員会などが賛同し、地域みんなでラジオ体操を推進している。

【「広報たけなみ」による情報発信】

毎月発行する広報誌に「地域学校協働活動推進委員会から」や「放課後子ども教室から」などのコーナーを設け、活動の評価や価値づけを行い、参加意欲に繋げている。また、活動を予告しボランティア募集を行うことで継続した地域参画意識を高めている。



バス停で見守りボランティア活動



みんなでラジオ体操

3. 取組による成果や効果

● 青少年育成町民会議の「見守りボランティア」による登下校の見守りでは、現在の登録人数は180人まで増加し、多くの地域住民が子どもとあいさつしたり、言葉を交わす場面が増えてきた。

● 「地域みんなでラジオ体操」では、現在は町内16か所で開催され、地域によっては子どもよりも大人の参加数の方が多い所もあり、1日平均約270人が参加するまでになった。子どもとの関わりの場が増え、健康志向の向上にもつながっている。

● 「広報たけなみ」による情報発信では、地域で活躍する子どもの写真をふんだんに使用することによって、行事に参加した子どもたちやその家族に興味関心を持ってもらっている。また、参加した地域住民にとっての励みにもなっている。



青少年ふれあいまつり
中学生ボランティアが活躍

4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

● 市議会議員、センター長（市職員）、塾長（館長）、自治連合会長、自治連合副会長2名で構成された、「武並まちづくり町民会議本部役員会」（武並コミュニティセンター運営協議会）を年8回開催。

● 「青少年育成町民会議」を年6回、「武並地域学校協働活動推進委員会」を年2回開催。活動の提案や実施、振り返り等、PDCAサイクルによる取り組みの検証・改善を行っている。

5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

● 小学校、青少年育成町民会議、学校運営協議会、地域学校協働活動推進委員会、自治連合会等の関係団体を巻き込みながら、連携・協働する道を常に探る。

● 企画・運営を大切にしながら、日常生活の中で、町民がそれぞれの立場で参加できる機会や場を提供し、「地域みんなで武並町の子どもを育てる」意識を誰もが持つように仕組む。



見守りボランティア 感謝の会

6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど。

● 青少年（子ども）に関わる活動の「形」を継承していくのではなく、目指す姿や思い、願いを共有し続けて活動を仕組んでいく。「引き継ぐことは形ではなく心」

● 武並町の様々な関係機関との連携をさらに強化し、「地域みんなで武並町の子どもを育てる」という意識を全町民が持てるようにする。「地域の連帯感と教育力の向上」



春花壇 笑顔で記念撮影